

# 年 報

2017 年度 (平成 29 年度)

No.20

長野県立歴史館

## 目次

### 概要

I	沿革	1
1	開館までの歩み	
2	開館後の歩み	
II	機能・組織・運営	7
1	機能	
2	組織と分掌	
3	運営	
4	関係法規	
III	施設	15
1	平面図	
2	諸室	

### 事業

I	平成28年度の主な事業実績	17
II	展示	18
1	常設展示	
2	企画展示等	
III	教育普及公開	39
1	学校・団体見学 実施記録	
2	企画展関連講演会等	
3	講座	
4	歴史館ふるさと講座	
5	県内連携講座	
6	考古学セミナー	
7	近世史セミナー	
8	講習会	
9	各種講習会・イベント	
10	展示解説	
11	学校との連携	
12	博物館実習	
13	インターンシップ	
14	職場体験学習	
15	サークル育成活動	
16	ボランティア活動	

17	博物館関係職員等研修会	
18	職員派遣(出前講座)	
IV	共催事業	69
V	出版	70
	1 長野県立歴史館たより	
	2 ブックレット	
	3 研究紀要	
	4 その他	
VI	閲覧・情報提供	72
	1 図書等資料	
	2 情報提供	
VII	調査研究	73
	1 調査研究の体制と内容	
	2 学芸研究会	
	3 時代別研究会	
VIII	資料の収集・整理・保存	75
	1 資料収集の方針	
	2 展示資料	
	3 考古資料	
	4 文献史料	
IX	広報	83
	1 広告・案内	
	2 記事・報道	
	<b>資料</b>	
I	資料利用	90
II	閲覧利用・情報利用	90
III	利用者	90
IV	収蔵史資料数	93
	<b>日誌</b>	94

# 一 概 要 一

## I 沿 革

### 1 開館までの歩み

- 1988年（昭和63） 4月……「第二次長野県総合5か年計画」で、「埋蔵文化財、重要な史資料の展示、保存、研究等機能を備えた施設を新設」する方針を決定  
6月……「文化財に関する施設建設基本構想懇話会」（県内外の学識経験者12名）を設置
- 1989年（平成元） 7月……懇話会が報告書を提出
- 1990年（平成2） 10月……「県立歴史館（仮称）建設委員会」を設置  
11月……建設基本構想骨子決定
- 1991年（平成3） 4月……開館準備専任職員配置  
5月……「県立歴史館（仮称）専門委員会」を設置
- 1992年（平成4） 9月24日…起工式
- 1994年（平成6） 5月……建設工事完成  
8月……展示工事完成  
11月 3日…開館

### 2 開館後の歩み

#### 1994（平成6）年度

- 11月 開館記念企画展「赤い土器のクニ」（共催）  
資料寄贈者などへの感謝状を贈呈

#### 1995（平成7）年度

- やさしい信濃の歴史学習会、考古資料講座、古文書講座、考古資料保存処理講習会、文献史料保存活用講習会を年間計画に基づいて開催。常設展示のローテーション展示替え実施。また市町村発掘担当者研修会を実施（共催）
- 7月 夏季企画展「絵図にみる信濃」  
8月 特別展示「終戦日8月15日の長野県民」  
10月 秋季企画展「信濃における戦国争乱の世界」

#### 1996（平成8）年度

- 新たに歴史館セミナーを年2回開催。7月に博物館実習を初めて実施
- 7月 夏季企画展「縄文人の一生」  
10月 秋季企画展「木簡が語る古代の信濃」

#### 1997年 1月 館蔵品展

#### 1997（平成9）年度

- 9月に館燻蒸を初めて実施
- 7月 夏季企画展「殖産興業と万国博覧会」  
8月 長野県立歴史館ホームページ開設  
10月 秋季企画展「長野県にみる世界の文化」

#### 1998年1月 館蔵品展

- 3月 皇太子・皇太子妃両殿下行啓

#### 1998（平成10）年度

- 古文書講座を入門講座と解説講座とに分けて実施。また新たに地域セミナーを始め、6月に飯田・下伊那セミナーを実施。
- 6月 屋代木簡特別展示  
7月 夏季企画展「古代シナの武器と馬具」  
10月 秋季企画展「諏訪信仰の祭りと文化」。御柱をエントランスに展示開始。

#### 1999年2月 長野県考古資料速報展「新発見・信州話題の考古資料」

#### 1999（平成11）年度

- やさしい信濃の歴史講座（「やさしい信濃の歴史学習会」を改称）、考古学講座（「考古資料講座」を改称）。歴史館セミナーを年3回実施。
- 4月 館蔵品展

- 6月 佐久セミナー
- 7月 開館五周年記念特別展「信濃名宝展」
- 10月 秋季企画展「蘭学万華鏡」
- 11月 開館5周年記念式典挙行
- 2000年1月 考古資料特別公開「躍動する縄文土器」

#### 2000 (平成12) 年度

西暦2000年に合わせて、20世紀の長野県の歴史をふり返る特別展を企画。

- 7月 木曾セミナー  
夏季企画展「千曲川歴史紀行」
- 10月 秋季企画展「歴史の宝庫 秋葉みち」
- 12月 長野県人権啓発センター開設（講堂棟）
- 2001年1月 長野県の20世紀展「信州に生きた20世紀の女たち」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2000」  
ホームページ全面更新 独自ドメイン ([www.npmh.net](http://www.npmh.net)) 取得

#### 2001 (平成13) 年度

- 5月 館蔵品展「屏風の世界」
- 7月 夏季企画展「阿久遺跡と縄文人の世界」  
諏訪セミナー
- 10月 秋季企画展「文人墨客がつどう」

- 2002年1月 特別公開「雛人形と雛道具」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2001」

#### 2002 (平成14) 年度

- 5月 テーマ展「北村縄文人の時代－仮面土偶をつくった人びと－」
- 7月 夏季企画展「世界と地域を見つめた長野県教育－信山育材－」  
北安曇セミナー
- 10月 秋季企画展「開設四百年 中山道－信濃二十六宿と問宿－」
- 2003年1月 特別公開「雛人形と雛道具－田中平八コレクションと北信濃の雛人形－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2002」

#### 2003 (平成15) 年度

夏休み中、7月19日～8月24日の間、体験講座「石のアクセサリーに挑戦」を毎日実施した。講座開設に際して、当館としてはじめてボランティアを受け入れた。この後、「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」の折り鶴、「雛人形と雛道具展」のお雛様作り、および赤外線カメラの解説にボランティアを受け入れた。また一階エントランスに簡易展示コーナーを設置した。入館者数は4000人ほど前年度を上回り、3年連続の増となった。

- 5月 テーマ展「おらが善光寺さん－秘仏の寺ものがたり－」
- 7月 夏季企画展「SOSふるさとの文化財をすくえ－伝えたい古人の心と技－」  
上伊那セミナー
- 9月 秋季企画展「もみじ 夕焼け 里の秋－唱歌・童謡のふるさと信州－」  
同時開催「ヒロシマ・ナガサキ原爆展－風化させてはならない歴史－」
- 2004年1月 特別公開「重要文化財 神子柴遺跡の石器群－石の時代の槍と斧－」  
同時公開「雛人形と雛道具－子どもの祝い－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2003」（共催事業）

#### 2004 (平成16) 年度

開館10周年の節目の年にあたり、総入館者数100万人を突破した。企画展では開館以来初めて年間を通じたテーマ（「人と物の交流」）を設定し、秋季展では入場者数1万人を越えるなど健闘した。夏季展では善光寺道ウォーキング、秋季企画展ではドングリゴマづくり、冬季展では折雛づくりなど参加型活動を模索した年でもあった。民話データベースの公開、小・中生向けの調べ学習対応の図書を配備した。

- 5月 春季展「神がみへの願い人々の祈り－古代のまつり－」
- 7月 開館10周年記念式典  
夏季展「善光寺道－街道を行き来した人・物・文化－」  
松本セミナー「松本地域の歴史と風土」
- 10月 秋季展「中世信濃武士意外伝－義仲から幸村まで－」
- 2005年1月 新春特別公開「新春屏風絵図展」  
冬季展「天下の糸平ゆかりの雛人形－横浜を目指した信州の生糸商人たち－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2004」（共催事業）

## 2005 (平成17) 年度

運営管理について、4月1日より、長野県文化振興事業団から長野県教育委員会に直営化された。

企画展では、親しみやすさやわかりやすさを追求し、博物館ミュージカルに挑戦したり、県下に伝わる人形芝居の公演を行ったりした。また、時宜に適した企画として六角木幢展を実施したほか、森將軍塚まつりなどをとおして地域社会との連携を積極的に進めた。更には、学校教育や社会教育との連携も拡大し、総合的な学習の時間や公民館講座などの様々な学習活動へ職員を派遣するなどした。

- 5月 春季特別展「里帰りした赤羽刀ーGHQ接收刀剣の輝きー」
- 7月 夏季企画展「地下4mの縄文伝説ー屋代遺跡群 愛と出会いの4千年ー」  
飯山公開講座「善光寺地震における飯山の被害状況」ほか
- 10月 秋季企画展「信州舞台物語ー団十郎も須磨子もやってきたー」
- 11月 特別公開「六角木幢ー極楽浄土への道しるべー」(共催事業)
- 2006年1月 特別公開「雛人形と雛道具ー身だしなみとよそおいー」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2006」(共催事業)

## 2006 (平成18) 年度

県教委の直営となった2年目は、年間通じて入館者を確保するために、企画展示室をフル活用して年5回の企画展を実施し、特に指定文化財と館蔵品公開を目的にした「信州の歴史遺産I」を初めて開催した。学校や社会教育との連携を深めて出前授業や講演を行い、県外学校の団体向けの旅行業者はじめ、県内に宿泊施設のある千代田区・大田区・渋谷区・板橋区・練馬区・江戸川区・西東京市・八王子市・武蔵野市・三鷹市・府中市の教育委員会に村して広報活動をおこなった。こうした努力の積み重ねによって、開館2年目(平成7年度)の13万人に次ぐ112,230人を記録することができた。

- 5月 春季展「古瓦からみた信濃の古代ー神津猛・米山一政資料を中心にー」
- 7月 夏季企画展「幕末の信州ー時代を駆けた草莽たちー」
- 9月 秋季企画展「戦時下の子どもたちー信州の十五年戦争ー」
- 11月 「信州の歴史遺産Iー新指定長野県宝と歴史館のお宝ー」
- 2007年1月 冬季展「信濃の人形ーいのりと願いー」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2007」(共催事業)

## 2007 (平成19) 年度

展示スペースを工夫拡大し、全国的規模の展示である文化庁巡回展「発掘された日本列島2007ー新発見考古資料速報展ー」を初めて開催した。3月の埋蔵文化財センター速報展では歴史的発見である中野市柳沢遺跡出土の銅鐸・銅戈を展示する事が出来た。企画展示の充実や県内外の学校との連携、地域への出前講座などを更に進め、開館2年目に次ぐ117,236人の入館者を記録する事が出来た。

- 5月 春季展「埋もれていた信州遺産の発見ー長野県埋蔵文化財センター25年の歩みからー」
- 7月 夏季展「絵地図の魅力ーわたしの城下町ー」
- 9月 文化庁巡回展「発掘された日本列島2007ー新発見考古資料速報展ー」
- 10月 秋季企画展「武田・上杉・信濃武士」
- 2008年1月 冬季展「信濃の人形展」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2008」(共催事業)

## 2008 (平成20) 年度

春季の「うつわは語る」展、夏季の「大庄屋って何？」展、秋季の「よみがえる氷河時代の狩人」展、冬季の「信州の歴史遺産II」展の展覧会を実施するとともに、学校見学への対応、一般来館者に対する体験学習(勾玉づくり)の実施、出前講座の実施など、展示以外の諸行事にも全力をあげた年であった。特に冬期間の自主事業「信州ふれあい歴史講座」は盛況で、歴史館に対する期待をひしひしと感ずることができた。

- 5月 春季展「うつわは語るー縄文から近世までー」
- 7月 夏季企画展「大庄屋って何?ー安曇郡・清水家文書の350年ー」
- 9月 秋季企画展「よみがえる氷河時代の狩人」
- 12月 冬季展「信州の歴史遺産IIー長野県宝と歴史館のお宝ー」
- 2009年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2009」(共催事業)

## 2009 (平成21) 年度

開館15周年と信濃史料刊行40周年の年に当たり、信濃毎日新聞社等との共催でアーカイブをテーマとした夏季展を実施した。南信地域の県民に当館講座の受講機会を提供することを目的に、飯田市美術博物館を会場に2回の公開講座を実施した。

- 4月 春季企画展「善光寺信仰ー流転と遍歴の勤化ー」
- 8月 夏季展「信州 知の遺産の系譜ー歴史を記録した先人たちー」
- 9月 秋季企画展「山を越え川に沿うー信州弥生文化の確立ー」

12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅲ — 諏訪地域の‘いのり’と‘まつり’ — 」

2010年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2010」(共催事業)

#### 2010(平成22)年度

今年度からの5ヵ年計画として、当館の中期目標を策定した。ひめゆり平和祈念資料館・朝日新聞社と共催で春季企画展を開催した。外部団体との本格的な共催は当館初の企画である。当館が収蔵している信濃町日向林B遺跡遺物が重要文化財指定を受けた。

5月 春季企画展「ひめゆり 平和への祈り〔沖縄戦から65年〕」

7月 夏季展「あの世への想い — 日本人はどのように埋葬されてきたか — 」

9月 秋季企画展「東の牛伏寺 西の若澤寺 — 古代に創建された松本平の二つの寺院 — 」

12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅳ — 文字のちから — 」

2011年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2011」(共催事業)

#### 2011(平成23)年度

利用者の目線に立ち「元気に・明るく・楽しく」をモットーに利用者サービスに徹することを掲げた。館蔵品を中心とした企画展・季節展に取り組んだ。外部団体との連携にも意欲的に取り組み、八十二文化財団との共催事業「大人の遠足」を実施するとともに、信州大学との連携に関する覚書を締結した。

5月 春季展「武士の家宝—かたりつがれた御家の由緒—」

7月 夏季企画展「激動を生きぬく — 信濃武士市河氏の400年 — 」

9月 秋季企画展「観光地の描き方 — 浮世絵版画から観光パンフレットまで — 」

12月 冬季展「郷土のお宝 — 『重文・県宝』を見よう — 」

2012年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2012」(共催事業)

#### 2012(平成24)年度

利用者目線に立ち、引き続き利用者サービスに徹することに力を入れた。企画展示では、年度前半は昭和戦前期に焦点を当てた展示・講座を実施した。後半では長野県の縄文土器の優品をはじめ一堂に会する展示を行い、縄文土器の世界を広げた。中期目標に基づく博物館評価のあり方について検討し、本格実施に備えた。外部団体との連携では、新たに長野県カルチャーセンターとの連携企画を行い、「信濃史料」に関する東京大学史料編纂所との共同研究も行った。

5月 春季企画展「長野県の満洲移民—三つの大日向をたどる—」

7月 夏季展「戦争と宣伝 阿智村ポスターが語る」

9月 秋季企画展「縄文土器展」：前期展「八ヶ岳山麓の名作」 後期展「千曲川流域、土器一万年の旅」

2013年1月 冬季展「愛娘の調度品—姫君様の婚礼道具から雛人形まで—」

3月 埋蔵文化財センター30周年企画展「長野県の遺跡発掘2013」(共催事業)

#### 2013(平成25)年度

利用者の立場に立って、心が通って楽しく、発見のある内容とサービスに力点をおいた。夏季企画展では、「信州の野球史」を取り上げた。スポーツに関する初めての企画ということもあり、全国からの観覧者があった。秋季企画展の「刃が語る信濃」については、一般にはなじみのない刀剣の展示であったが、関心のある方は何回も熱心に来場された。冬季展「山国の水害」では、戊の満水と善光寺地震を取り上げたところ、災害に関する関心度が高く好評だった。

4月 天皇・皇后両陛下下行幸啓

6月 夏季展「信州の野球史—大正から昭和初期にかけて全国屈指の強さを誇った中等学校野球—」

9月 秋季展「刃が語る信濃」

11月 冬季展「山国の水害—戊の満水と善光寺地震—」

2014年2月 館蔵品展「戦前の観光信州」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2014」(共催事業)

#### 2014(平成26)年度

利用者の立場に立って、学術的である上、県民の関心をそそる内容とサービスに力点をおいた。館蔵品展では「歴史に煌めく日本の美」ということで歴史館の優品を展示した。夏季展では、信州山の日制定に伴い「山とともに生きる」と題して、県内の山関係の展示を行った。秋季企画展の「信濃武士の決断」については、戦国時代の信濃武士の生き様について展示をした。冬季展「縄文土器展」縄文中期の展示で評判になった。春季企画展では、「山と海の回廊をゆく」と題して、北陸新幹線延伸に伴うタイムリーな企画で関心度が高く好評だった。

6月 館蔵品展「歴史に煌めく日本の美」

7月 夏季展「山とともに生きる～「信州山の日」制定を記念して～」

9月 秋季展「信濃武士の決断～信長・秀吉・家康の時代～」

11月 冬季展「縄文土器展～デコボコかざりのはじまり～」

2015年2月 春季展「山と海の廻廊をゆく～信濃と北陸をつなぐ道～」

## 2015(平成27) 年度

利用者目線に立つとともに、学術的には未開拓分野の研究を深め、その成果を展示した。また、市町村や民間の団体の協力を得た成果を発表する展示をおこなった。「長野県の遺跡発掘2015」は、長野県埋蔵文化財センター、市町村教育委員会の協力を得て当館が主催し長野県の最新の発掘成果を展示する初めての試みであった。戦後70年企画「長野県民の1945－疎開・動員体験と上原良司－」は戦後70年を経、戦争体験の風化、体験の継承の難しさが指摘されていることに鑑み、1945年当時の長野県民の戦争体験を長野空襲、動員、疎開、上原良司などを切り口に取り上げた。戦争体験者から体験を聞く証言会や、長野県内の市町村等が編集した戦争体験証言集を収集した。アメリカ軍資料、上原良司関係資料など新資料の掘り起こしをおこなった。タイムリーな企画として好評であった。秋季企画展「樹木と人の交渉史」は当館が継続して取り組んでいる木製品保存処理作業の成果を、「樹木と人の関わり」の観点で展示した。旧石器時代から近世までを生業・信仰などに係わる資料で展示した。館全体を展示スペースと位置づける新しい試みをおこなった。冬季展「地図の明治維新－残された明治初期の町村絵図－」は、当館が収蔵する絵図地図約2700点の中から皇国地誌作成にあたって付図として作成されたと考えられる明治初期の絵図地図についての研究成果の展示であった。平成26年度よりおこなっている長野県測量設計業協会との共同研究「長野県絵図地図研究会」の成果をベースとした館蔵品展であったが、県下各地域の絵図地図を展示したことで全県から見学者が訪れ好評であった。

5月 「長野県の遺跡発掘2015」

7月 戦後70年企画展「長野県民の1945－疎開・動員体験と上原良司－」

10月 秋季企画展「樹木と人の交渉史」

12月 冬季展「地図の明治維新－残された明治初期の町村絵図－」

2016年3月 「長野県の遺跡発掘2016」

## 2016(平成28) 年度

笹本正治館長を迎え、「県民のための歴史館」を目標に、多方面にわたって積極的に広報活動をおこなった。6月には真田氏を取り上げた館主催の連続講座「歴史館ふるさと講座in千曲」(5回)を実施、延べ600人の聴講者があった。8月には戦争と平和を考える連続講座「歴史館から考える戦争と平和」(4回)を開催、同様多数の聴講者があった。平成29年1月には長野県ケーブルテレビジョンとの連携協定に調印、情報発信力の強化を図った。

平成28年巡回展「長野県の遺跡発掘2016」は従来の伊那・安曇野2会場に加え、佐久会場(佐久市近代美術館)での開催を実施した。

企画展示では秋季企画展で木曾地域の歴史を取り上げた。同時期に木曾が日本遺産登録を受けたことで、タイムリーな企画となった。木曾馬や木曾各地の民俗芸能を歴史館に招いたほか、常設展示の各時代にも木曾関連展示コーナーを設けるなど、積極的に木曾文化の発信を図った。

冬季展「信濃の城と城下町－発掘調査が謎を解く－」は、県内市町村教育委員会との共同研究の成果を発表したものである。

出前講座は121回、9300人ほどが聴講した。昨年と同様、4300人に比べほぼ倍増であった。

「やさしい信濃の歴史講座」の出前は従来の上田・松本に加え、箕輪で実施した。

平成31年度の「開館25年」に合わせて課題の洗い出しが行われ、常設展示のなかに小学生向けの近現代コーナーを設置する方針が決定した。次年度検討を行うこととなった。また、本年度は長野県にとっては「信州学」元年であり、高校生向けの教材も作成された。当館としても歴史を基礎とするオリジナルな信州学テキストの刊行を計画、次年度に編集・刊行を行うこととした。

ブックレットは「水」とテーマとした。

「開館25年」記念展示として、国宝土偶を一堂に展示する企画が立案され、準備に入った。

老朽化した施設の修繕として、屋根防水改修、講堂の空調改修を行った。

3月 「長野県の遺跡発掘2016」

7月 夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道－失われた鉄道の軌跡－」

9月 秋季企画展「－文化の十字路－木曾の宝」

12月 冬季展「信濃の城と城下町－発掘調査が謎を解く－」

2017年3月 「長野県の遺跡発掘2017」

## 2017(平成29) 年度

平成28年度同様「県民のための歴史館」を目標に、多方面にわたって積極的に広報活動をおこなった。6月から7月には信州の災害史を取り上げた館主催の連続講座「自然と向かい合い暮らしを築く」(5回)を実施、延べ900人近い聴講者があった。講座の様子は長野県ケーブルテレビジョンで配信された。

長野県・長野県教育委員会・(一社)長野県環境保全協会等で実行委員会を構成する「信州環境フェア2017」(7/29・30 於ビックハット)に参加し「戌の満水」の展示を行った。

平成29年巡回展「長野県の遺跡発掘2017」は昨年に続き伊那（伊那文化会館）・安曇野（豊科郷土資料館）・佐久（浅間縄文ミュージアム）で実施した。

企画展示では、夏季企画展「長野県誕生！－公文書・古文書から読みとく－」で長野県の明治維新の歴史を取り上げた。当館が所蔵する豊富な行政文書を核にすえた展示であったが、幕末の混乱期から長野県が成立する明治初期を詳細に辿る企画であったが、期間中に図録が完売するなど、高い評価を受けた。オープニングセレモニーには阿部守一長野県知事が出席した。

秋季企画展「進化する縄文土器～流れるもようと区画もよう～」は、平成26年度冬季展「縄文土器展～テコポコかざりのはじまり～」に続くもので、縄文時代中期中葉のなかごろ（約5,300～5,100年前）における縄文土器の飛躍的な進化を取り上げた。図録は館内のみでなく、信毎書籍出版センターから刊行された。

冬季展「田中芳男－「虫捕御用」の明治維新」は、飯田出身で「日本における博物館の父」と呼ばれる田中芳男の生涯と業績を取り上げた。昨年度秋季企画展での木曾地域との連携同様、この展示では飯田市および飯田市美術博物館との連携に努めた。オープニングセレモニーには太田寛長野県副知事、牧野光朗飯田市長、上岡美保東京農業大学「食と農」の博物館副館長が出席した。

この展示は歴史館としては初めて特定の人物を取り上げたものであったが、多くの共感を得ることができた。

出前講座は123回、8600人ほどが聴講した。昨年とほぼ同数であった。

「やさしい信濃の歴史講座」の出前は従来の上田・松本、箕輪に加え諏訪で実施した。

館運営に企業等の賛助を得る「歴史館パートナーの日」を初めて実施した。南信に拠点をおくKOA株式会社の協賛を受け12月16日（土）を「KOAの日」と命名、入館無料とした。約500人が来館した。バックヤード探検、新購入史料（「きそのぐわんしょ」）の公開、プラ板作りなどのイベントを実施した。

文献史料課では8月に新規事業として「ティーンズ古文書講座」を実施した。4日（2.5時間×4日）、中学生から大学生まで19人の参加があった。若年層向けの古文書講座は全国でもまれで、マスコミにも取り上げられた。次年度も継続することとなった。

歴史館版信州学テキスト（『日常生活からひもとく信州』）を信濃毎日新聞社より刊行した。全3巻を予定し、今回は「信州を学ぶ◎足元を探る編」をテーマに、衣食住を特集した。

親子ふれあいコーナーのコンセプトについて検討を行った。

ブックレットは「道」をテーマとした。

3月 「長野県の遺跡発掘2017」

7月 夏季企画展「長野県誕生！－公文書・古文書から読みとく－」

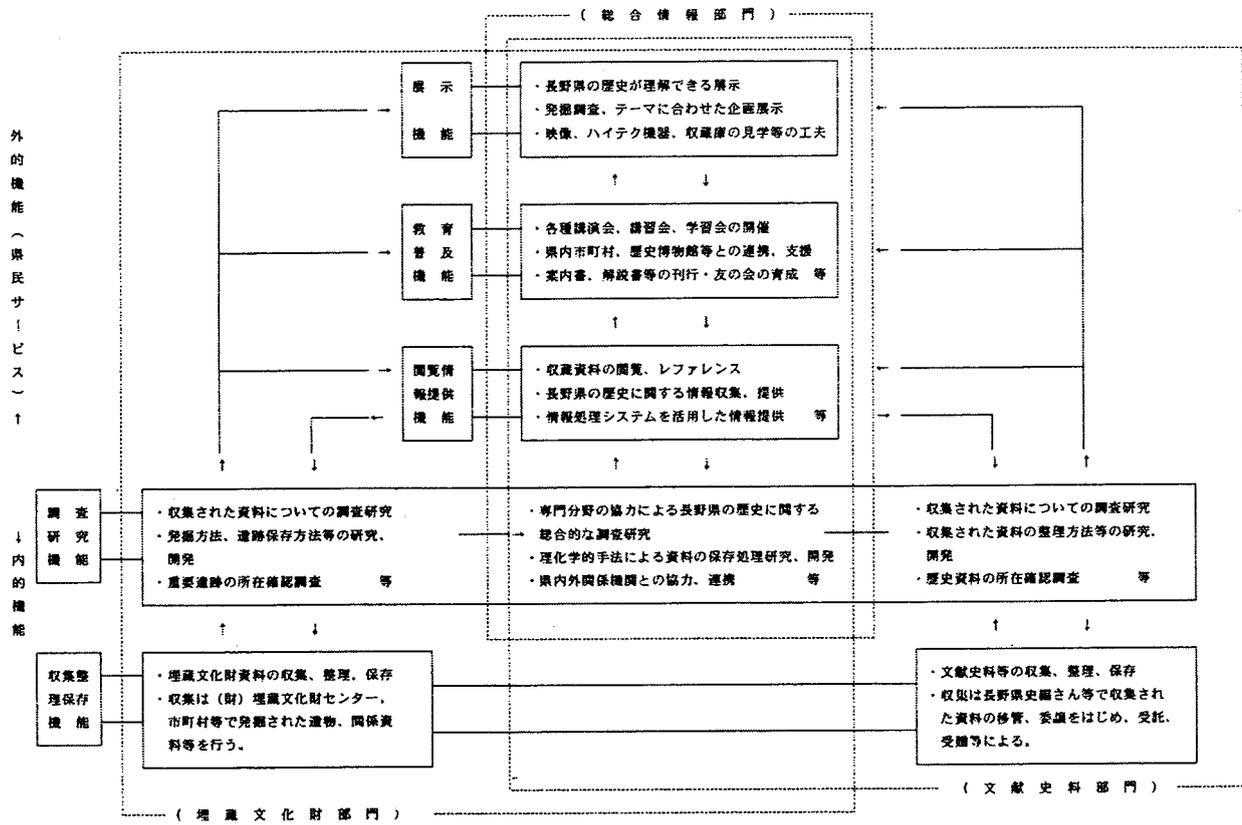
9月 秋季企画展「進化する縄文土器～流れるもようと区画もよう～」

12月 冬季展「田中芳男－「虫捕御用」の明治維新」

2018年3月 「長野県の遺跡発掘2018」

## Ⅱ 機能・組織・運営

### 1 機能



県立歴史館機能構成図（平成元年7月「文化財に関する施設建設基本構想懇談会報告書」による）

## 建設基本構想骨子（平成2年11月建設委員会決定）

### 1 施設の性格

- (1) 発掘調査により出土した埋蔵文化財資料及び歴史的に貴重な行政文書、古文書等の史資料について、収集、整理、保存、調査研究、閲覧、情報提供、教育普及及び展示を行う歴史博物館的施設とする。
- (2) 文化財への親しみと理解が深められるよう、県民の学習ニーズに対応し、歴史学習活動を支援する。

### 2 設置場所

更埴市大字屋代字清水（森將軍塚古墳付近）

### 3 館の機能

主要な機能は、「展示」、「教育普及」、「閲覧、情報提供」、「調査研究」及び「収集、整理、保存」で構成する。

#### (1) 展示

- ア 埋蔵文化財、文献史料等による長野県の歴史が理解できる常設展示を行う。
- イ 発掘調査、テーマ等に合わせた企画展示、特別展示、巡回展示を行う。
- ウ 映像、ハイテク機器等を活用した楽しく興味を持てる展示を行い、館内の整理作業工程、収蔵庫等の見学コースを設定する。

#### (2) 教育普及

- ア 各種講演会、講習会、学習会を開催する。
- イ 県内の市町村、歴史博物館、歴史民俗資料館等と連携し活動を支援する。

#### (3) 閲覧、情報提供

- ア 収蔵資料を閲覧に供する。
- イ 長野県に関する情報を収集し、情報処理システムを活用した提供を行う。

#### (4) 調査研究

- ア 収集された資料について、調査研究を行い、その成果を展示、教育普及、閲覧及び情報提供に反映させる。
- イ 専門分野の協力による長野県の歴史に関する調査研究を行う。
- ウ 発掘調査、保存処理、整理方法等に関する研究、開発を行う。
- エ 重要遺跡、歴史資料の所在調査を行う。

#### (5) 収集、整理、保存

- ア 長野県に対する埋蔵文化財資料及び行政文書、古文書等の文献史資料を収集し、整理分類して収蔵する。
- イ 資料の収集は、県内外で発掘された遺物、関係

資料や県史編さん等で収集された資料の移管、委

譲をはじめ、受託、受贈、購入、複製収集等による。

### 4 館の組織

主要な組織は、「総合情報部門」、「埋蔵文化財部門」、「文献史料部門」及び「管理部門」で構成する。

#### (1) 総合情報部門

- ア 展示の企画、開催、教育普及活動等
- イ 長野県の歴史に関する調査研究及び情報の収集、整理、提供

#### (2) 埋蔵文化財部門

- ア 埋蔵文化財資料の収集、整理、保存
- イ 遺跡、遺物の保存、活用等のための調査研究

#### (3) 文献史料部門

- ア 行政文書、古文書などの収集、整理、保存
- イ 古文書等の所在確認、収集資料の保存、活用等のための調査研究

#### (4) 管理部門

- ア 庶務、会計
- イ 施設、設備の管理

### 5 敷地の概要

取得面積 約 19,500 m<sup>2</sup>

（用途別内訳）

建物面積	6,500 m <sup>2</sup> 程度	駐車場	4,500 m <sup>2</sup> 程度
外構面積	6,500 m <sup>2</sup> 程度	屋外展示	2,000 m <sup>2</sup> 程度

### 6 施設の概要

建築面積 6,500 m<sup>2</sup>程度

延べ床面積 10,000 m<sup>2</sup>程度

（部門別内訳）

総合情報部門	3,100 m <sup>2</sup> 程度
埋蔵文化財部門	2,750 m <sup>2</sup> 程度
文献史料部門	1,850 m <sup>2</sup> 程度
管理部門	2,300 m <sup>2</sup> 程度

### 7 建設計画

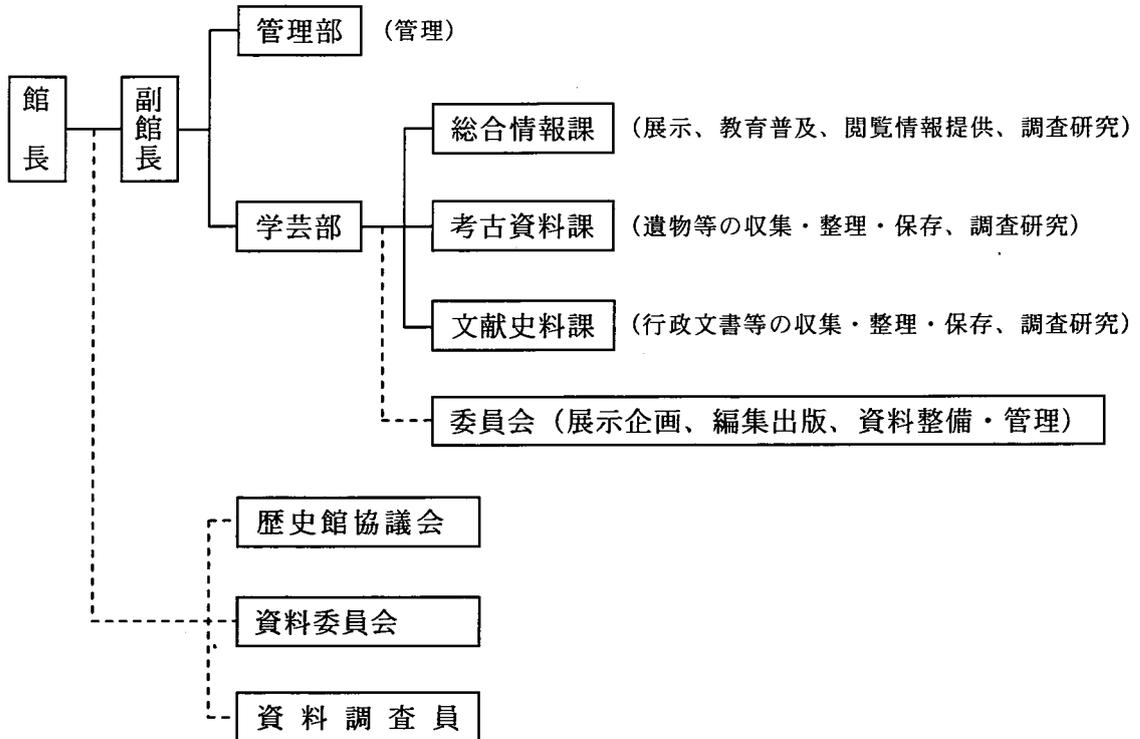
平成4年	着工
平成5年	完成
平成6年（春）	開館

### 8 施設建設に伴う留意点

更埴市における歴史公園構想の中核的施設となるため、土地利用・施設外観・展示・植栽計画において整合を図る。

## 2 組織と分掌

○組織図（平成 29 年 4 月 1 日現在）



○分掌表

部 課	分 掌 事 項
管 理 部	1 庶務及び会計に関すること 2 組織及び人事に関すること 3 営繕に関すること 4 警備、清掃及び防火に関すること 5 施設、設備の保守管理に関すること
学 芸 部	総合情報課 1 歴史資料等の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示、閲覧に関すること 2 教育普及（講演会、講習会、研修会等）の企画及び実施並びに調整に関すること 3 図書資料の受入れ、整理及び閲覧に関すること 4 情報提供の企画及び実施に関すること 5 各種刊行物の編集及び出版並びに企画調整に関すること
	考古資料課 1 考古資料の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示、閲覧に関すること 2 埋蔵文化財の研究及び科学分析・保存処理に関すること 3 教育普及（講習会、研修会等）の企画及び実施に関すること 4 情報提供の実施に関すること 5 考古資料に関する目録、報告書等の管理に関すること
	文献史料課 1 文献史料の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示、閲覧に関すること 2 教育普及（講習会、研修会等）の企画及び実施に関すること 3 情報提供の実施に関すること 4 文献史料に関する目録、報告書等の管理に関すること

### 3 運営

#### (1) 平成29年度 運営方針

長野県の歴史・文化の拠点として、考古資料、文献史料、その他の歴史資料及び長野県の公文書を収集、保存、調査研究し、展示、閲覧等により県民に公開するとともに県民が楽しく利用できる諸事業を行い、もって県民の教養と文化振興の向上に寄与する。

#### (2) 事業概要

##### ① 重点事業の実施

- (a) 親子歴史ふれあいコーナーの開設準備
- (b) 歴史館版信州学テキストの編集
- (c) 「おでかけ歴史館」の実施
- (d) 地域博物館との連携

##### ② 展示の充実

- (a) 常設展示（年間展示・展示替2回）
- (b) 企画展等
  - ・夏季企画展「長野県誕生！」
  - ・秋季企画展「進化する縄文土器」
  - ・冬季展「田中芳男」
- (c) 埋蔵文化財速報展
  - ・「長野県の遺跡発掘 2017」（共催事業）（長野・伊那・安曇野・佐久会場）
  - ・「長野県の遺跡発掘 2018」（共催事業）（長野会場）
- (d) 上記展示に関連した展示解説や講演会等の事業

##### ③ 歴史関係講座等の開催

- (a) 主催講座（歴史館ふるさと講座、やさしい信濃の歴史講座、考古学講座、古文書講座〔初・中・上級〕ティーンズ古文書講座）
- (b) 連携講座（飯田市美術博物館、安曇野市豊科郷土博物館、信濃史学会、長野県考古学会）
- (c) その他各種講演会・講座等の開催

##### ④ 刊行物の発行

- (a) 年報、研究紀要、ブックレット及び歴史館たより等の発行
- (b) その他パンフレット等を随時発行

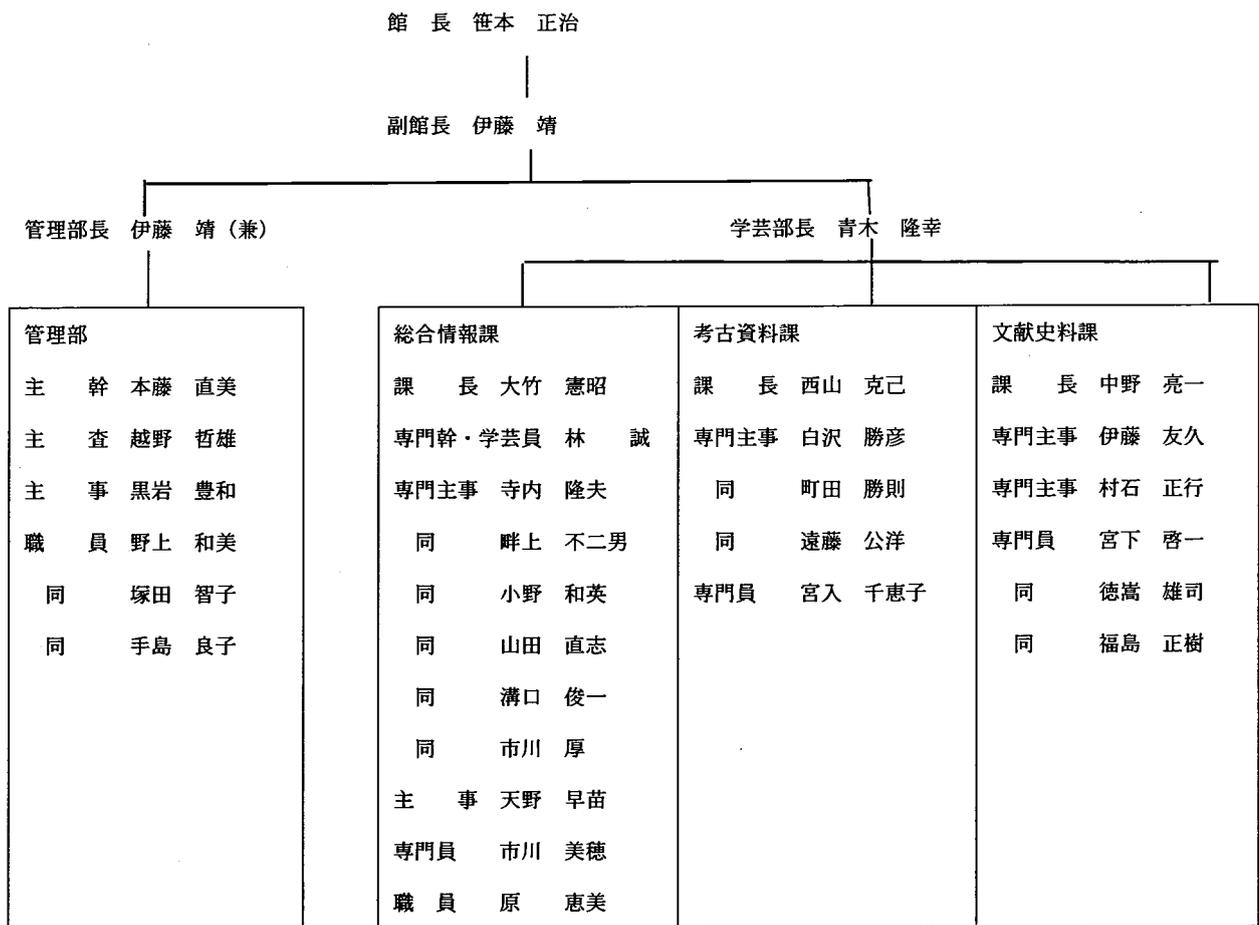
##### ⑤ 史資料の収集、整理、保存及び公開

- (a) 信州にまつわる史資料の収集強化
- (b) 長野県埋蔵文化財センター等が発掘した考古資料の科学分析、保存処理、整理及び保存
- (c) 収集、整理及び保存している史資料の積極的な公開や活用の促進
- (d) 長野県の公文書の収集・整理・保存

##### ⑥ その他

- (a) 歴史館の運営に関係する諸機関との連携強化
- (b) 学校教育や生涯学習及び文化財保護活動等への支援
- (c) 長野県博物館協議会及び長野県史料保存活用連絡協議会等に係る業務の推進
- (d) 信州大学との連携（学芸員課程講座・教員免許講座）

(3) 職員名簿 (平成 30 年 3 月 31 日現在)



(3) 長野県立歴史館協議会委員 (五十音順)

氏 名	役 職
久留島 浩	国立歴史民俗博物館長
小林 正 春	長野県考古学会長
小松 芳 郎	信濃史学会長
下村 征 子	東御市教育長職務代理者
高澤 政 江	公募
中條 智 子	(一社)長野県連合婦人会長
中村 孝 子	更級小学校教諭
早見 千津子	(公財)八十二文化財団職員
山口 敏 男	千曲市森將軍塚古墳館長
山崎 まゆみ	公募

(4) 長野県立歴史館資料調査員

氏 名	担 当 範 囲
福島 邦 男	南佐久郡・佐久市
牧野 和 人	北佐久郡・小諸市
倉澤 正 幸	小県郡・上田市・東御市
高見 俊 樹	諏訪郡・岡谷市・諏訪市・茅野市
唐木 孝 雄	上伊那郡・伊那市・駒ヶ根市
山内 尚 巳	下伊那郡・飯田市
柳川 浩 司	木曾郡
小松 芳 郎	東筑摩郡・南安曇郡・塩尻市・松本市
伊藤 信 一	東筑摩郡・南安曇郡・塩尻市・松本市
小林 茂 喜	北安曇郡・大町市
久保田 廣 志	埴科郡・千曲市
丸山 文 雄	上高井郡・須坂市
樋口 和 雄	下高井郡・中野市
西沢 安 彦	上水内郡・長野市
小柳 義 男	上水内郡・長野市
望月 静 雄	下水内郡・飯山市

(5) 長野県立歴史館資料委員会委員 (五十音順)

氏 名	役 職	分 野
上條 宏 之	長野県短期大学学長	近・現代資料
工 楽 善 通	大阪府立狭山池博物館長	原始資料
竹 内 誠	東京都江戸東京博物館長	近世資料
平 川 南	山梨県立博物館長	古代・中世資料
矢 島 新	跡見学園女子大学教授	美術工芸資料

## 4 関係法規

### 長野県立歴史館条例 (平成6年長野県条例第24号)

#### (趣旨)

第1条 この条例は、博物館法(昭和26年法律第285号)及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)並びに地方自治法(昭和22年法律第67号)の規定に基づき、歴史館の設置及びその管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

#### (設置)

第2条 考古資料、歴史的価値を有する文書、その他歴史資料等を収集し、保存して、広く県民の利用に供し、その教養及び文化の振興に寄与するため、長野県立歴史館(以下「歴史館」という。)を千曲市に設置する。

#### (職員)

第3条 歴史館に、博物館法第4条第1項及び第3項に規定する職員のほか、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

#### (協議会)

第4条 歴史館に、博物館法第20条の規定による歴史館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから長野県教育委員会が任命する。

3 協議会の委員の定数は10名以内とし、その任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

#### (使用の許可)

第5条 歴史館を使用しようとする者は、長野県教育委員会の許可を受けなければならない。

#### (使用料の納付)

第6条 歴史館の展示資料を観覧する者は、使用料を納付しなければならない。

#### (使用料の額)

第7条 前条の使用料の額は、観覧1回につき1,000円の範囲内でその都度知事が定める額とする。

#### (使用料の減免)

第8条 知事は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(1) 児童、生徒及びこれらの引率者が、学校の教育課程に基づく教育活動として観覧するとき。

(2) 前号に定めるもののほか、特別の理由があるとき。

#### (管理等の委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、歴史館の管理及びこの条例の施行に関し必要な事項は、長野県教育委員会が定める。

#### 附 則

この条例は、平成6年11月3日から施行する。

附 則 (平成15年7月24日条例第47号)

この条例は、平成15年9月1日から施行する。

附 則 (平成17年3月28日条例第37号)

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月22日条例第40号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

### 長野県立歴史館管理規則 (平成6年教育委員会規則第5号)

#### (趣旨)

第1条 この規則は、長野県立歴史館条例(平成6年長野県条例第24号。以下「条例」という。)第9条の規定により、長野県立歴史館(以下「歴史館」という。)の管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

#### (休館日)

第2条 歴史館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。ただし、長野県教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

(1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、火曜日)

(2) 休日の翌日

(3) 12月28日から翌年1月3日まで

#### (開館時間)

第3条 歴史館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育委員会は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

#### (歴史館協議会)

第4条 条例第4条の規定による歴史館協議会は、歴史館の長が招集する。

2 歴史館協議会を分けて定例会及び臨時会とし、定例会は毎年1回、臨時会は必要に応じて招集する。

3 歴史館協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

#### (使用の許可等)

第5条 条例第5条の規定により許可を受けようとする者は、歴史館に保存されている資料を閲覧する場合にあっては長野県立歴史館閲覧申込書(様式第1号)を教育委員会に提出し、展示資料を閲覧する場合にあってはその旨を教育委員会に申し出なければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による許可をしたときは、閲覧許可書又は観覧券(様式第2号)を交付するものとする。

#### (閲覧の制限)

第6条 教育委員会は、歴史館に保存されている資料のうち、次の各号に掲げるものの閲覧を制限することができる。

(1) 法令の定めるところにより公開ができないもの

(2) 個人に関する資料で、他人に知れたくないと思われられるもの

(3) 法人その他の団体に関する資料で、閲覧に供することにより当該法人その他の団体に不利益を与えるおそれがあるもの

(4) 資料の傷み等のため保存上支障のあるもの

(5) 資料の整理が完了していないもの

(6) 寄贈者又は寄託者と利用の制限について特約があるもの

(7) 前各号に定めるもののほか、公益上の理由等により閲覧に供することが不適当と認められるもの

(遵守事項)

第7条 歴史館の利用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 歴史館の施設、資料等を損傷し、汚損し、又は紛失しないこと。
- (2) 歴史館内において他人の迷惑になるような行動をしないこと。
- (3) 所定の場所以外で飲食し、又は喫煙しないこと。
- (4) 歴史館内に爆発物、可燃物、銃砲刀剣類等の危険物を持ち込まないこと。
- (5) 前各号に定めるもののほか、歴史館の秩序の維持について教育委員会が定める事項

(入館の制限等)

第8条 教育委員会は、めいていしている者その他歴史館の管理上著しく支障があると認められる者の入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

(使用許可の取消し等)

第9条 教育委員会は、歴史館の利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、使用許可の取消し、使用の停止又は使用条件の変更をすることができる。

- (1) 第7条の規定に違反したとき。
- (2) 使用の許可に付した条件に違反したとき。

(損害の賠償)

第10条 歴史館の利用者は、歴史館の施設、資料等を損傷し、汚損し、又は紛失したときは、遅滞なく教育委員会に届け出て、その指示に従い、原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(補則)

第11条 この規則に定めるもののほか、歴史館の管理等について必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この規則は、平成6年11月3日から施行する。

附 則 (平成17年3月28日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月22日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

## 長野県立歴史館協議会運営細則

(趣旨)

第1条 この細則は、長野県立歴史館条例(平成6年条例第24号)第4条及び長野県立歴史館管理規則(平成6年教育委員会規則第5号)第4条で規定するもののほか、長野県立歴史館協議会(以下「協議会」という。)の運営に必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選とする。

3 会長は会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会の会議は、会長がその議長となる。

2 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第4条 協議会の庶務は、長野県立歴史館において処理する。

(委任)

第5条 この細則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この細則は、平成24年10月1日から施行する。

## 長野県立歴史館資料委員会要綱

### (設置)

第1条 長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）が収集する歴史資料（購入資料または寄贈・寄託を受けた資料をいう。以下同じ。）及び館蔵資料の活用等について意見を聴取するため、歴史館資料委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

### (協議事項)

第2条 委員会は、収集する歴史資料の選定、評価及び館蔵資料の活用方策等に関する事項について協議する。

### (委員)

第3条 委員会の委員（以下「委員」という。）の定数は、7名以内とする。

2 委員は、学識経験者のうちから、歴史館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。補欠のため就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 館長は、収集しようとする歴史資料について、委員以外の学識経験者から意見を聴取する必要があると判断した場合は、学識経験者のうちから、臨時的に委員を委嘱することができる。ただし、委嘱期間は、委嘱した日から当該歴史資料について協議する委員会開催日までとする。

### (会長及び副会長)

第4条 委員会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選とする。

3 会長は会務を総理し、委員会を代表する。

### (会議)

第5条 委員会の会議は、館長が招集する。

2 会議の議長は、会長が務める。会長に事故があるときは副会長が代行する。

### (庶務)

第6条 委員会の庶務は、歴史館において処理する。

### 附則

この要綱は、平成7年7月1日から施行する。

この要綱は、平成25年11月1日から施行する。

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

## 長野県立歴史館資料調査員設置要綱

### (趣旨)

第1条 この要綱は、長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）の資料収集に当たり、県内における資料の所在、分布等の調査を行うため、資料調査員（以下「調査員」という。）の設置について必要な事項を定めるものとする。

### (委嘱)

第2条 調査員は、歴史館長が委嘱する。

2 調査員には、調査員証（様式第1号）を交付する。

3 調査員証は第6条に規定する調査以外に用いてはならない。

### (任期)

第3条 調査員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠者の任期は前任者の残任期間とする。

### (員数及び調査区域)

第4条 調査員は、16名以内とし、調査区域とその員数は別表のとおりとする。

### (調査対象)

第5条 調査対象は、原始から現代に至る歴史的価値ある史料とする。

### (調査方法及び報告)

第6条 調査員は、必要に応じて資料所蔵者を訪問して、資料の有無、保存状況、所蔵者の変更その他歴史館長が指示した事項について調査を行い、その調査結果を歴史館長に報告するものとする。

### (守秘義務等)

第7条 調査員は、調査に際しては人権を尊重し、プライバシーの保護に配慮するものとし、職務上知り得た秘密を洩らしてはならない。

### (会議)

第8条 調査員の情報交換、調査事項の指示のため、歴史館長は必要に応じて調査員会議を開催するものとする。

### 附則

この要綱は、平成7年10月1日から施行する。

### 附則

この要綱は、平成18年5月26日から施行する。

### Ⅲ 施設

敷地面積 19,593 m<sup>2</sup>  
 建築面積 6,702 m<sup>2</sup> (延床面積 10,457 m<sup>2</sup>)  
 鉄筋コンクリート造、地上2階

#### 管理部門

事務室、会議室、エントランスホール 等

#### 総合情報部門

常設展示室 (1,278 m<sup>2</sup>)、企画展示室 (292 m<sup>2</sup>)、講堂 (238 席)、第一研修室 (実習室) (186 m<sup>2</sup>)、第二研修室 (148 m<sup>2</sup>)、閲覧室 (159 m<sup>2</sup>)、展示準備室、図書室、情報処理室、映像情報室 等

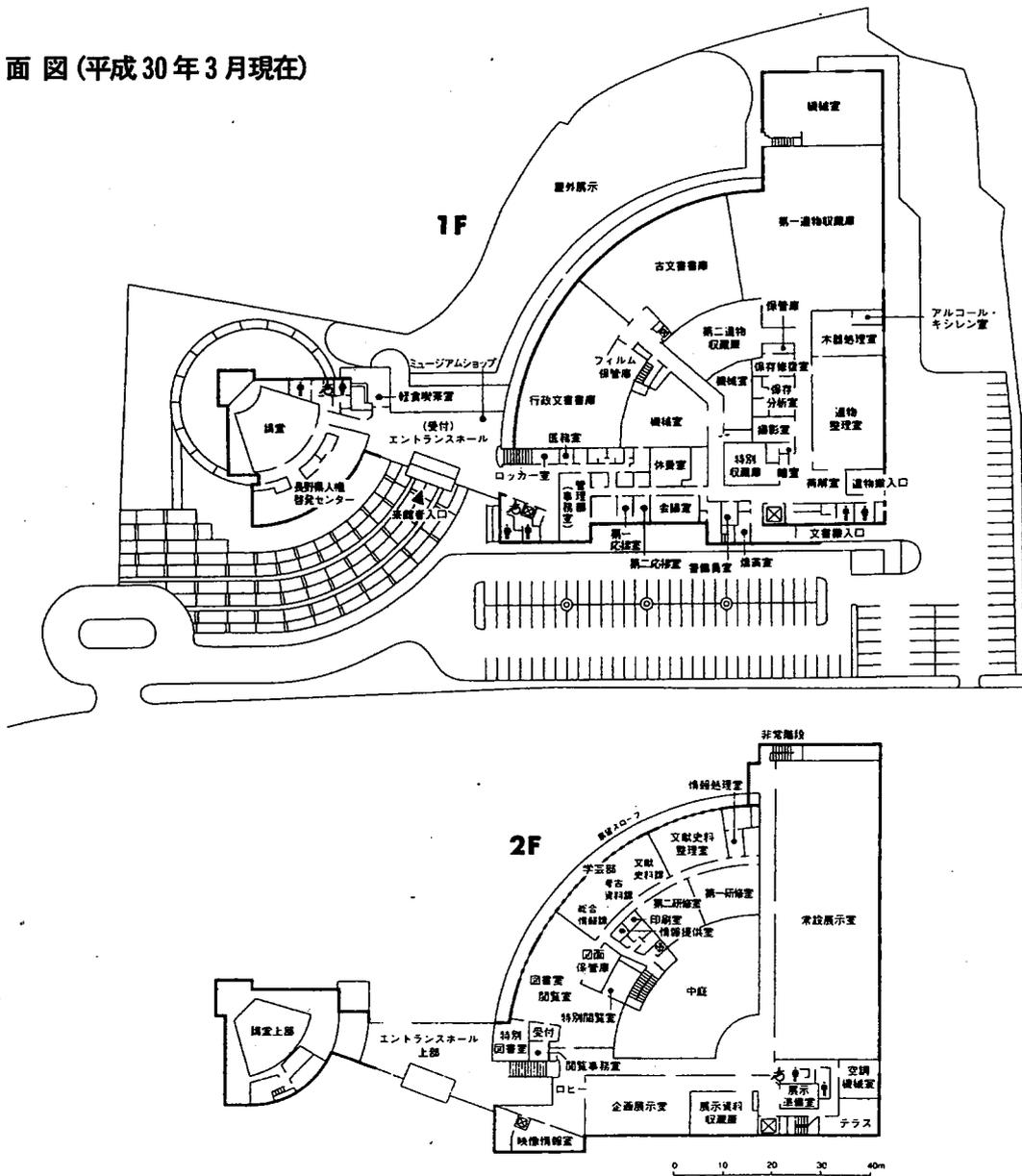
#### 考古資料部門

遺物整理室 (348 m<sup>2</sup>)、第一遺物収蔵庫 (982 m<sup>2</sup>)、第二遺物収蔵庫 (215 m<sup>2</sup>)、木器処理室、保存分析室、保存修復室 等

#### 文献史料部門

文献史料整理室 (145 m<sup>2</sup>)、行政文書書庫 (592 m<sup>2</sup>)、古文書書庫 (583 m<sup>2</sup>)、薫蒸室、フィルム保管庫 等

1 平面図 (平成30年3月現在)



## 2 諸 室

部門	室 名	面積 (㎡)	用 途	備 考
学 部	常設展示室	1,278	長野県の歴史についての展示	2 階
	企画展示室	292	企画展、特別展、巡回展、速報展など短期間の展示	
	展示資料収蔵庫	131	考古・文献史料以外の展示資料及び企画展示用資料の収蔵	
	展示準備室	42	展示用機材・備品の保管、展示準備作業スペース	
	閲覧室	159	行政文書・図書等の収蔵資料の閲覧	
	特別閲覧室	42	古文書、絵図等特殊資料の閲覧	
	閲覧事務室	16	閲覧に関する事務、各種問合せ・相談の対応	
	図書室	232	図書資料等保管	
	特別図書室	53	特別図書・貴重図書の保管	
	情報処理室	33	企画展、特別展、巡回展、速報展など短期間の展示	
	映像情報室	73	ビデオ映像による歴史学習	
	第一研修室	186	少人数の各種研修、講習	
	第二研修室	148	少人数の各種研修、講習	
	図面保管室	41	発掘調査関係図面保管	
芸 文 学	文献史料整理室	145	文献史料の分類整理、台帳・目録作成	1 階
学 芸 部	学芸部室	148	学芸部職員の執務	
門	講堂	225	多人数の各種講演、講座、映写による歴史学習	
	撮影・現像室	55	資史料撮影、現像	
	遺物整理室	348	遺物の水洗い・注記・接合・復元	
	保存分析室	45	出土遺物類の各種保存処理・分析	
	木器処理室	97	出土木器の保存処理	
	休養室	37	整理作業員等の休憩、昼食	
	保存修復室	39	遺物の修復	
	X線分析室	13	遺物の分析	
	蛍光X線分析室	12	遺物の分析	
	アルコールキシレン室	19	遺物の保存処理	
	第一遺物収蔵庫	982	出土土器・石器類の収蔵	
	第二遺物収蔵庫	215	出土木器の収蔵	
	特別収蔵庫	71	重要な資史料の収蔵	
	行政文書書庫	592	行政文書・行政資料の保管	
古文書書庫	583	寄贈、寄託等の古文書の保管		
フィルム保管庫	42	マイクロフィルム、映画フィルム等の保管		
燻蒸室	19	搬入資料の燻蒸		
	小 計	6,413		
管 理 部 門	事務室	130	管理部門職員の執務	1 階
	会議室	59	諸会議用	
	エントランスホール	431		
	その他諸室等	3,236	第一応接室、第二応接室、医務室、機械室、軽食喫茶室、廊下 等	
	小 計	3,856		
	長野県人権啓発センター	188		1 階
	合 計	10,457		

# 一 事 業

## Ⅰ 平成29年度の主な事業実績

事業名		実施時期	利用者数	備考	
自 主 事 業	展 示	常 設 展	年間 ( 297日)	37,720	
		巡回企画展「長野県の遺跡発掘2017」	(4月1日)～ 6月25日	12,066	
		巡回企画展「長野県の遺跡発掘2017」(伊那会場)	7月29日～ 8月20日	1,146	
		巡回企画展「長野県の遺跡発掘2017」(松本会場)	8月26日～ 9月24日	944	
		巡回企画展「長野県の遺跡発掘2017」(佐久会場)	9月30日～ 11月26日	955	
		夏季企画展「長野県誕生！」	7月8日～ 8月28日	3,089	
		秋季企画展「進化する縄文土器」	9月16日～ 11月26日	7,727	
		冬季展「田中芳男」	12月16日～ 2月25日	2,292	
		巡回企画展「長野県の遺跡発掘2018」	3月17日～ (3月31日)	606	
	講 演 会 ・ 講 座 ・ 講 習 会 等	企画展関連講演会等(年13回)	7～2月	1,489	
		巡回企画展関連講演会等(年10回)	7～11月	379	
		やさしい信濃の歴史講座(年7回)	12～3月	925	
		やさしい信濃の歴史講座in上田・松本・箕輪・諏訪 (年4回)	8月～2月	299	
		考古学講座(年4回)・遺跡探訪会(年1回)	5～11月	275	
		古文書講座(初級A・B、中級A・B、上級別にそれぞれ年 5回。ティーンズ古文書講座・年4回)	5～10月	949	
		歴史館ふるさと講座	6・7月	883	
		出前講座(年123回)	4～3月	8,709	
バックヤード探検・見学		4～3月	13,913		
お出かけ歴史館		10月～3月	494		
考古資料保存処理講習会(年1回)		11月	23		
文献史料保存活用講習会(年3回)	6・11・3月	123			
各種講習会・イベント	4～3月	2,804			
その他	史資料等の閲覧	年間(297日)	4,244		
共 催 事 業	講 演 会 等	飯田市美術博物館連携講座(年1回)	3月	20	
		安曇野市豊科郷土博物館連携講座(年2回)	9月		巡回展講座 に含む
		考古学セミナー(年1回)	3月	75	長野県考古 学会
		近世史セミナー(年1回)	12月	131	信濃史学会
		古文書愛好会古文書演習	5～2月	529	
		古文書愛好会館蔵文書を読む会	6～12月	243	
計			103,052		

## Ⅱ 展 示

### 1 常設展示

共通テーマ

「信濃の風土と人びとの暮らし」

#### (1) 常設展示のねらい

長野県は中央高地に位置し、古くから東日本と西日本、太平洋側と日本海側を結ぶ結節点として、さまざまな文化の交流の場となり、独自の風土と文化をはぐくんできた。そうした風土と文化がつくられてきた歴史的背景と変遷を明らかにし、その成果を考古資料と文献史料などを活用した展示を通じて示し、信濃の歴史に触れ、歴史学習を深められる場を提供する。

#### ① 常設展示を構成する柱

##### ・課題とテーマをもった展示

東アジアや日本列島の歴史のなかにおける信濃の位置と歴史的変遷の大筋を明らかにするとともに、人びとの生活と風土の諸相を具体的に示す。

##### ・時代性を浮きぼりにする展示

時代ごとの人びとの生活を追体験できるような、臨場感あふれるものとする。

##### ・学問のジャンルをこえた学際的展示

信濃の地方史の特徴といわれる学際的総合的な歴史研究の成果を生か

して、わかりやすく楽しく考えられるものとする。

#### ② 常設展示の方法

・常設展示は、歴史館に収蔵される考古資料や文献史料を活用しながら、ローテーション展示など多様な手段を用いた展示とする。

#### ③ 常設展示の内容

##### ・過去を追体験できるメイン展示

原始、古代・中世、近世、近現代の各時代に当時の様子を再現した実物大の環境復原模型を置き、その時代を追体験できるようにする。

##### ・テーマに沿って学習できる周辺展示

各時代の特徴ある史資料を、テーマに沿って展示し、より深い学習ができるようにする。

##### ・マルチメディアによる詳しい解説

周辺展示の理解を助けるために、映像と音声と文字情報で詳しい解説をする。

・各時代の植生を再現し、復原された遺構を展示する屋外展示「縄文の森」「万葉の野」「中世の林」を配置する。

## (2) 構成

### 木曾ヒノキが語る信濃の歴史

中テーマ	展示期間	主な展示資料
赤沢自然休養林と年輪 (実物大環境復原)	平成29年4月～30年3月	ヒノキ立林、植生
	平成29年4月～30年3月	木曾ヒノキ年輪、信濃の歴史年表

### 原始 信濃の風土がはぐくんだ原始の生活

#### 中テーマ ナウマンゾウと黒曜石

大陸と陸続きだった氷河時代に日本列島にやって来たナウマンゾウは、その後渡ってきた先土器時代(旧石器時代)の人びとと遭遇した。信濃最初の人びとは、現在の北海道なみの寒さのなかで、黒曜石などでつくった道具を使って狩猟生活をおこなっていた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
最古の狩人	平成29年3月～30年3月	ナウマンゾウ模型(実物大環境復原)、 ナウマンゾウ第1臼歯模型 他
最初に住んだ人びと	平成29年3月～30年3月	竹佐中原遺跡・日向林B遺跡石器 他
発達した狩りの道具	平成29年3月～30年3月	神子柴遺跡、矢出川遺跡石器 他

#### 中テーマ 中央高地の縄文文化

1万5,000年前、木の実を集め、鳥獣を狩り魚をとる食料採集狩猟を基礎とし、粘土で焼きあげた器、つまり土器を使う縄文文化がはじまった。5,000～4,000年前、縄文中期の長野県の地域は、日本一の人口密集地であった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
弓矢と土器の出現	平成29年3月～30年3月	隆起線文土器、早期の尖底土器、骨角製装身具 他
定住のはじまり	平成29年3月～30年3月	崩越遺跡土器、阿久遺跡土器、石器、装身具 他
華やかな土器文化と生業	平成29年3月～30年3月	東畑遺跡・剣ノ宮遺跡土器、屋代遺跡群獣骨類他
寒冷化する環境の中で	平成29年3月～30年3月	岩下遺跡、北村遺跡土偶・石器、村東山手遺跡土器 他

小テーマ	展示期間	主な展示資料
縄文のムラ（実物大環境復原）	平成29年3月～30年3月	竪穴住居、高床建物、縄文の秋の植栽 他

### 中テーマ 稲をつくった信濃人

3,000年前、大陸から新しい文化と縄文文化の伝統の上に、九州北部では水田稲作をする弥生文化が生まれた。500年後、長野県の地域にも、稲作のくらしがはじまった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
弥生時代のムラ	平成29年3月～30年3月	松原遺跡土器、篠ノ井遺跡石器、人面付土器、銅鐸（レプリカ） 他

### 中テーマ 古墳に葬られた人びと

4世紀ごろ、農業が生み出した富を手にした有力者が、人びとの上に立った。かれらの力は、古墳に示されている。5世紀の有力者は、武人として近畿地方の有力者に結びつき、朝鮮半島との交流もおこなった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
炬からカマドへ	平成29年3月～30年3月	篠ノ井遺跡群・榎田遺跡土器
黄泉の国へ	平成29年3月～30年3月	陣馬塚古墳大刀、松原遺跡馬具・勾玉 他
朝鮮半島からの文化	平成29年3月～30年3月	天冠、帯金具 他

## 古代 信濃国のなりたちと人びとのくらし

### 中テーマ 条里と水田

人々は自然を開発し、調和を保ちながら農業を営んできた。土地に刻まれている農業の歴史が、ほりだされた水田の跡から読み取れる。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
水田の跡を掘る	平成29年4月～30年3月	石川条里遺跡の土層
水田と農具の変化	平成29年4月～30年3月	木製農具（鋤、鋤、杵、槌、えぶり）
条里水田	平成29年4月～30年3月	条里区画変遷模型

### 中テーマ 都と信濃

7世紀ごろ法律をよりどころとする律令政治が始まった。全国は60以上の国ぐにからなり、国のもとに郡が置かれた。信濃国は10郡に分かれ、人びとはそれまでより都を意識したくらしをおくるようになった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
東山道をむすぶ	平成28年4月～29年2月	富本銭、無文銀銭、和同開珎、皇朝十二銭、信濃国印（復原）
古代の布	平成29年2月～29年3月	屋代木簡10号（複製）、苧引金具、紡錘車、信濃国印（復原）、正倉院白布（模造）、布袴（模造）

### 中テーマ 平安時代の村のくらし

多くの農民が貧しくくらす一方で、豊かな農民があらわれた。彼らは、11～12世紀、武力をたくわえて領主へと成長する。古文書などではわからない彼らのくらしの実態を、発掘調査が明らかにしている。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
富裕農民の世界	平成29年4月～30年2月	須恵器大甕、緑釉椀、緑釉皿、土師器皿、須恵器円面碗、帯金具、長良私印（複製）、羽口、鉄鏃、鉄滓
荘園と国衙	平成30年2月～30年3月	須恵器大甕、緑釉椀、緑釉皿、土師器皿、須恵器円面碗、帯金具、長良私印（複製）、貞観寺田地目録（複製）、鰐口（模造）、磬（模造）

## 中世 信濃武士と百姓のくらし

### 中テーマ 武士の争乱と信濃

領主としての武士は、貴族などと結んで荘園や牧をひらき、騎馬戦を得意とする武装集団となった。しかし、信濃は大名が育たないまま、隣国大名の奪い合う場となっていった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
合戦図と武士の世界	平成29年3月～30年3月	川中島合戦図屏風

### 中テーマ 鎌倉時代の善光寺門前

鎌倉時代には、土地の開発がすすんだ。しかし、災害・飢え・伝染病が絶えなかった。善光寺門前の日常生活とはなやかな仏の世界。ここでは現世と来世、地獄と極楽が隣りあっていた。

テーマ	展示期間	主な展示資料
善光寺と中世の折り	平成29年3月～30年3月	善光寺仏中尊像、密教法具、一遍聖絵（複製）、一遍上人絵詞伝（複製）
鎌倉時代の善光寺門前 (実物大環境復原)	平成29年3月～30年3月	棚店、在家、仏師屋、寺庵

### 中テーマ 交通と流通

信濃の武士や寺院・神社は、日本各地や中国・朝鮮と交流し、たくさんの品物や文化をとり入れた。寺社の門前や人の集まる場所には市が立って、商業がさかんになり交通も発達した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
東アジアと信濃	平成29年3月～29年9月	青磁花瓶、青磁盤、宋銭・明銭、常滑焼、湖亭春望図
銭を使う人びと	平成29年9月～30年3月	薄葉景光太田莊神代郷代官職請文、市川盛房置文、宋銭・明銭、常滑焼

## 近世 江戸時代の町と村の暮らし

### 中テーマ 領主と町・村

江戸時代になると武士は城下町に住み、役人として俸禄を得る。官僚的な制度が確立し、文書によって広い地域を統一的に支配した。村には検地を受けて百姓身分となった人びとが住んだ。村では、大庄屋や番所の番人などの役目を果たした村役人もいた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
農耕図の世界	平成29年4月～29年10月	四季農耕図屏風（景栄、其残）
城と城下町	平成29年10月～29年11月	大名家調度品（黒棚、乱箱、料紙箱、小角赤手箱）、白綸子松竹梅疋田紋小袖
大庄屋の仕事と暮らし	平成29年11月～30年2月	戸田家紋散大盃、螺鈿卓、梨子地紋散卓、松本城下町絵図（水野氏時代） 火事装束（胸当・宛帯・兜頭巾・火事羽織）、松川組旗
関所・番所	平成30年2月～30年3月	松代藩立屋口番所資料（袖搦、袖搦、刺股、看板）、同古文書（尾州江出シ申駄馬之事）
正保信濃国絵図	平成29年4月～30年3月	正保の信濃国絵図（複製）、年貢皆済目録（複製）

### 中テーマ 庶民生活の高まり

農家のくらはは、18世紀に大きく変わった。農業技術が進んで収穫が増し、商品作物の栽培や諸かせぎも発達して収入を得、麻から木綿へ、1日2食から3食へなど、衣食住が向上し、村の社会生活も変わりはじめた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
くらしの高まり	平成29年4月～30年3月	パネル「木綿と染色」「機織り機の変遷」、大麻・カラムシ等の実物
江戸時代の農家	平成29年4月～30年3月	江戸前期中層農家（実物大環境復原）、農家で使った生活用品や作業用具

### 中テーマ 中馬と地場産業の発達

貨幣経済の発達により、信濃国を通る中山道や北国街道などの街道を、様々な人や物が流通した。信濃では馬の背に荷物を積んで直接相手先へとどける中馬といわれる輸送手段が発達した。この中馬の活動と結びあって、信濃各地の地場産業が発達した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
中馬と塩の道	平成29年4月～30年3月	ランドサット図
信州中馬	平成29年4月～30年3月	中馬装束模型
街道の風景	平成29年4月～30年2月	信州松本通見取絵図控（岩鼻、稲荷山宿、立峠、松岡村）、木曾街道六十九次之内（軽井沢、下諏訪、福し満、贄川、須原、妻籠ほか）、馬頭観世音、道祖神
中山道福島宿	平成30年3月	宿場絵図（福島宿）、本陣・問屋間取図、木曾街道六十九次之内 福し満、旅装束（旅合羽、笠、草鞋）、馬頭観世音・道祖神（複製）

### 中テーマ 信州文化と民衆意識

江戸時代後半になると、庶民の手による庶民のための文化が各地で発達した。祭りの日には若者たちが化粧をして歌舞伎や人形芝居、相撲興行などを行った。庶民は読み書き算盤他さまざまな学びをし、生活文化は多様な展開をみた。社会への不満が一揆や世直しとして起こり、明治時代へとつながっていった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
豪農の世界	平成29年4月～29年8月 平成30年3月	婚礼の祝い膳（復原）、婚礼の献立文書（複製）
文書の世界の広がり	平成29年8月～30年2月	寺子屋の机、寺子屋の教具類（硯・筆・筆巻）、手本類、信州林津三童席書之図、寺子屋師匠身元引受一札（複製）、論語集註
祭りの人形芝居	平成29年4月～30年3月	大田切人形、黒田人形（時姫、三浦之助）、映像「黒田人形」、
一揆と世直し	平成29年4月～29年8月	一揆記録書（複製）、いでたち人形
近世の興行	平成29年8月～29年11月	大田切人形 頭（文七）、台本

近世の学問	平成29年11月～30年2月	松尾多勢子和歌・懐剣（複製）、伝佐久間象山電気治療器（模造）、『儒者競』、『傷寒論図説』
中山道の明治維新	平成30年3月	和宮行列図（複製）、『和宮様御下向二付宿内御宿帳』『和宮様御下向惣御人数帳』

## 近現代 世界につながる県民の暮らし

### 中テーマ 蚕糸王国長野県

江戸時代末から明治初めにかけて外国との交流が始まると、長野県はいち早く器械製糸をとり入れた。繭・蚕種・生糸などの生産の近代化をはかった結果、日本一の「蚕糸王国」となった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
長野県の誕生	平成29年4月～30年3月	筑摩県長野県設置布告、筑摩県絵図、筑摩県の印章、下問会議書類、説諭要略、信濃國合併布達
お蚕さま	平成29年4月～30年3月	蚕の発育順序模型、蚕種、生糸製糸組合奉納絵馬
世界につながる蚕糸業	平成29年4月～30年3月	座繰器、操糸鍋、商標シルクラベル
近代の製糸工場	平成29年4月～30年3月	富岡製糸場錦絵、埴科郡西条邑六工製糸場之図、女工募集告諭書、（六工社工女）、『松代名所図会』
工女の生活	平成29年4月～30年3月	製糸工女の服装、教婦の服装、工女の食事

テーマ	展示期間	主な展示資料
近代の製糸工場（実物大環境復原）	平成29年4月～30年3月	ボイラー、水車、繰糸器

### 中テーマ 長野県の大正時代

「国会を開き人民の代表を送ろう、政党をつくろう」という自由民権運動を長野県は全国に先がけてくり広げた。大正に入ると、デモクラシーの時代風潮をうけて個人を尊重する教育や、人権を尊重する運動を展開した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
信州教育	平成29年4月～30年3月	算盤（五つ玉）、農民美術作品、織物標本
おもちゃ（トピックス）	平成29年4月～30年3月	出世双六、キューピー人形、メンコ
戦前の観光信州	平成29年4月～30年3月	鳥瞰図『長野県の温泉と名勝』・『長野電鉄沿線温泉名所案内』

### 中テーマ 昭和恐慌と満州移民

蚕糸王国長野県は昭和初めの大恐慌で大打撃をうけた。そこから抜け出すため県は満州（中国東北区）移民を積極的にすすめた。移民者や兵士たちの尊い命が奪われ「銃後」の県民も苦しんだ。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
様々な戦争体験	平成29年4月～30年3月	『満洲更科郷のスケッチ』

### 中テーマ 地域とくらしの変化

1945年、終戦を機に日本は民主主義の国として再出発した。1960年代から経済は大いに発展し、生活も向上した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
長野県の高度経済成長	平成29年4月～30年3月	真空管ラジオ、足踏み式ミシン、電話機、カラーテレビ、ナショナルホームラジオ、ナショナル電気こたつ、4号電話機、カメラ、腕時計

## マルチメディア 「マルチメディア 長野県の歴史散歩」

一次メニュー	二次メニュー
各時代をみる	原始・古代・中世・近世・近現代の衣食住を映像と解説 でみて調べる
各時代をくらべる	原始・古代・中世・近世・近現代の衣食住を比較しなが らその違いを学習する
歴史クイズ	原始・古代・中世・近世・近現代コーナーと全時代から 歴史クイズを出題
歴史ビデオ	大地に歴史を掘る 古代高速道・東山道 木曾式伐 木運材図絵 犀川線のあゆみ
唱歌・童謡のふるさと信州	県内を代表的する唱歌・童謡の歌詞 楽しく学べる童 謡・唱歌クイズ

## 屋外展示 歴史のこみち

中 テーマ	展示期間	主な展示資料
縄文の森	平成29年4月～30年3月	植栽
5000～ 6000年前、縄文人が生活の舞台とした森は、クリ、コナラ、クヌギなどの木の実をもたらし、縄文人はこれら森の資源を積極的に活用し、アク（シブ）をぬいたりして食べた。また、漆を使って木器や土器を美しく仕上げた。		敷石住居跡
万葉の野	平成29年4月～30年3月	植栽
古代の野は、原則としてだれもが自由に利用できる地であり、その動植物は人びとの生活にとってかかせないものであった。人びとの心情は、万葉集の数多くの歌に詠まれている。		竪穴式石室
中世の林	平成29年4月～30年3月	植栽
中世では、屋敷のまわりに柿・梨・胡桃・柘榴・唐桃などの果物類が植えてあった。村のあちこちには栗林や竹林もあった。		五輪塔群

### (3) 新規小テーマの概要

#### 『華やかな土器文化と生業』

縄文時代中期（約5千年前）、中央高地では使い勝手が悪くなるほど派手に飾られた土器が流行した。この時期、狩猟・漁撈・採集に加え、クリ林の管理やダイズ・アズキを育てることによって生活が安定し、土器作りに割ける時間が多くなったと考えられる。また、交易などの際、土器は地域を代表する「顔」として運ばれた。交流の場で比べられることで、競い合うように華やかな土器が作られるようになった。

この展示では、中期の土器装飾の素晴らしさを館蔵の優品3点、動物装飾付土器、ドラゴン把手付きの深鉢形土器、複雑な曲隆線文が付く台付鉢形土器で示す。土器作りを支えた生業に関しては、千曲市屋代遺跡群出土のシカ・イノシシ骨、サケ科魚類の歯、クリやオニグルミを通して、川・平地・山の資源を上手に活用していたことを示す。

盛んな交易を裏付ける資料では、搬出品の代表として黒曜石を大量に集積していた岡谷市大洞遺跡おおぼらの例を、搬入品の代表としては当時も貴重だったヒスイ製たれかざり垂飾うえきどを上木戸遺跡の例を取りあげる。地域間で土器が動いていた状況は、つる剣のみやノ宮遺跡（塩尻市借用）や東畑遺跡ひがしばた（筑北村借用）出土の北陸・東海・西日本等々の土器で示す。さらに、剣ノ宮遺跡の櫛

形文土器や台付き鉢形土器のように、食欲に良い土器を作ろうとして、他地域の文様や形を真似した点など、縄文中期人の感性にも触れていただく。

## 2 企画展示等

### ●夏季企画展

「長野県誕生！ 一公文書・古文書から読みとく」

平成29年7月8日(土)～8月28日(月)

(開催日数 46日間)

入場者数 3,089人

主催 長野県立歴史館

後援 信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、中日新聞社、産経新聞社長野支局、市民タイムス、信州・市民新聞グループ(7紙)、長野市民新聞社、長野日報社、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電話農業協同組合、(一社)日本ケーブルテレビ連盟信越支部長野県協議会、(公財)八十二文化財団

#### 〈展示趣旨〉

今から150年前の慶応3年12月9日(1868年1月3日)、「王政復古の大号令」にはじまる新政府確立への道は明治維新と呼ばれ、近代日本の出発点とされている。江戸時代、信濃国は10を超える藩や細分化された天領によって構成されており、版籍奉還、廃藩置県を経て、最終的に「長野県」が管轄することとなった。しかし、早くから分県移庁論が唱えられ、今でも「長野県」を信濃、信州と呼ぶことが多い。この企画展示では、長野県がどのように成立し、人々はそれをどのように受

け止めたのかを、当館に所蔵する歴史公文書を中心に明らかにする。そして、私たちの信州、長野県の来し方、行く末を見詰め直し、これからを切り開くきっかけとするものであった。

#### 〈展示構成及び展示資料〉

##### 【プロローグ 信濃国と長野県】

・展示全体を理解するために、展示に関わる年表「信濃国から長野県へ」や、「信濃国」と「長野県」に関する歴史的事項の解説に写真を交えパネルで示した。

##### 【第1章 江戸から明治へ】

・明治政府の基本的政策と、廃藩置県に至る地方支配の移り変わり、新しい時代の様子を概観した。

##### 《1-1 新政府の成立》

・明治新政府の基本方針を示す「王政復古の大号令」及び「五箇条の御誓文」(写真パネル展示・国立公文書館所蔵品)及び高札「五榜の掲示」(上田市立博物館寄託資料)を展示し、明治維新の出発点を示した。

##### 《1-2 地方支配の移り変わり》

・新政府の支配体制確立の画期である旧幕府征討、版籍奉還から廃藩置県までの全国的な流れを「江戸を東京と改称する詔」及び「明治改元の詔」(写真パネル展示・国立公文書館所蔵品)で、新しい文化をパネル中心に展示した。

##### 【第2章 行政機関としての

##### 長野県の成立】

・江戸時代の分権的支配構造(天領・藩体制)が解体し、近代長野県が複雑な過程を経て成立することを行政

的側面から示した。

#### 《2-1 伊那県の成立 一旧幕府領接收》

- ・尾州御取締役所から伊那県へ、「信濃国に在る徳川領地を天料に復し尾張藩をして仮管せしむ」(太政類典、国立公文書館所蔵品)と「伊那県を置く」(公文録、国立公文書館所蔵品)、「伊那県布令書」(県立長野図書館所蔵品)など展示した。旧幕府領の統一的支配の進展について、複雑な過程をたどったことを「長野県沿革略譜」表や「縣藩変遷」図パネルを用いて示した。また、政体書で示された「県」とは、ひとまとまりの領域をもったものではなく、役所組織を意味したことを示した。

#### 《2-2 版籍奉還 一松本藩の場合》

- ・版籍奉還で、県・藩が中央政府の支配下に入ったことを、松本藩の事例「松本藩主戸田光則藩知事辞令」(松本城管理事務所所蔵品)と人物パネルで示した。

#### 《2-3 廃藩置県》

- ・廃藩置県で、14県が成立したことを示した。そのために、長野県行政文書等の中から「藩→県」への推移がわかる資料として「上田藩知事松平忠礼免官辞令」(上田市立博物館所蔵品)と人物パネル、「伊那県を分けて中野県を置く」(公文録、国立公文書館所蔵品)等を展示した。

#### 《2-4 県の統廃合 一長野県と筑摩県》

- ・長野県、筑摩県の二つの県にまとまる。それぞれの特徴について展示した。

#### 《2-5 長野県の成立》

- ・明治9年の長野県の成立以後の県政の様子を、明治10年代前半頃まで示した。

#### 【第3章 庶民から見た「長野県誕生」】

- ・当初、役所を意味した「県」が、明治初期の地方行政制度の変遷の中で、次第に領域を示す自治体としての性格を持つようになったことを、庶民の視点から展示した。

#### 《3-1 「県」は役所》

- ・「県」は役所、領域を意味せず、「国」が領域を示すことを「政体書」(太政類典、国立公文書館所蔵品)や「戸籍法」「日本全国戸籍表」などで示した。

#### 《3-2 自分の居所の表し方 「〇〇県管下信濃国〇〇郡〇〇町・〇〇村誰それ」》

- ・幕末から明治初期の「居所表記」の変遷を原史料で示すことにした。これにより、領主は誰で、信濃国のどこの郡の何村に属しているかという江戸時代以来の二重表記が、明治に入っても継続されたことを表した。これは、人々が支配の客体としてとらえられていたことでもあった。

#### 《3-3 信濃国絵図から長野県地図へ》

- ・信濃国・長野県地図を例に、「長野県管内信濃国地図」から「長野県地図」への変遷をたどり、役所の所在地を指し示す長野県から、領域概念・地域概念として解釈される長野県への移行期を読み取ることにした。

#### 《3-4 自治体としての村・町》

- ・明治11年の郡区町村編制法など三新法により、村・町の自治体としての

性格が生まれたことを表す「三新法」  
(公文録、国立公文書館所蔵品)などを展示した。

#### 【エピローグ 長野県民とは何か】

・町村の自治体の成立を背景に、県も領域をもつ自治体へと変化した。領域を有し住民によって成り立つ「県」の成立は、府県制への移行が大きな契機であったことを表す「市制・町村制」及び「府県制・郡制」(公文類聚、国立公文書館所蔵品)などを展示した。

#### 〈行事〉

##### (1) 講演会

- ① 7月15日(土) 13:30~15:00  
テーマ「地方制度にみる明治維新」  
講師 松沢裕作氏(慶應義塾大学  
経済学部准教授)

参加者 145名

##### (2) 講座

- ① 8月12日(土) 13:30~15:00  
テーマ  
「伊那県・筑摩県そして長野県」  
講師 青木隆幸(当館職員)

テーマ

「ここはどこ、私はだれ 明治初  
めの住所と名前」

講師 福島正樹(当館職員)

参加者数 132名

##### (3) こども体験教室

- ① 7月30日(日) 10:00~15:00  
「プラ板で県のハンコをつくって  
みよう」

参加者 32名

#### 〈印刷物〉

ポスターB2判 片面カラー 2,100部  
チラシ A4判 両面カラー 20,000部  
図録印刷 A4判 98頁 1,000冊

#### 〈担当〉

総合情報課 小野和英・林誠  
文献史料課 中野亮一・伊藤友久・  
村石正行・福島正樹・  
徳嵩雄司・宮下啓一・  
有賀洋幸

#### ●秋季企画展

「進化する縄文土器～流れるもようと区  
画もよう～」

平成29年9月16日(土)～11月26  
日(日) (開催日数61日間)

入場者数 7,727人(企画展示室観覧者  
数)

主催 長野県立歴史館

後援 信濃毎日新聞社、朝日新聞長野  
総局、読売新聞長野支局、毎日新  
聞長野支局、中日新聞社、産経新  
聞社長野支局、市民タイムス、信  
州・市民新聞グループ(7紙)、  
長野市民新聞社、長野日報社、南  
信州新聞社、NHK長野放送局、SBC  
信越放送、NBS長野放送、TSBテ  
レビ信州、abn長野朝日放送、(一  
社)日本ケーブルテレビ連盟信越  
支部長野県協議会、FM長野、FM  
ぜんこうじ、屋代有線放送電話農  
業協同組合、(公財)八十二文化  
財団

#### 〈展示趣旨〉

約5,400年前の縄文時代中期中葉の初  
め、土器に土偶やへびなどの造形を乗せる  
「デコボコかざり」が始まりました。この

時期を取りあげた「縄文土器展」(平成26年度)に続き、本展では装飾がさらに進化をとげる約5,300～5,100年前にスポットをあてます。

この時期の土器装飾は、地域ごとの独自性を高め、華やかさを増していきました。特に、長野県中央部の八ヶ岳連峰を挟み、流れるもようを軸にする東北信～北陸、区画もようを基本とする中南信～西関東で、驚くほど違う装飾が流行します。地域ごとに異なる感性と技を駆使して作られた土器を比べ、その特徴を感じてみてください。

縄文人たちは違いを強調する一方、土器は盛んに運ばれ、持ち込まれた土器を真似することもありました。交流を通じて、異なる文化を柔軟に採り入れ、豊かな社会を築いていった縄文人の生き方に触れていただければ幸いです。

#### 〈展示構成〉

- 第I章 進むデコボコかざり
- 第II章 信州を二分した土器かざり
- 第III章 流れるもようの世界
- 第IV章 区画もようの世界
- 第V章 顔のつく土器、いきものがつく土器
- 第VI章 運ばれた「地域の顔」
- 第VII章 究極のかざりをもとめて

※VI・VII章は常設展

#### 〈主な展示資料〉

重要文化財：道訓前遺跡(群馬県)、一の沢遺跡・釈迦堂遺跡・鋳物師屋遺跡(山梨県)、川原田遺跡・藤内遺跡(長野県)。県指定文化財：五丁歩遺跡(新潟県)、海道前C遺跡(山梨県)、札沢遺跡(長野県)

上山田貝塚(石川県)、天神山遺跡・

寺山浦蔵遺跡(富山県)、六反田南遺跡・野首遺跡・堂尻手遺跡(新潟県)、桜洞神田遺跡(岐阜県)、竹宇I遺跡(山梨県)、熊久保遺跡・中越遺跡(長野県)ほか

#### 〈行事〉

##### (1) 講演会

① 10月28日(土) 13:30～15:10

「パプア・ニューギニアの土器作りと縄文土器」

講師 高橋龍三郎(早稲田大学教授)

参加者数 72名

##### (2) 講座

① 9月16日(土) 13:30～15:00

トークセッション「火焰型土器前夜の新潟・北陸と中部高地の土器」

講師 寺崎裕助(新潟県考古学会長)、

寺内隆夫(当館学芸員)

参加者数 86名

② 9月30日(土) 13:30～15:00

「焼町 VS 勝坂～競いあい、高めあう縄文中期の土器装飾～」(兼考古学講座)

講師 寺内隆夫(当館職員)

参加者数 112名

③ 10月1日(日) 13:30～15:10

出前講座：中野市立博物館

「進化する縄文土器～越後と信州の顔を持つ中野市千田遺跡・姥ヶ沢遺跡の土器～」

講師 寺内隆夫(当館学芸員)

参加者数 20名

④ 10月22日(日) 13:30～15:10

出前講座：塩尻市平出博物館

「進化する縄文土器～文化の十字路口でアピールする土器装飾～」

講師 寺内隆夫（当館学芸員）

参加者数 43名

⑤ 11月4日（土）

出前講座：原村八ヶ岳美術館

「進化する縄文土器～八ヶ岳西麓に  
おける華やかな土器への変化～」

講師 寺内隆夫（当館学芸員）

参加者数 31名

（3）イベント

① 11月3日（土）10:30～15:00

内容 「縄文土器・土偶プラ板作  
り」

参加者 192名

② 11月25日（土）13:30～15:00

内容：「縄文風リース、ゾートロ  
ープ作り」

参加者 23名

③ 11月26日（日）12:40～13:20

内容 「写生・ぬりえ優秀作品表  
彰式」

参加者 70名

④各週土・日、祝日

内容 「写生・ぬりえ大会」

参加者 129名

（4）ギャラリートーク

① 9月16日（土）15:20～16:00

参加者 65名

② 9月30日（土）15:20～16:00

参加者 42名

〈印刷物〉

ポスター印刷、チラシ印刷（通常チラ  
シ、イベント用ほか）、看板（エント  
ランス用、野立て看板用）、図録

〈担当〉

総合情報課 大竹憲昭、寺内隆夫  
林 誠

## ●冬季展

「田中芳男－「虫捕御用」の明治維新」

平成29年12月16日（土）～平成30

年2月25日（日）（開催日数 54日間）

入場者数 2,292人

主催 長野県立歴史館

後援 信濃毎日新聞社、朝日新聞長野

総局、読売新聞長野支局、毎日新

聞長野支局、産経新聞長野支局、

中日新聞社、長野市民新聞社、市

民タイムス、信州・市民新聞グル

ープ（7紙）、長野日報社、南信

州新聞社、NHK長野放送局、SBC

信越放送、NBS長野放送、TSBテ

レビ信州、abn長野朝日放送、（一

社）日本ケーブルテレビ連盟信越

支部長野県協議会、FM長野、FM

ぜんこうじ、屋代有線放送電話農

業協同組合、（公財）八十二文化

財団 長野県博物館協議会

東京農業大学「食と農」の博物館

特別協力 飯田市美術博物館

〈展示趣旨〉

慶応2（1866）年、幕末の騒然とした

世相のなか、虫捕り網を手に江戸近郊の

山野を駆けめぐる若者がいた。信州飯田

町（現飯田市）生まれの田中芳男である。

江戸幕府に出仕し、パリ万国博覧会に出

品する日本初の昆虫標本作りに挑んでい

た。この任務を「虫捕御用」と呼ぶ。

明治維新は、一握りの英雄たちの物語

として語られがちである。昆虫や草花、

鉱石の採集に打ち込む田中芳男の生き

方は、とても地味だが、「虫捕御用」と

パリ万博の見聞を原体験に、農産物の改

良・普及、各種の産業の育成、教育活動

に精力的に取り組み、その成果を博物館という形で結実させた田中芳男の功績は、近代日本を語る上で欠かせない。日本で初めて和リングに西洋リングを接ぎ木し、育て広めたのも田中芳男だった。「武」ではなく「知」によって、よりよい社会を作り上げようとした信州人だった。そして、彼の多彩で好奇心あふれる知の営みの核に、東西南北の文物が会う飯田の文化的風土がある。

また、田中芳男には、人間と動植物を隔てず、生命全体を大きく見つめ、育て、共存しようとする思想が存在した。この考えは、「環境の世紀」と呼ばれる 21 世紀を生きる私たちにたくさんのヒントを与えてくれる。多様な生命を見つめ育てる「種子をまく人」、パイオニア（先駆者）としての田中の姿を紹介した。

#### 〈展示構成〉

- I はじまり
- II 「虫捕御用」パリへ
- III 湯島の「産声」
- IV 日本に博物館をー上野ー
- V 生命を見つめる
- VI 稀代のコレクター
- エピローグ 「鳥なき里の蝙蝠」

#### 〈主な展示資料〉

- I はじまり
  - 国立科学博物館「田中芳男肖像」
  - 飯田市立図書館市岡家資料
  - 飯田市美術博物館田中五一資料
  - 座光寺小学校所蔵北原因信資料
- II 「虫捕御用」パリへ
  - 東山植物園所蔵伊藤圭介関係資料
  - 東京大学総合図書館「外国くん拾帖」
- III 湯島の「産声」

飯田市美術博物館資料

東京国立博物館「博物館」額

#### IV 日本に博物館をー上野ー

長野県行政文書

#### V 生命を見つめる

神宮徴古館農業館資料

いづなアップルミュージアム資料

飯田市美術博物館田中五一資料

#### VI 稀代のコレクター

東京大学総合図書館「くん拾帖」

飯田市美術博物館田中五一資料

エピローグ 「鳥なき里の蝙蝠」

飯田市美術博物館田中五一資料

#### 〈行事〉

##### (1) 講演会

① 12月16日(土) 13:30~15:00

「田中芳男をめぐってー伊那谷の人のつながりー」

講師 当館 笹本正治館長

参加者 149名

② 1月20日(土) 13:30~15:00

「近代日本の礎を築いた田中芳男」

飯田市美術博物館学芸係長 櫻井弘人氏

参加者 120名

##### (2) 関連講座

2月10日(土) 13:30~15:00

「田中芳男ー「虫捕御用」の明治維新」

当館学芸部長 青木 隆幸

参加者 148名

##### (3) イベント

2月4日(土) 13:30~15:00

「神々の舞う里ー南信濃の民俗芸能に触れようー」

霜月祭り DVD 上映

参加者 80名

〈印刷物〉

ポスター B2判 表カラー 2,200部

チラシ A4判×2ページ(表裏)  
20,000部

図録 A4判カラー 63P 1,000部

〈担当〉

学芸部長 青木 隆幸

総合情報課 小野 和英 林 誠

天野 早苗

●巡回企画展

「長野県の遺跡発掘 2017」

《歴史館会場》

平成29年3月18日(土) ～6月25日(日) (開催日数 75日間)

入場者数 12,066人

主催 長野県立歴史館・長野県伊那文化会館・安曇野市豊科郷土博物館・浅間縄文ミュージアム・長野県教育委員会

共催 長野県埋蔵文化財センター・長野県・伊那市・伊那市教育委員会・安曇野市教育委員会

後援 信濃毎日新聞社・朝日新聞長野総局・読売新聞長野支局・毎日新聞長野支局・産経新聞長野支局・中日新聞社・長野市民新聞社・市民タイムス・信州・市民新聞グループ(7紙)・長野日報社・南信州新聞社・NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、(一社)日本ケーブルテレビ連盟信越支部長野県協議会、信州ケーブルテレビジョン、INC長野ケーブルテレビ、テレビ松本ケーブルテレビ、

FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電話農業協同組合、(公財)八十二文化財団

〈展示趣旨〉

今回の展示では、平成28年度に発掘調査された最新の出土品に加え、県内市町村教育委員会が保管しながら、なかなか県民の皆様の目に触れる機会の少なかった資料の展示を行った。またテーマ展示として二つの国史跡、長和町星糞峠黒曜石原産地遺跡と下諏訪町星ヶ塔黒曜石原産地遺跡の調査資料など「黒曜石」に関わる資料の展示を行った。

〈展示した主な遺跡〉

- 1 長野県埋蔵文化財センター調査遺跡  
ひんご遺跡(栄村)、小島・柳原遺跡群(長野市)、山鳥場遺跡(朝日村)・川原遺跡(飯田市)
- 2 市町村教育委員会調査遺跡  
安源寺城跡1号墳丘墓(中野市)、大室古墳群(長野市)、塚穴古墳(青木村)、柏木古墳(松本市)、永明寺山古墳(茅野市)、中手田遺跡(豊丘村)、伴野原遺跡(豊丘村)
- 3 テーマ展示「黒曜石文化」  
広原Ⅱ遺跡(長和町)、星ヶ塔黒曜石原産地遺跡(下諏訪町)、星ヶ台遺跡(下諏訪町)、星糞峠黒曜石原産地遺跡(長和町)、箕輪遺跡(箕輪町)、力石条里遺跡(千曲市)

〈主な展示資料〉

平成10年に発掘調査が行われ、古墳時代初頭の方形周溝墓から「北陸系土器」・「東海系土器」が出土した中野市安源寺城跡1号墳丘墓出土資料、また平成11

年に発掘調査が行われ、竪穴住居跡から県内初の「須恵器三足短頸壺」の発見となった豊丘村中手田遺跡出土資料ほか。また、長和町星糞峠黒耀石原産地遺跡と下諏訪町星ヶ塔黒耀石原産地遺跡の調査資料など。

〈行事〉

(1) 講演会

①4月22日(土) 13:30~15:00

講演会

「最古の信州ブランド黒耀石を世界に発信」

講師 大竹幸恵氏(長和町教育委員会)

参加者 114名

《伊那会場》

平成29年7月9日(土)~8月21日(日)

(開催日数 20日間)

入場者 1,146人

〈行事〉

(1) 講演会

①8月19日(土) 13:30~15:00

講演会・講師

ア.「信州黒耀石文化」

大竹憲昭(当館職員)

イ.「再考シナノ古墳文化」

西山克己(当館職員)

参加者 27名

(2) 伊那文こどもまつり

8月20日(日) 10:00~15:00

縄文人になろう

参加者 380名

(3) 展示解説デー

8月5日(土)、12日(土) 10:00・15:00

《安曇野会場》

平成29年8月26日(土)~

9月24日(日) (開催日数 26日間)

入場者 944人

〈行事〉

(1) 講演会

①9月2日(土) 13:30~15:00

講演会・講師

・「象嵌装大刀を持ったシナノ舎人たち」西山克己(当館職員)

参加者 74名

②9月16日(土) 13:30~15:00

・「黒耀石のみちを考える」大竹憲昭(当館職員)

参加者 62名

(2) 展示解説デー

8月26日(土)、9月9日(土)

10:00・15:00

《佐久会場》

平成29年9月30日(土)~11月26日(日)

(開催日数 48日間)

入場者 955人

〈行事〉

(1) トークライブ

①11月11日(土) 13:30~15:00

トークライブ・講師

「黒耀石が語る信州の石器時代」

堤 隆氏(浅間縄文ミュージアム)、大竹幸恵氏(長和町教育委員会)、大竹憲昭(当館職員)

参加者 60名

(2) 展示解説デー

10月7日(土)、11月4日(土)

10:00・15:00

〈印刷物〉(各会場共通)

ポスター B2判、表カラー2,700部

チラシ A4判、カラー32,000部

〈担当〉

考古資料課 西山克己

町田勝則

● 平成 30 年長野県立歴史館巡回展

「長野県の遺跡発掘 2018」

《歴史館会場》

平成 30 年 3 月 17 日 (土) ~ 3 月

31 日 (土) (年度内開催日数 27 日間)

(展示の最終日は平成 30 年 6 月 3 日  
(日))

入場者数 606 人 (3 月末時点)

主催 長野県立歴史館・長野県伊那文化  
会館・塩尻市立平出博物館・浅間縄  
文ミュージアム・長野県教育委員会

共催 長野県埋蔵文化財センター・長野  
県・伊那市・中野市教育委員会・須  
坂市教育委員会・長野市教育委員  
会・塩尻市教育委員会・茅野市教育  
委員会・下諏訪町教育委員会・辰野  
町教育委員会・箕輪町教育委員会・  
伊那市教育委員会・飯田市教育委員  
会

後援 信濃毎日新聞社・朝日新聞長野総  
局・読売新聞長野支局・毎日新聞長  
野支局・中日新聞社・産経新聞長野  
支局・市民タイムス・信州・市民新  
聞グループ (7 紙)・長野市民新聞  
社・長野日報社・南信州新聞社・NHK  
長野放送局・SBC 信越放送・NBS 長野  
放送・TSB テレビ信州・abn 長野朝日  
放送・FM 長野・FM ぜんこうじ・屋代  
有線放送電話農業協同組合・(一社)  
日本ケーブルテレビ連盟信越支部長  
野県協議会・(公財) 八十二文化財団  
(展示趣旨)

今回の展示会は、平成 29 年度までに  
発掘や整理を行った遺跡の出土品を展  
示しました。市町村教育委員会等の発掘

調査(テーマ「長野県の弥生時代」)、長  
野県立大学設立に伴う発掘調査、長野県  
埋蔵文化財センターの発掘調査も、3 つ  
の柱を設けて展示しました。

〈展示した主な遺跡〉

1 市町村教育委員会等の調査遺跡

塩川・須坂・小山遺跡群須坂園芸高校  
内(須坂市)、力石条里遺跡群(千曲市)、  
塩崎遺跡群(長野市)、篠ノ井遺跡群  
(長野市)、長野遺跡群県町遺跡サー  
パス地点(長野市)、松原遺跡高速道地点  
(長野市)、浅川扇状地遺跡群吉田高校  
グランド遺跡(長野市)、浅川扇状地遺  
跡群桐原宮北遺跡(長野市)、森平遺跡  
(佐久市)、枇杷坂遺跡群直路遺跡 I  
(佐久市)、宮ノ入遺跡群根々井芝宮遺  
跡(佐久市)、岩村田遺跡群北一本柳遺  
跡 III (佐久市)、西一里塚遺跡群(佐久  
市)、恒川遺跡群(飯田市)、高松原遺  
跡(佐久市)

2 長野県立大学設立に伴う調査遺跡

浅川扇状地遺跡群本村南沖遺跡(長野  
市)、長野遺跡群県町遺跡後町小学校  
地点(長野市)

3 長野県埋蔵文化財センター調査遺跡

ひんご遺跡(栄村)、小島・柳原遺跡  
群(長野市)、山鳥場遺跡(朝日村)、  
柳 沢遺跡(中野市)、石川条里遺跡  
(長野市)、下川原遺跡(飯田市)、長  
谷鶴前遺跡群(長野市)、

〈主な展示資料〉

壺の中から出土した炭化種子として、  
長野遺跡群県町遺跡出土の粟、松原遺  
跡高速道地点のナデシコ科種子、岩村  
田遺跡群北一本柳遺跡 III の米。力石  
条里遺跡群の弥生前期土器をはじめ、塩

川・須坂・小山遺跡群須坂園芸高校内の古墳前期の土器まで、北信・東信・南信の弥生土器と石器。また松原遺跡高速道地点の木製農具や漆塗り竪櫛、西一里塚遺跡群の鉄鋤や鉄剣。壺の中から出土した黒曜石として、宮ノ入遺跡群根々井芝宮遺跡、箕輪遺跡。

〈印刷物〉（各会場共通）

ポスター B2判、表カラー2,700部

チラシA4判、カラー30,000部

リーフレットA3折、カラー10,000部

〈担当〉

考古資料課 西山 克己

町田 勝則

### Ⅲ 教育普及公開

#### 1 学校・団体見学 実施記録

##### (1) 学校見学 実施記録

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
4/11	火	9:00-11:30	屋代高校附属中学校1年生	2	80	5	○	探検	考古バックヤード処理室等も見学
4/12	水	10:00-11:30	飯綱町立牟礼東小学校6年生	2	38	4	○	探検	
		11:50-13:50	長野市立篠ノ井西小学校6年生	4	132	6	○	探検	
4/13	木	9:00-10:40	東御市立田中小学校6年生	2	73	3	○	探検	
		10:30-12:00	中野市立平野小学校6年生	3	78	4	○	探検	
		12:00-13:30	須坂市立井上小学校6年生	2	38	3	○	探検	
4/14	金	10:00-12:30	長野市立三本柳小学校6年生	4	140	5	○	探検	
4/19	水	10:00-11:30	千曲市立増生小学校6年生	3	97	3	○	探検	
		12:30-14:30	長野市立塩崎小学校6年生	2	40	2	○	探検	
4/20	木	9:00-11:30	野沢南高等学校3年生	5	198	10	○	探検	
4/21	金	10:30-12:00	長野市立豊栄小学校5・6年生	2	21	3	○	探検	2学年合同で来館
4/25	火	9:00-10:30	麻績村立麻績小学校6年生	1	15	2	○	探検	
		10:40-12:10	千曲市立屋代小学校6年生	2	69	2	○	探検	
4/26	水	9:00-11:00	長野市立加茂小学校6年生	2	38	3	○	探検	
		10:30-12:00	長野市立鍋屋田小学校6年生	2	43	4	○	探検	
		14:00-15:30	長野市立青木島小学校6年生	3	100	3	○	探検	
4/27	木	9:20-10:50	飯山市立戸狩小学校6年生	2	36	3	○	探検	
		12:00-14:00	長野市立昭和小学校6年生	4	130	7	○	探検	
4/28	金	9:00-10:30	上田市立本原小学校6年生	2	40	3	○	探検	
		10:30-12:00	松本市立田川小学校6年生	2	49	3	○	探検	
		10:30-12:00	安曇野市立明南小学校6年生	2	48	3	○		
		10:30-12:00	信大教育学部附属長野小学校6年生	2	78	3	○		
		12:00-13:30	長野市立芹田小学校6年生	3	112	6	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立山王小学校6年生	2	36	3	○		
		13:30-15:00	長野市立大豆島小学校6年生	4	118	6	○		
5/1	月	9:00-11:00	長野市立通明小学校6年生	4	115	4	○	探検	
		10:30-12:00	長野市立松代小学校6年生	2	43	3	○	探検	
		10:30-12:00	中野市立科野小学校6年生	1	12	1	○		
		12:00-13:30	坂城町立南条小学校6年生	2	60	3	○	探検	
		13:30-15:00	坂城町立村上小学校6年生	1	17	2	○	探検	
5/2	火	9:00-10:30	上田市立西小学校6年生	2	52	3	○	探検	
		9:30-10:30	上田高等学校2年生	2	44	2	○		
		9:30-10:30	野沢北高等学校2年生	5	200	8			
		10:30-12:00	上田市立神科小学校6年生	4	121	5	○	探検	
		10:30-12:00	小布施町立栗刀丘小学校6年生	3	100	4	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立保科小学校6年生	1	24	2	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立城山小学校6年生	2	68	3	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立篠ノ井東小学校6年生	2	52	3	○		
		13:00-14:20	長野市立川田小学校6年生	1	29	2	○		

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
		13:30-14:50	池田町立池田小学校6年生	2	39	3	○	探検	
		13:30-14:40	長野市立信州新町小学校6年生	1	20	3	○		
5/9	火	9:00-10:30	長野市立古里小学校6年生	3	103	4	○		2校合同で来館
		9:00-10:30	佐久市立浅科小学校6年生	2	38	3	○		
		10:30-12:00	須坂市立須坂小学校6年生	1	22	3	○		
		10:30-12:00	須坂支援学校6年生	1	3	2	○		
		10:30-12:00	須坂市立森上小学校6年生	2	47	3	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立綿内小学校6年生	3	73	4	○	探検	
		13:30-15:00	上田市立北小学校6年生	3	79	4	○	探検	
5/10	水	9:00-10:30	飯綱村立三水第一小学校6年生	1	18	2	○	探検	
		10:30-12:00	坂城町立坂城小学校6年生	2	46	2	○	探検	
5/11	木	9:00-10:30	上田市立城下小学校6年生	3	78	4	○	探検	
		10:30-12:30	長野市立信更小学校6年生	1	7	2	○	探検	
		10:30-12:00	上田市立川西小学校6年生	2	56	3	○	探検	
		11:20-12:00	練馬区立光が丘春の風小学校6年生	2	78	9			
		12:00-13:10	長野市立古牧小学校6年生	3	89	5	○		
		12:00-13:30	長野市立長沼小学校6年生	1	16	2	○		
		13:30-15:00	千曲市立治田小学校6年生	2	70	3	○		
		13:30-15:00	大田区立都南小学校6年生	2	44	7	○	探検	
5/12	金	9:00-10:30	池田町立会染小学校6年生	1	37	4	○	探検	
		9:00-10:30	長野市立安茂里小学校6年生	2	55	4	○		
		9:00-10:30	大田区立雪谷小学校6年生	3	101	8	○		
		10:00-11:00	坂城幼稚園 年少組	1	15	2			
		10:20-11:50	長野市立徳間小学校6年生	3	103	5	○	探検	
		10:30-11:30	上田市立長小学校6年生	1	23	2	○		
		12:00-13:30	長野市立緑ヶ丘小学校6年生	3	101	4	○		
		13:50-15:20	安曇野市立穂高西小学校6年生	3	80	4	○	探検	
5/16	火	9:00-10:30	上田市立川辺小学校6年生	3	105	4	○	探検	
		10:30-12:00	高山村立高山小学校6年生	2	53	4	○	探検	
		10:30-12:00	長野市立下氷鉦小学校6年生	4	107	5	○		
		12:00-14:00	朝日村立朝日小学校6年生	1	33	3	○	探検	
		12:00-13:30	木島平村立木島平小学校6年生	2	41	4	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立松ヶ丘小学校6年生	2	46	3	○		
		13:30-15:00	長野市立若槻小学校6年生	3	73	5	○	探検	
5/17	水	10:30-12:00	練馬区立旭丘小学校6年生	1	17	5	○	探検	
		11:30-13:00	練馬区立上石神井北小学校6年生	3	93	9	○	探検	
		12:15-13:45	長野市立大岡小学校6年生	1	8	2	○	探検	
5/18	木	9:00-10:30	須坂市立仁礼小学校6年生	2	38	3	○	探検	
		12:00-13:30	上田市立神川小学校6年生	3	73	4	○	探検	
5/19	金	9:00-11:00	小諸市立美南ガ丘小学校6年生	4	115	4	○	探検	
		10:30-12:00	千曲市立更級小学校6年生	1	33	2	○	探検	
		12:00-13:30	佐久穂町立佐久穂小学校6年生	3	78	4	○	探検	
		12:30-13:00	つましな保育園	3	37	7			
5/21	日	12:00-13:30	大田区立西六郷小学校6年生	2	45	7	○	探検	

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
5/23	火	10:30-12:00	安曇野市立豊科北小学校6年生	3	90	5	○	探検	
		12:00-13:30	大町市立大町東小学校6年生	1	23	2	○	探検	
		12:00-13:30	野沢温泉村立野沢温泉小学校6年生	1	25	2	○	探検	
		13:10-15:00	佐久市立岸野小学校6年生	1	21	2	○	探検	
5/24	水	9:30-11:00	佐久市立佐久平浅間小学校6年生	3	89	4	○	探検	
		12:00-13:30	小諸市立千曲小学校6年生	1	18	2	○	探検	
		14:00-16:00	長野大学	1	29	1	○	見学	遺物収蔵庫、文献書庫 見学
5/25	木	9:00-10:30	山形村立山形小学校6年生	3	82	6	○	探検	
		10:30-11:30	青木村立青木小学校6年生	2	48	3	○		
		11:30-13:00	練馬区立仲町小学校6年生	3	114	9	○	探検	
		13:00-15:00	安曇野市立穂高北小学校6年生	4	118	6	○	探検	
5/26	金	9:00-12:00	中野市立中野小学校6年生	4	135	9	○	探検	
		12:30-13:30	南牧村立南牧北小学校6年生	1	12	2	○		
		12:00-13:30	軽井沢町立軽井沢中部小学校6年生	2	65	3	○	探検	
		12:00-13:30	軽井沢町立軽井沢東部小学校6年生	1	34	3	○	探検	
		13:30-15:00	大町市立大町南小学校6年生	2	59	4	○	探検	
5/28	日	13:30-15:00	大田区立田園調布小学校6年生	3	97	10	○		
5/30	火	9:00-10:30	軽井沢町立軽井沢西部小学校6年生	2	44	3	○	探検	
		10:30-12:10	長野市立豊野東小学校6年生	1	32	2	○	探検	
		10:30-12:00	上田市立東小学校6年生	3	79	4	○		
		10:30-12:00	中野市立高丘小学校6年生	1	36	2	○	探検	
		13:00-14:30	佐久市立佐久城山小学校6年生	2	59	3	○	探検	
		13:30-15:00	大田区立相生小学校6年生	2	49	6	○	探検	
5/31	水	9:00-10:30	練馬区立豊玉第二小学校6年生	1	39	6	○	探検	
		10:30-12:00	練馬区立豊玉東小学校6年生	1	32	5	○	探検	
		14:00-16:00	長野大学	1	26	1	○	見学	遺物収蔵庫、文献書庫 見学
6/1	木	9:00-10:15	大田区立東調布第三小学校6年生	2	49	7	○	探検	
		10:30-12:00	長野市立東条小学校6年生	2	34	2	○	探検	
		12:00-13:00	練馬区立開進第四小学校6年生	2	72	9	○	探検	
6/2	金	9:00-10:30	佐久市立岩村田小学校6年生	3	99	6	○	探検	
		10:30-12:30	上田五中・神科小・豊殿小・上田養護連合	3	41	12	○		4校の特別支援学級が 連合で来館
		13:30-15:00	安曇野市立豊科南小学校6年生	3	103	4	○	探検	
		14:10-15:10	佐久市立中佐都小学校6年生	2	56	3	○		
6/3	土	10:30-12:00	大田区立池上小学校6年生	3	90	8	○	探検	
6/4	日	12:00-13:30	大田区立開桜小学校6年生	3	88	9	○	探検	
6/6	火	9:00-10:30	立科町立立科小学校6年生	2	57	4	○	探検	
		10:00-12:00	上越市立高田西小学校6年生	2	66	2	○	探検	親子レクで保護者とも に来館
6/7	水	10:30-12:00	松本市立山辺小学校6年生	3	79	5	○	探検	
		13:30-15:00	須坂市立日滝小学校6年生	2	49	3	○	探検	
6/8	木	10:30-13:50	穎明館中学校1年生	5	193	11	○	探検	
		10:30-11:30	練馬区立練馬第三小学校6年生	2	63	8	○		
		13:30-15:00	長野市立三輪小学校6年生	3	75	4	○	探検	
6/9	金	9:00-10:50	長野盲学校6年生	1	1	1	○	探検	
		9:30-11:30	松本市立芳川小学校6年生	4	117	6	○	探検	
		12:00-13:30	松川村立松川小学校6年生	3	83	4	○	探検	
6/10	土	11:30-12:30	大田区立おなづか小学校6年生	2	52	6	○		

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
6/11	日	13:30-15:00	大田区立多摩川小学校6年生	3	82	9	○	探検	
6/13	火	9:30-11:30	長野市立裾花小学校6年生	4	116	4	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立川中島小学校6年生	3	106	4	○	探検	
		13:30-15:00	小川村立小川小学校6年生	1	16	2	○	探検	
6/15	木	9:00-10:30	栄村立栄小学校6年生	1	5	1	○	探検	
		10:30-12:00	須坂市立日野小学校6年生	2	65	2	○	探検	
6/16	金	9:00-12:00	安曇野市立三郷小学校6年生	6	184	9	○	探検	
6/20	火	9:00-10:30	上田市立豊殿小学校6年生	2	41	2	○	探検	
		10:30-12:00	生坂村立生坂小学校6年生	1	12	2	○	探検	
		13:30-15:00	千曲市立五加小学校6年生	2	53	3	○	探検	
6/21	水	9:20-10:50	松本市立奈川中学校1・2学年	2	12	6	○	探検	2学年合同で来館
		12:00-13:30	中野区立桃園小学校6年生	2	62	6	○	探検	
		13:00-14:40	上田市立塩田西小学校6年生	2	46	2	○	探検	
6/22	木	10:30-12:00	練馬区立南が丘小学校6年生	2	45	8	○	探検	
		10:30-12:00	中野市立延徳小学校6年生	1	26	2	○	探検	
		12:00-12:45	練馬区立田柄小学校6年生	3	92	8			
6/23	金	9:00-10:30	松本市立鎌田小学校6年生	6	148	6	○	探検	
		10:30-12:00	上田市立東塩田小学校6年生	2	50	4	○	探検	
6/27	火	9:00-10:30	安曇野市立豊科東小学校6年生	1	28	3	○	探検	
		10:30-12:00	練馬区立開進第一小学校6年生	3	85	9	○	探検	
		14:30-16:00	伊那市立伊那小学校4年生	3	90	8	○	探検	
6/28	水	10:30-12:00	練馬区立旭町小学校6年生	2	56	7	○	探検	
		11:40-13:00	板橋区立板橋第一中学校特別支援学級	1	23	8			板橋区中学校7校の特別支援学級が合同で来館
		11:40-13:00	板橋区立志村第三中学校特別支援学級	1	3	3			
		11:40-13:00	板橋区立志村第四中学校特別支援学級	1	28	9			
		11:40-13:00	板橋区立上板橋第一中学校特別支援学級	1	26	9			
		11:40-13:00	板橋区立上板橋第三中学校特別支援学級	1	21	10			
		11:40-13:00	板橋区立赤塚第一中学校特別支援学級	1	7	5			
		11:40-13:00	板橋区立高島第三中学校特別支援学級	1	18	8			
12:00-13:30	練馬区立中村西小学校6年生	2	63	9	○	探検			
6/29	木	9:15-10:30	長野市立湯谷小学校6年生	3	81	3	○	探検	
		10:30-12:00	上田市立丸子中央小学校6年生	3	78	4	○	探検	
		13:30-15:00	山ノ内町立南小学校6年生	1	25	2	○	探検	
6/30	金	9:00-10:30	南相木村立南相木小学校6年生	1	9	4	○	探検	2校合同で来館
		9:00-10:30	北相木村立北相木小学校6年生	1	11	1	○	探検	
		10:30-12:00	小諸市立坂の上小学校6年生	2	54	3	○	探検	
		12:00-13:30	安曇野市立明北小学校6年生	1	17	3	○	探検	
		13:30-15:00	大田区立大森第三小学校6年生	3	78	9	○	探検	
7/2	日	13:30-15:00	大田区立千鳥小学校6年生	2	59	5	○	探検	
7/4	火	9:15-10:30	大田区立出雲小学校6年生	2	77	7	○	探検	
		10:30-13:30	稲荷山養護学校4年生	4	15	13	○		
		12:00-13:30	大町市立美麻小中学校6年生	1	9	1	○	探検	
		13:30-15:00	練馬区光が丘夏の雲小学校6年生	3	92	11	○	探検	
7/5	水	9:00-12:00	松本市立島内小学校6年生	4	114	5	○	探検	
		10:30-12:00	小谷村立小谷小学校6年生	1	17	2	○	探検	
7/6	木	9:00-10:30	山ノ内町立西小学校6年生	1	20	2	○	探検	
		10:00-11:30	千曲市立戸倉小学校6年生	2	57	3	○	探検	
		10:30-12:00	小海町立小海小学校6年生	1	31	2	○	探検	
		10:30-12:00	佐久市立平根小学校6年生	1	32	3	○	探検	
		12:30-14:00	松本市立安曇小学校6年生	1	6	2	○	探検	2校合同で来館
		12:30-14:00	松本市立大野川小学校6年生	1	3	1	○	探検	

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
		13:30-14:50	塩尻市立広丘小学校6年生	4	120	6	○		
		14:30-15:20	千曲市立東小学校アブリコットタイム	1	30	2		探検	バックヤード探検
7/7	金	9:00-11:00	上田市立南小学校6年生	4	121	6	○	探検	
		10:30-12:00	東御市立滋野小学校6年生	2	40	3	○	探検	
		12:00-13:30	東御市立和小学校6年生	2	56	3	○	探検	
		12:00-13:30	長野市立戸隠小学校6年生	1	22	2	○	探検	
		13:30-15:00	大田区立池上第二小学校6年生	2	60	6	○	探検	
7/9	日	12:30-14:00	大田区東六郷小学校6年生	2	58	6	○	探検	
7/12	水	12:30-14:00	中野区立啓明小学校6年生	1	36	6	○	探検	
7/13	木	9:30-11:40	埼玉大学教育学部附属中学校2年生	1	17	1	○	探検	個人テーマ支援学習
		10:00-12:20	練馬区立光和小学校6年生	4	142	13	○	探検	
7/14	金	12:00-13:30	小諸市立東小学校6年生	3	76	4	○	探検	
		14:00-15:10	高森町立高森南小学校4年生	4	138	8	○	探検	
7/19	水	10:30-12:00	伊那市立高遠小学校6年生	2	38	3	○	探検	
7/28	金	13:10-15:40	江戸川区立西葛西中学校2年生	7	255	14	○		
8/8	火	10:30-12:00	駿台学園高等学校1年生	2	64	8			
8/24	木	10:30-12:00	塩尻市立洗馬小学校6年生	2	41	4	○	探検	
8/25	金	13:00-14:00	城北地区交流遠足 (上田二中・三区中・特別支援学級連合)	7	86	22	○		上田市立第二中、第三中、西小、北小、清明小、塩尻小の特別支援学級の連合で来館
9/1	金	9:10-10:30	佐久市立中込小学校6年生	2	64	4	○		
		9:20-10:30	飯山市立常盤小学校6年生	1	15	2	○		
		10:00-11:30	岡谷市立上の原小学校6年生	2	46	4	○		
		10:10-11:30	茅野市立金沢小学校6年生	1	26	3	○		
		10:30-12:00	佐久市立野沢小学校6年生	3	84	4	○		
		13:10-14:00	阿智村立阿智第二小学校6年生	1	19	2	○		
		13:10-14:00	阿智村立阿智第三小学校6年生	1	5	1	○		
		13:10-14:00	阿智村立清内路小学校6年生	1	2	1	○		
		13:30-14:30	佐久市立東小学校6年生	2	54	5	○		
14:00-14:40	上田市立菅平小学校6年生	1	8	2	○			3校合同で来館	
9/6	水	13:00-14:30	大田区立入新井第五小学校6年生	2	64	7	○	探検	
9/8	金	9:00-10:30	中野市立平岡小学校6年生	1	32	2	○	探検	
		9:00-10:30	中野市立倭小学校6年生	1	7	2	○	探検	2校合同で来館
9/9	土	12:00-13:30	大田区立馬込小学校6年生	2	75	7	○	探検	
9/10	日	12:15-14:30	大田区立赤松小学校6年生	2	72	7	○	探検	
9/12	火	10:30-12:00	大田区立新宿小学校6年生	2	69	7	○		
9/13	水	10:30-12:00	中野区立上高田小学校6年生	1	36	4	○	探検	
		13:30-15:00	東御市立柵津小学校6年生	1	31	2	○	探検	
9/1	木	10:40-12:00	練馬区立大泉南小学校6年生	3	100	8	○	探検	
9/14	木	12:00-13:30	中野区立中野本郷小学校6年生	2	64	9	○	探検	
9/15	金	13:00-15:00	富士見高等学校1学年6年生	3	97	6			
9/20	水	11:35-13:35	長野市立吉田小学校6年生	4	124	5	○	探検	

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
9/21	木	9:40-11:30	長野市立城東小学校6年生	2	53	3	○	探検	2校合同で来館
		9:40-11:30	長野ろう学校6年生	1	3	2	○	探検	
		9:40-11:40	大田区立池雪小学校6年生	4	140	11	○		
		14:10-15:00	練馬区立開進第三小学校6年生	3	92		○		
9/22	金	9:00-10:20	中野市立豊井小学校6年生	1	11	2	○	探検	
		10:00-11:30	練馬区立南田中小学校6年生	2	71	9	○	探検	
		10:00-11:00	山ノ内町立東小学校6年生	2	46	2	○		
		10:30-12:00	須坂市立豊洲小学校6年生	1	23	1	○		
9/26	火	9:00-10:30	中野市立永田小学校6年生	1	12	2	○	探検	
		10:00-13:30	大田区立梅田小学校6年生	3	125	10	○		
		10:30-12:00	須坂市立豊丘小学校6年生	1	6	2	○	探検	
		12:30-13:50	練馬区立関町北小学校6年生	3	86	10	○	探検	
9/28	木	9:00-10:30	須坂市立小山小学校6年生	3	73	4	○	探検	
		9:30-10:30	中野区立鷲宮小学校5学年	2	48	7	○		
		10:00-11:30	練馬区立大泉第一小学校6年生	2	57	6	○		
9/29	金	9:00-10:30	長野市立浅川小学校6年生	2	64	3	○	探検	
10/3	火	13:30-15:50	大田区立矢口西小学校6年生	4	123	11	○	探検	
10/5	木	10:30-12:00	塩尻市立宗賀小学校6年生	2	38	2	○	探検	
		13:30-15:00	長野市立七二会小学校5・6年生	2	19	3	○	探検	2学年合同で来館
10/6	金	12:00-13:30	長野市立南部小学校6年生	3	84	5	○	探検	
		12:40-14:15	早稲田大学高等学院中学部2学年	4	122	7			
10/7	土	10:30-12:00	大田区立清水窪小学校6年生	1	21	4	○	探検	
		10:30-12:30	大田区立糞谷小学校6年生	4	121	11	○		
10/8	日	14:00-15:00	大田区立大森東小学校6年生	1	26	5	○	探検	
10/11	水	12:30-14:30	松本市立開明小学校6年生	4	121	6	○	探検	
10/12	木	14:15-15:45	大田区立嶺町小学校6年生	3	107	8	○	探検	
10/13	金	9:30-10:30	徳応院保育園	3	63	8	○		
		13:40-14:40	飯田市立座光寺小学校4年生	1	33	3	○		
10/15	日	12:00-13:30	大田区立山王小学校6年生	3	108	8	○	探検	
10/17	火	10:30-12:00	大田区立北糞谷小学校6年生	1	35	6	○		
10/18	水	9:45-10:30	東部保育園・年少組	1	28	5			
10/19	木	9:30-10:30	八幡保育園	2	46	5	○		
		13:30-15:10	千曲市立八幡小学校6年生	1	30	3	○	探検	
10/20	金	9:30-10:00	青木島保育園 年長組	1	40	4			
		9:30-11:00	寺尾保育園 年少組	1	14	3			
10/21	土	9:00-11:00	信州大学教育学部社会教育演習	1	12	1	○	見学	ミニレクチャー実施、遺物収蔵庫、文献書庫見学
		10:30-12:00	大田区立仲六郷小学校6年生	1	39	5	○	探検	
		11:00-12:00	大田区立馬込第三小学校6年生	3	102	8			
10/22	日	12:00-13:30	大田区立東蒲小学校6年生	1	38	5	○	探検	
		12:30-14:00	大田区立東調布第一小学校6年生	3	102	9	○	探検	
10/27	金	13:00-14:30	大田区立大森第四小学校6年生	3	95	9	○	探検	
10/28	土	10:45-12:00	大田区立調布大塚小学校6年生	2	43	6	○	探検	
10/29	日	12:30-14:00	大田区立矢口東小学校6年生	2	43	6	○	探検	
10/31	火	10:30-12:00	長野市立寺尾小学校6年生	1	20	2	○	探検	
		12:00-14:10	長野市立共和小学校6年生	2	59	2	○	探検	

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
11/1	水	11:00-12:30	大田区立高畑小学校6年生	3	100	7	○	探検	
11/2	木	9:00-10:30	千曲市立上山田小学校6年生	1	30	2	○	探検	
		10:20-12:00	佐久市立泉小学校6年生	2	40	3	○	探検	
11/4	土	13:00-15:00	松本大学	1	14	1			
11/9	木	9:00-10:30	飯山市立飯山小学校6年生	2	59	3	○	探検	
11/10	金	9:00-10:30	須坂市立高甫小学校6年生	1	31	2	○	探検	
11/14	火	9:00-10:30	上田市立傍陽小学校6年生	1	20	2	○	探検	
11/1	水	13:20-14:50	上田市立清明小学校6年生	2	54	3	○	探検	
11/16	木	9:00-10:30	上田市立浦里小学校6年生	1	14	1	○	探検	
11/22	水	9:00-10:30	信州大学教育学部附属松本小学校6年生	2	66	4	○	探検	
11/23	木	9:15-10:45	白馬高等学校2年・3年有志	1	9	3	○	探検	
12/5	火	10:30-12:00	筑北村立坂井小学校6年生	1	8	2	○	探検	
1/30	火	13:30-15:00	松本市立二子小学校6年生	2	45	2	○	探検	
2/25	日	10:30-12:00	長野南高校1年生5名	1	5	1	○		
合計				600	16,295	1,276	259		

(2) 教育関係機関視察及び見学 実施記録

月日	曜日	時間	申込者	人数	解説	バックヤード	備考
4/20	木	11:35-13:20	練馬区教育委員会実地踏査	18	○	視察	常設展解説、バックヤード視察
6/1	木	14:20-15:10	中野区教育委員会実地踏査	11	○	視察	常設展解説、バックヤード視察
6/17	土	12:50-16:30	坂城町立図書館	16		視察	文献書庫視察
6/24	土	10:00-12:00	長野県立短期大学	7		見学	文献書庫見学
7/14	金	13:30-15:00	信州大学大学史資料センター	5	○	見学	文献書庫見学
7/21	金	10:30-14:30	安曇野市教育委員会視察団	7	○	視察	公文書館機能視察
7/25	火	9:50-10:50	大田区教育委員会実地踏査	94	○	視察	常設展解説、バックヤード視察
7/28	金	9:10-16:10	県総合教育センター研修館内見学	17	○		常設展示解説
8/2	水	9:00-17:00	信州大学教員免許更新講習① 館内見学	47	○	見学	「歴史館で教材開発」
8/3	木	9:00-17:00	信州大学教員免許更新講習② 館内見学	47	○	見学	「歴史館で教材開発」
8/27	日	10:00-12:00	東御市教育委員会 北御牧古文書勉強会	20		見学	文献書庫見学、公文書館機能視察
10/31	火	10:00-12:00	須坂市立博物館	14	○	視察	
11/12	日	9:00-17:00	信州大学教員免許更新講習③ 館内見学	48	○	見学	「歴史館で教材開発」
11/21	火	9:30-15:30	考古資料保存処理講習会	23	○	視察	保存処理関係視察、企画展解説
2/24	土	13:00-14:30	国立科学博物館	3	○		招待(冬季展資料借用元)
合計				377	12		

(3) 一般団体見学 実施記録

月日	曜日	時間	申込者	人数	解説	バックヤード	備考
4/4	火	14:00-15:00	大田区休養村とうぶスタッフ	3	○	見学	大田区小学校宿泊施設スタッフ視察
4/12	水	13:10-14:10	小諸ウォーキングクラブ	15	○		
4/14	金	9:30-10:30	(有)八尾観光旅行(富山県)	20	○		
4/19	水	10:30-11:20	上山田小・中学校同年会	22			
4/29	土	13:30-14:30	東京古田会	20	○		
5/12	金	15:30-17:00	ローカ-旅行 道の旅「北国街道」	27	○		
5/13	土	9:00-10:00	北海道より「長野県の縄文ツアー」御一行	15	○	見学	
		10:00-12:00	上田社会教育大学 歴史学科	6	○	見学	文献書庫見学
5/14	日	12:30-13:30	安曇野市 福祉会	28			
5/21	日	9:45-12:15	信州自遊塾	17	○	見学	
5/26	金	10:00-12:00	飯山市ふるさと館友の会	13	○	見学	遺物収蔵庫、文献書庫見学
5/31	水	10:00-10:50	松本友の会	21	○		
6/6	火	10:00-12:00	上越市立高田西小学校6年生親子レク(親)	65	○	探検	6年生の子どもと一緒に来館
		13:20-14:45	北御牧 味の研究会	13			
6/11	日	10:30-12:00	小川村公民館夏和分館	23	○	見学	

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
6/14	水	9:40-11:30	須坂市勤労者協議会			7	○		
		10:50-11:30	ケアハウス 悠・悠			9			
6/20	火	10:00-13:00	シニア大学長野学部①			88	○	見学	
6/21	水	10:00-13:00	シニア大学長野学部②			72	○	見学	
6/22	木	15:00-16:00	信濃町(シニア団体)			18	○		
6/25	日	10:00-11:00	同心町公民館			14			
6/26	日	13:30-14:30	本庄古美術愛好会			7			
6/29	木	14:00-15:30	松本市社会福祉協議会			23	○	見学	
6/30	金	9:30-11:00	上田市ことぶき大学 創造館校			15	○	見学	
7/2	日	10:00-11:00	東笠原公民館(中野市)			33	○		
7/9	日	13:30-14:30	埼玉県志木市身体障害者福祉会			16	○		
7/12	水	9:30-10:10	昭和用排水土地改良区(愛知県より)			27	○		
7/14	金	10:30-11:10	桜グループホーム①			9	○		
7/19	水	13:30-15:00	長野市立信州新町公民館			22	○		
7/21	金	10:30-11:10	桜グループホーム②			9	○		
7/28	金	9:00-11:45	長野市東部支会5学年会			14	○	視察	
8/3	木	15:00-16:30	練馬区教育社会科部			6	○	視察	
8/6	日	9:00-10:00	埼玉県社会科教員長期研修 河川の会			8	○		「千曲川の水害史」について
8/8	火	14:00-15:00	堂前フレンズ			18	○		
8/11	土	10:20-15:00	長野県高校教文会議社会科			11		見学	文献書庫見学
8/22	火	10:00-12:00	上田分区大塚自治会			5	○	見学	招待 文献史料課対応
8/23	水	13:00-14:00	栗田病院デイケアつばさ			16	○		
9/18	月	9:50-11:00	コミュニティー和平			24	○		
9/23	土	13:30-14:30	社会科研究会(高校の先生方の研修)			3	○		
9/30	土	12:30-16:00	縄文学講座の会(群馬県渋川市)			21	○		
10/3	火	10:00-11:50	長野市立古里公民館			27	○	見学	
		10:00-11:30	渋川市赤城歴史資料館ボランティアの会			17	○		
10/5	木	13:30-14:30	東御市教育委員会			14	○		
10/7	土	15:00-15:50	サークル史(ふみ)の会			18	○		
10/8	日	14:00-14:50	近畿日本ツーリスト東京第1教育旅行支店			6	○	視察	旅行代理店職員視察
10/11	水	10:10-11:30	塩尻ロマン大学 すみれ組			17	○		
		12:10-13:30	塩尻ロマン大学 さくら組			22	○		
10/12	木	9:10-9:45	(株)TAS取扱ツアー(イギリス)			16			
		10:00-12:30	柳原公民館			5	○	視察	遺物収蔵庫、文献書庫見学
10/17	火	11:00-12:00	丸田高齢者クラブ			19	○		
10/19	木	10:20-11:30	上田市立信濃国分寺資料館万葉ボランティアの会			14	○	見学	
10/20	金	10:00-11:00	自然保護ボランティア(塩尻)			13			
		11:00-12:00	昭和町西条二区いきがいクラブ			33	○		
10/22	日	13:30-14:00	千曲市役所(ハンガリーの方々)			12			
10/24	火	9:30-11:30	佐久シニア大学			107	○	見学	
10/26	木	13:40-14:40	小島日記研究会			8			
10/29	日	10:30-12:00	一般社団法人 長野県獣医師会			18	○	見学	
11/1	水	14:00-15:00	生涯学習応援団ちば			22	○		
11/2	木	10:15-10:50	緑の牧場学園(佐久市)			9			
		14:00-15:40	高山村公民館「美術館に行こう」の会			14	○	探検	
11/3	金	11:00-13:00	新潟縄文を楽しむ会			20	○		
		14:00-15:00	松本市城東公民館 信州大学短期留学生			22	○		
11/4	土	13:00-15:30	高教研北信地区・地歴公民科研修会			9	○		
11/5	日	10:00-11:30	千曲市倉科史跡保存会			10	○		
11/7	火	9:30-10:30	富山県退職教職員協議会(千歳会)			21	○		
11/8	水	14:00-15:00	学園東楽友会(東京)			13			
11/14	火	9:30-10:30	須坂市旭ヶ丘ふれあいプラザすこやかふれあい広場			13	○		
11/17	金	10:00-11:45	今を考える会			8	○	見学	
11/19	日	10:30-12:00	西組育成会(篠ノ井)			21	○		
12/3	日	10:00-11:45	伊那市創造館			20	○	探検	
12/7	木	10:30-12:30	燦々会			10	○		
12/15	金	14:00-15:30	松代公民館			50	○	見学	
12/16	土	9:15-15:30	上伊那広域連合			58	○	探検	KOAの日関連来館
1/20	土	10:30-12:00	丸子公民館カルチャースクール			17	○	見学	ミニレクチャー実施、文献書庫見学、企画・常設展見学
1/26	金	15:10-16:00	何去老人会			22			
2/1	木	13:30-15:00	稲荷山蔵の会			14	○		
2/18	日	9:45-10:30	森将軍塚ボランティアガイド講座			22	○		研修視察
2/24	土	13:00-15:00	杭瀬下公民館			11	○		
2/25	日	13:00-14:30	入山辺地区人権啓発推進会議			10	○	見学	
合計						1,585	65		

## 2 企画展関連講演会等

月 日	テーマ	講 師	参加者数
4月22日	巡回展講演会 「最古の信州ブランド黒曜石を世界に発信」	長和町教育委員会 大竹幸恵氏	114
7月15日	夏季企画展講演会 「地方制度に見る明治維新」	慶応義塾大学経済学部准教授 松沢 裕作氏	145
7月30日	夏季企画展関連イベント こども体験教室 「プラ版でハンコをつくってみよう」	文献史料課	32
8月 5日	長野県の遺跡発掘 2017 伊那展示解説デー	町田 勝則 (当館職員)	6
8月12日	夏季企画展関連講座 「夜明け前と明治維新」 「ここはどこ、私はだれ」	青木 隆幸 (当館職員) 福島 正樹 (当館職員)	131
8月12日	長野県の遺跡発掘 2017 伊那展示解説デー	町田 勝則 (当館職員)	7
8月19日	長野県の遺跡発掘 2017 伊那講演会 「信州黒曜石文化」 「再考シナノ古墳文化」	大竹 憲昭 (当館職員) 西山 克己 (当館職員)	27
8月26日	長野県の遺跡発掘 2017 安曇野展示解説デー	町田 勝則 (当館職員)	7
9月 2日	長野県の遺跡発掘 2017 安曇野講演会① 「象嵌装大刀を持ったシナノ舎人たち」	西山 克己 (当館職員)	74
9月 9日	長野県の遺跡発掘 2017 安曇野展示解説デー	町田 勝則 (当館職員)	16
9月16日	秋季企画展イベント トークセッション 「火焰型土器前夜の新潟」 「北陸と中部高地の土器」	新潟県考古学会長 寺崎裕助氏 寺内 隆夫 (当館職員)	86

9月16日	長野県の遺跡発掘 2017 安曇野講演会② 「黒耀石のみちを考える」	大竹 憲昭 (当館職員)	62
9月30日	秋季企画展関連講座 (兼考古学講座) 「焼町 vs 勝坂」	寺内 隆夫 (当館職員)	112
10月7日	長野県の発掘 2017 佐久展示解説デー	町田 勝則 (当館職員)	6
10月28日	秋季企画展講演会 「パプア・ニューギニアの土器作りと縄文土器」	早稲田大学教授 高橋 龍三郎氏	72
11月3日	秋季企画展イベント 縄文土器・土偶プラ版作り	総合情報課	192
11月11日	長野県の発掘 2017 佐久トークライブ 「信州産黒曜石について」	大竹 憲昭 (当館職員)	60
11月25日	秋季企画展イベント 縄文風リース、ゾートロープ作り	総合情報課	23
11月26日	秋季企画展イベント 写生・ぬりえ大会	総合情報課	129
11月26日	秋季企画展イベント 写生・ぬりえ大会表彰式	総合情報課	70
12月16日	冬季展講演会 「田中芳男をめぐる人々」	笹本 正治 (当館館長)	149
1月20日	冬季展講演会 「近代日本の礎を築いた田中芳男」	飯田市美術博物館学芸係 長 櫻井 弘人氏	120
2月4日	冬季展イベント 「南信濃の民俗芸能に触れよう」	総合情報課	80
2月10日	冬季展講座 「田中芳男ー「虫捕御用」の明治維新」	青木 隆幸 (当館職員)	148

### 3 講座

#### (1) やさしい信濃の歴史講座

##### ① やさしい信濃の歴史講座 『川と信州のあゆみ』(館内)

月 日	テーマ	講 師	参加者数
12月9日(土)	御牧ヶ原と塩田のため池 －本州一の少雨地に田をつくる－	畔上 不二男	132
	水を得る戦い ー用水堰の開鑿ー	小野 和英	
12月23日(土)	日本人の心に生きる「河童」	溝口 俊一	121
	信州の川と利水・治水・親水	市川 厚	
1月 6日(土)	変わりゆく人里の植物たち ～安曇野の水辺から～	松田貴子氏(安曇野市 新市 立博物館準備室職員)	100
1月13日(土)	天竜川流域の信仰とその造形 －諏訪大社神宮寺と知久氏を中心に－	織田顕行氏(飯田市美術博 物館学芸員)	128
2月 3日(土)	川のある風景 ー広重《洗馬》をめぐって	林 誠	116
	器械製糸黎明期の歴史 ー水車の動力利用にかかわってー	山田 直志	
2月17日(土)	「屋代ムラ」その日その時、そして復旧・ 復興への道のり ー発掘調査からみた888年の大洪水とその 後ー	寺内 隆夫	136
	旧石器時代のムラ ー川辺のムラ、湿地を 囲むムラー	大竹憲昭	
3月10日(土)	果てなく黄色い花咲く丘で ー長野県民の 満州体験ー	青木隆幸	192

##### ② やさしい信濃の歴史講座 in 上田

日 時	場 所	テーマ	講 師	参加者数
8月26日(土)	上田市立信濃国分寺 資料館講堂	掘ってわかった信州の原始・古 代	大竹 憲昭	43

③ やさしい信濃の歴史講座 in 箕輪

日 時	場 所	テ ー マ	講 師	参加者数
11月25日(土)	箕輪町地域交流センター 一研修室	伊那県と夜明け前	青木 隆幸	68
		発掘で何がわかるか?	大竹 憲昭	

④ やさしい信濃の歴史講座 in 諏訪

日 時	場 所	テ ー マ	講 師	参加者数
1月27日(土)	諏訪市図書館	シナノから科野へ クニづくり の中の諏方ー小丸山古墳出土資 料ほか最新の発見資料からー	西山 克己	113

⑤ やさしい信濃の歴史講座 in 松本

日 時	場 所	テ ー マ	講 師	参加者数
2月24日(土)	松本市立博物館講堂	伊那県と夜明け前	青木 隆幸	75

(2) 考古学講座 『ヒトの交流・モノの流通』

月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
5月20日(土)	旧石器・縄文時代の黒耀石流通	大竹 憲昭	81
9月30日(土)	焼町VS勝坂～競い合い、高め合う縄文中期の土器装飾	寺内 隆夫	112
10月14日(土)	遺跡探訪会		42
10月21日(土)	稲作の開始と渡来石器～磨製石庖丁の生産～	町田 勝則	72
11月18日(土)	古代銭貨の使われ方	西山 克己	80

(3) 古文書講座

①初級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
A : 6月4日(日)	古文書の世界に踏みだそう	中野 亮一	26
B : 6月15日(木)			43

A : 7月2日 (日) B : 7月20日 (木)	文書から見る明治維新	中野 亮一	23 43
A : 8月6日 (日) B : 8月17日 (木)	佐久郡大日向村浅川家文書壺	中野 亮一	19 42
A : 9月3日 (日) B : 9月14日 (木)	寺澤家の「世帯道具」	伊藤 友久	20 41
A : 10月8日 (日) B : 10月19日 (木)	須山家の書翰 (近代) 壺	伊藤 友久	18 43

### ②中級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
A : 6月4日 (土) B : 6月16日 (木)	なまけるなイロハニホヘト散桜	青木 隆幸	47 46
A : 7月2日 (土) B : 7月20日 (木)	若者たちのいる風景	青木 隆幸	42 45
A : 8月5日 (土) B : 8月17日 (木)	さまざまの事おもひ出す 櫻かな	青木 隆幸	45 47
A : 9月2日 (土) B : 9月14日 (木)	信盛? 盛信? 仁科文書を読む	村石 正行	43 46
A : 10月7日 (土) B : 10月19日 (木)	かな文字を読んでみよう「木曾願書」	村石 正行	43 42

### ③上級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
5月27日 (土)	上級文書を読む (1)	尾崎 行也 氏 (元長野県史刊行会常任参与)	24
6月24日 (土)	上級文書を読む (2)	尾崎 行也 氏 (元長野県史刊行会常任参与)	20
7月29日 (土)	上級文書を読む (3)	尾崎 行也 氏 (元長野県史刊行会常任参与)	22
8月26日 (土)	上級文書を読む (4)	尾崎 行也 氏 (元長野県史刊行会常任参与)	23
9月30日 (土)	上級文書を読む (5)	尾崎 行也 氏 (元長野県史刊行会常任参与)	21

## ④ティーンズ

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
8月8日(火)	ヘンタイ仮名の世界へようこそ	村石 正行	19
8月9日(水)	往来物「曾我物語」を読んでもみよう	村石 正行	19
8月10日(木)	「浦島縁起絵巻」を読んでもみよう	村石 正行	19
8月11日(金)	戦国武将の古文書を読んでもみよう	村石 正行	18

#### 4 歴史館ふるさと講座

「自然と向かい合い、暮らしを築く」と題した連続講座

日時	テーマ	講師	参加者数
6月3日(土)	土石流災害と伝説	笹本正治	129
6月10日(土)	長野県をおそった近代の災害—地震、地すべり、土石流、なだれ、大火—	山浦直人(当館客員学芸員)	144
6月17日(土)	浅間山、天仁元年(1108)の大噴火	櫻井秀雄(長野県埋蔵文化財センター)	177
6月24日(土)	1847年善光寺地震を再考する—歴史学の立場から—	原田和彦(長野市立博物館)	202
7月1日(土)	ここまでわかった「戌の満水」(寛保2年千曲川大洪水)	青木隆幸	231

#### 5 県内連携講座

県内博物館と連携し、各博物館の職員と協働した連携講座。今年は、飯田市美術博物館、安曇野市豊科郷土博物館と連携して実施した。

日時	場所	テーマ	講師	参加者数
9月2日(土)	安曇野市豊科郷土博物館	象嵌装大刀を持ったシナノの舎人たち	西山克己	74
9月16日(土)	安曇野市豊科郷土博物館	黒耀石のみちを考える	大竹憲昭	62
3月18日(日)	飯田市美術博物館	日本人の心に生きる河童—水と人との関係史—	溝口俊一	20

## 6 考古学セミナー

長野県考古学会との共催による。

日 時	テーマ	講 師	参加者数
6月18日(日) 13:30~15:40	藤森栄一賞受賞記念講演 「考古学から地域学へのアプローチ —地域遺産の保護啓発運動の現在—」  研究発表 「考古資料から見たシナノ・科野・信濃」	佐藤雅一 氏 (新潟県津南町教育委員会)  西山克己 (当館職員)	47
3月17日(土) 10:30~15:00	報告1 「伊那市老松場古墳群第1次調査報告」 報告2 「小丸山古墳出土品の再調査成果と諏訪 地域の古墳」  講演 「古墳時代研究における飯田古墳群の位 置」 ミニシンポジウム 「最新のシナノの古墳時代像」	濱 慎一 氏 (伊那市創造館) 児玉利一 氏 (諏訪市教育委員会)  小林正春 氏 (長野県考古学会長)  小林正春 氏 濱 慎一 氏 児玉利一 氏 (講師3名) 西山克己 (当館職員)	75

## 7 近世史セミナー

信濃史学会、信州近世史セミナーとの共催として実施。「信州と身分制社会」をテーマにして、2名の発表があった。

日 時	テーマ	講 師	参加者数
12月3日(日) 13:00~15:50	研究発表 「松代の家臣団」  講演 「維新前後の身分をめぐる動向」	宮澤 崇士氏  齋藤 洋一氏	131

## 8 講習会

### (1) 考古資料保存処理講習会

月 日	テーマ	講 師	参加者数
11月21日(火)	出土遺物のクリーニングと応急処置	講義・実習・質疑応答 白沢 勝彦	23

### (2) 文献史料保存活用講習会

月 日	テーマ	講 師	参加者数
6月23日(木)	第1回文献史料保存活用講習会 「古文書を後世へ伝えるためにー小諸市の取組を中心にー」	小諸市古文書調査室長 斎藤洋一	33
11月11日(金)	第2回文献史料保存活用講習会「災害と資料保全Ⅱ」	東京国立博物館学芸研究部保存修復課環境保存室長 和田浩氏・同学芸研究部列品課登録室アソシエイトフェロー 六人部 克典氏 長野市立博物館 原田和彦氏 県立歴史館 村石正行	61
2月27日・28日 (火・水)	第3回文献史料保存活用講習会 県立歴史館 テーマ「被災した紙史料の修復」～いざという時慌てないために～	県立歴史館 白沢勝彦	29

## 9 各種講習会・イベント

日時	テーマ	内 容	参加者数
5月5日	歴史館でこどもの日	石のアクセサリーづくり①	126
		プラ版マスコット作り	35
		縄文人になって遊ぼう	175
8月1日	絵図地区研究報告会		82
8月5日	歴史館で夏休み	石のアクセサリーづくり	42
		バックヤード探検〈拡大版〉	32
		プラ版キーホルダーづくり	41
		縄文人になって遊ぼう	77
10月6日	全史料協関東部会定例研究会		46
10月11日	川中島小学校交流体験教室	まが玉づくり	20
11月3日	将軍塚まつり	縄文人になって遊ぼう	572
		勾玉づくり	184
11月21日	考古資料保存処理講習会		23
12月16日	KOAの日関連	プラ版マスコット作り	96
		バックヤード探検	20
2月15日	長野県博物館協議会研修会		59
2月15日	信州大学学芸員資格取得講座		45

日時	テーマ	内 容	参加者数
2月16日	長野県博物館協議会研修会		49
2月16日	信州大学学芸員資格取得講座		45
2月27日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会		15
2月28日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会		14
3月20日	親子映画会①	「まんが日本昔ばなし」「こども人形劇場」の上映	182
3月21日	親子映画会②	「まんが日本昔ばなし」「こども人形劇場」の上映	200
3月23日	親子映画会③	「まんが日本昔ばなし」「こども人形劇場」の上映	132
3月24日	親子映画会④	「まんが日本昔ばなし」「こども人形劇場」の上映	145

## 10 展示解説

事前に解説を申し込んだ団体を対象に展示解説を実施（解説実施 団体）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
学校数	26	80	50	27	8	37	24	10	1	1	1	0
一般団体数	5	6	8	11	7	3	14	12	4	1	5	0
小計	31	86	58	38	15	40	38	22	5	2	6	0

## 11 学校との連携

### (1) 千曲市立東小学校との連携

- ・総合的な学習の時間「アプリコットタイム」の講座「歴史探検」  
年間9回を学校と共に計画を立案し、勾玉作り、ペーパークラフト作り、黒曜石ナイフ・弓矢体験学習等の講師を務めた。

### (2) 屋代高等学校附属屋代中学校1学年への学習支援（4月11日）

- ・中学校において課題探究的な学習を始めるにあたって、ものの見方や考え方を学ばせかけを当館の見学を通して提供した。  
内容：企画展示室にて「黒曜石」の研究について、遺物整理室にて「屋代土器」について、考古バックヤード「埋蔵文化財」の保存処理・活用について、第一研修室にて「古文書」から何を研究するか

### (3) 埼玉大学教育学部附属中学校2年生への学習支援（7月13日）

- ・当館の見学に合わせて設定した個人研究テーマに基づき学習支援を行った。事前に送られてきた質問への回答を行い、見学当日も疑問に答えたり、学習の進め方へのアドバイスをしたりなどの支援をした。生徒17名。

### (4) 長野市立川中島小学校への講師派遣（10月11日）

- ・体験交流講座で、勾玉づくりの講師（2名）を務めた。児童20名。

### (5) 長野県総合教育センターへの研修協力（7月28日）

- ・研修講座〔歴史学習の教材研究～長野県立歴史館の資料を活用して～〕 17名  
講義「歴史への興味・関心を高める教材化」の講師を務めた。  
演習「県立歴史館の資料を用いた地域の歴史の教材化」で教材化の相談に応じた。

- (6) 信州大学教員免許更新講習の開設（8月2日、8月3日、11月12日 計3日間）
- ・「信州大学と長野県教育委員会との連携に関する協定」に基づき、当館を会場にして講習を開設した。（受講者は3回の合計で142名）
  - ・総合情報課長による講義、館内の案内、演習時の支援等を行った。
- (7) 信州大学学芸員資格取得講座の開設（2月15日、16日 計2日間）
- ・当館を会場に信州大学学芸員資格取得講座「情報メディア論」を開設した。（受講者は2日間で90名）
  - ・博物館関係職員等研修会と同時開催。当館職員や外部講師による講義、実務研修、館内の見学を行った。
- (8) お出かけ歴史館事業の実施
- ・お出かけ歴史館事業実施計画立案のため、飯田・下伊那地方の小学校のアンケートを実施した。
  - ・アンケートの結果をもとに実施計画を立案し、下伊那・木曾地方の小中学校、公民館に広報活動を行った。
  - ・実施した学校数：6校、学級数：19学級、実施人数494名。詳細は以下の通り。
- 平成29年11月1日（水） 上松町立上松中学校（木曾郡上松町）
- 対象：中学校1学年（1クラス34名）
- 内容：まが玉づくり＋土器にふれよう
- 平成30年1月23日（火） 木曾町立日義中学校（木曾郡木曾町）
- 対象：中学校1～3年生（3クラス57名）
- 内容：土器や石器にふれよう＋木曾の歴史に関する講話
- 2月1日（木）2日（金） 上松町立上松小学校（木曾郡上松町）
- 対象：小学校1～6年生（7クラス179名）
- 内容：土器や石器にふれよう、縄文人になろう
- 2月6日（火） 飯田市立追手町小学校（飯田市）
- 対象：小学校5年生（1クラス25名）
- 内容：田中芳男講座、縄文人になろう
- 3月1日（木） 飯田市立丸山小学校（飯田市）
- 対象：小学校5年生（3クラス83名）
- 内容：土器や石器にふれよう
- 3月9日（金） 飯田市立鼎小学校（飯田市）
- 対象：小学校5年生（4クラス116名）
- 内容：土器や石器にふれよう

## 1 2 博物館実習

- ・実習期間 8月22日(火)～9月1日(金) 8月29日(火)を除く10日間
- ・実習生 10名(のべ100名)
- ・内 容 博物館学概論、資料調査の実際、閲覧業務の実習、展示解説の見学・解説の実習、広報の実際、考古資料の保管・活用・調査研究、考古資料の取り扱い(土器・石器、木製品、金属製品)、行政文書の整理実習、古文書の整理実習

## 1 3 インターンシップ

- ・実習期間 8月24日(木)・25日(金)の2日間
- ・実習生 2名(のべ4名)
- ・内 容 木製品保存処理、考古資料の収蔵、文献史料整理、目録データ作成、閲覧業務の実習 他

## 1 4 職場体験学習

(1) 中学生による職場体験学習(10校、36名、のべ24日間、88名)

- 6月28日～30日(3日間) 千曲市立屋代中学校2年生(5名)
- 7月4日～5日(2日間) 長野市立篠ノ井西中学校2年生(5名)
- 7月11日～12日(2日間) 信州大学教育学部附属長野中学校3年生(3名)
- 7月19日～21日(3日間) 長野市立広徳中学校2年生(5名)
- 7月25日～27日(3日間) 千曲市立埴生中学校2年生(5名)
- 8月31日(1日間) 長野市立更北中学校2年生(5名)
- 9月5日～7日(3日間) 千曲市立戸倉上山田中学校2年生(5名)
- 10月19日～20日(2日間) 中野市立豊田中学校2年生(1名)
- 10月24日～26日(3日間) 千曲市立更埴西中学校2年生(1名)
- 10月26日～27日(2日間) 長野市立大岡中学校2年生(1名)

(2) 高校生による就業体験学習(4校、8名、のべ11日間、15名)

- 5月12日、6月17日、7月16日、7月30日、8月3日、8月14日  
(計6日間) 長野県長野東高等学校3年生(1名)
- 7月26日～27日(2日間) 長野県屋代南高等学校3年生(1名)
- 7月30日、8月14日(2日間)  
長野県上田染谷高等学校3年生(1名)
- 8月3日(1日間) 長野県屋代高等学校1年生(5名)

(3) 社会人研修 (5校、5名、のべ7日間、7名)

- 7月30日、8月5日(計2日間) 千曲市立戸倉上山田中学校教職員(1名)
- 8月3日～4日(2日間) 上田市立丸子中学校教職員(1名)
- 8月5日(1日間) 長野県上田高等学校教職員(1名)
- 10月24日(1日間) 長野県松本筑摩高等学校教職員(1名)
- 11月15日(1日間) 長野県長野西高等学校教職(1名)

## 15 サークル育成活動

### ○ 古文書愛好会

#### (1) 館蔵文書を読む会

- ① 実施日 6月1日(木)、7月6日(木)、8月24日(木)、9月7日(木)、  
10月5日(木)、11月9日(木)、12月7日(木) 計7回
- ② 実施に至るまで  
4月下旬: 愛好会役員と協議  
5月中旬: 今年度整理文書の選定および愛好会役員との協議  
5月下旬: 参加希望会員へ通知発送/テキスト編冊
- ③ 対象史料  
「清水家文書」のうち道中日記録(A/2495 天保7年)加能越旅行記(A/2480 安政4年)加能越路之日記(A/6447 安政4年)を購読し、翻刻および発表会をおこなった。
- ④ 参加者 37名参加 延べ215名(平均各回31名)

#### (2) 古文書探訪会

- ① 日 時 10月12日(木)
- ② 見学場所 佐久市五郎兵衛記念館・同用水見学・新海三社神社・御影陣屋跡・御影用水記念館
- ③ 参加者 会員28名 事務局(文献史料課員)1名 計29名
- ④ 参加費 5,000円

#### (3) 古文書演習

- ① 夏季 35名参加 延べ151名(各回平均22名)  
5月27日(土)、6月24日(土)、7月29日(土)、8月26日(土)、9月30日(土)、  
10月7日(土)、8日(日) 計7回
- ② 冬季 29名参加 延べ378名(各回平均21名)  
1月19日(金)20日(土)21日(日)26日(金)27日(土)28日(日)  
2月2日(金)3日(土)4日(日)9日(金)10日(土)11日(日)17日(土)  
18日(日)23日(金)24日(土)25日(日) 計18回
- ③ 実施に至るまで  
5月上旬: 今年度整理文書の選定・愛好会担当幹事と協議  
5月中旬: 会員へ通知発送・愛好会役員会で班分け等実施準備
- ④ 仮目録採りの対象史料  
夏季 小県郡地方文書・下諏訪宿増沢家文書・佐久郡下平尾村森泉家文書  
冬季 佐久郡下平尾村森泉家文書・水内郡古山村戸谷家文書・  
埴科郡森村中澤家文書

⑤グループ学習会

古文書演習中の適当な半日（2時間程度）を使い、各グループ1～2回ずつ、自分たちが整理した文書の中から適当なものを選んで学習した。

(4) 総会

- ① 日時 2月25日（日）午後1時～1時30分
- ② 議題
  - ・平成29年度古文書愛好会事業報告
  - ・平成29年度古文書愛好会会計現計報告
  - ・平成29年度古文書愛好会会計監査報告
  - ・平成30年度古文書愛好会事業計画案について
  - ・平成30年度古文書愛好会予算案について
- ③ 参加者 会員35名 事務局2名 計37名

(5) 研修会

- ① 日時 2月25日（日）午後1時45～3時20分
- ② 講演  
「謎解き『善光寺道名所図会』」  
県立歴史館学芸部長 青木 隆幸
- ③ 参加者 会員35名 事務局2名 計37名

## 1.6 ボランティア活動

(1) 全体的な活動等

- ①総会の開催 4月15日（土）13:30～14:00 役員選出、本年度の活動計画等
- ②保険の加入 ケガ等の報告無し（保険使用無し）
- ③募集 ホームページ、千曲市のちらし回覧、エントランスにちらし設置等
- ④名簿作成 ボランティア会員数

		体験	解説	作業	合計（延数）	実数
年度当初数（人）	4/1	36	25	6	67	47
年度末数（人）	3/20	39	24	6	69	49

\*実際に解説を行っている会員は11名、他は研修中ほか。

- ⑤内覧会案内・招待券・館だより等の送付

(2) 解説ボランティア活動

- ①団体への展示解説
  - ・一般団体を主とする。学校団体は状況に応じて依頼した。
  - ・一般2団体で解説延べ11回 学校5校で解説延べ6回
- ②一般客への展示解説 「日曜解説」
  - ・実施日 毎週日曜日および祝日（通年）
  - ・実施時間 午前10:30～12:30 午後1:30～3:30
  - ・解説人数 午前・午後ともに2名を原則

- ・解説方法 展示室で声がけをしながら適宜活動。喜びの持てる活動となった。
- ・実績 解説者延数 241、利用者数 1,243 人 (4/2~3/11)
- ③イベント時における展示解説と監視
  - 「歴史館でこどもの日」「歴史館で夏休み」「森將軍塚まつり」「親子映画会」
- ④研修 解説研修会(8月12日)、内覧会への招待、自主研修ほか
- (3) 体験ボランティア活動
  - ①歴史館でこどもの日 5月5日(金) 勾玉16人 縄文人4人 解説9人
  - ②歴史館で夏休み 8月5日(土) 勾玉18人 縄文人4人 解説6人  
 プラ板3人  
 4日(金)の平日準備に5人
  - ③森將軍塚まつり 11月3日(木) 勾玉17人 縄文人4人 解説8人  
 プラ板2人
  - ④クリスマスリース作り 11月27日(日) リース作り支援3名
- (4) 作業ボランティア活動 1人で23日(5月~3月)  
 木器処理作業

## 1.7 博物館関係職員等研修会

長野県教育委員会、長野県博物館協議会共催

### (1) 期日

平成29年2月15日(木)、16日(金)

### (2) 参加対象者

公立・私立博物館等(博物館、美術館、歴史民俗資料館及び考古資料館等)職員

市町村教育委員会職員

教育事務所職員

県文化振興事業団職員(埋蔵文化財センター、創造館、文化会館等)

その他受講希望者

※一部、信州大学(学生向け)講座を兼ねて実施

### (3) 内容

2月15日(木)(参加者=104名)

#### ① 講演「必要とされるミュージアムをめざして」

〈講師〉長田 純佳 氏(日本科学未来館プログラム企画開発課)

#### ② 講演「博物館職員が知っておきたい知的財産」

〈講師〉柏原 秀雄 氏(信州大学 学術研究・産学官連携推進機構/弁理士)

#### ③ 講演「行政職の立場から見た博物館の課題と未来」

〈講師〉 那須野 雅好 氏（安曇野市教育委員会文化課長）

2月16日（金）（参加者=94名）

① 事例報告「学芸員としての工夫と苦勞」

〈報告〉 福澤 浩之 氏（伊那市立高遠町歴史博物館学芸員）

② 実務研修

◇ 「美術・工芸品の取り扱い入門」（掛軸、卷子等の取り扱い、展示、梱包）

〈講師〉 林 誠（長野県立歴史館学芸員）

◇ 「甲冑の取り扱い」（基本知識と具体的な取り扱い、修理・保存等）

〈講師〉 降幡 浩樹 氏（真田宝物館）、日本通運長野支店専門職員2名

◇ 『田中芳男』展と博物館再考」（企画展展示解説+ディスカッション）

〈講師〉 青木 隆幸（長野県立歴史館学芸部長）

18 職員派遣（出前講座）

月 日	派 遣 先	内 容	参加者数	職 員
4/8	飯綱郷土史研究会総会	飯綱町の山城	40	遠藤 公洋
4/11	東小アプリコットタイム		30	溝口 俊一
4/13	佐久地域賛助会「郷土史を学ぶ会」公開講座	木曾の宝・浅間山の信仰	71	市川厚 山田
4/13	平成29年度キャリア形成研修 新規採用課程（前期）	長野県のあゆみ	70	青木 隆幸
4/16	坂城町れきし同好会	坂城を中心とした山城	45	遠藤 公洋
4/21	平成29年度キャリア形成研修 新規採用課程（前期）	長野県のあゆみ	61	青木 隆幸
4/21	松本市松原地区公民人権学習会	戦争は避けられなかったか	23	青木 隆幸
4/25	小海町史談会総会	仁和の洪水	50	寺内 隆夫
4/26	平成29年度キャリア形成研修 新規採用課程（前期）	長野県のあゆみ	61	青木 隆幸
5/10	松本市松原地区公民館人権学習	小笠原長時と貞慶	20	村石 正行
5/11	東小アプリコットタイム		30	溝口 俊一
5/12	長野県情報サービス振興協会総会講演	信濃国における中馬について	60	中野 亮一
5/13	八ヶ岳美術館展示会講演会	人々の信仰と自然	30	笹本 正治
5/13	上郷史学会総会	もう一つの明治維新	60	青木 隆幸
5/16	蓼科学	黒曜石	50	大竹 憲昭
5/17	長野県文化財保護協会総会		50	村石 正行
5/20	千曲親友会総会	更埴地域の学校林	35	溝口 俊一
5/22	篠ノ井タウン大学講座	シナノから信濃へ	51	西山 克己
5/23	蓼科学	この道は極楽浄土へ続く～鎌倉・立科・善光寺～	49	村石 正行
5/26	更埴社会科教育研究会総会	学校登山の歴史	24	市川 厚
5/27	伊那弥生ヶ丘高校同窓会総会	伊那の歴史	130	笹本 正治
5/27	やさしい栗佐の歴史講座	伊能忠敬の測量	20	小野 和英
5/28	望月歴史民俗資料館講座	伊能忠敬の測量と望月	40	小野 和英
5/30	第4回キャリア教育産学官交流会（郷土愛めぐり）	ふるさとに学ぶ	250	笹本 正治
5/30	蓼科学	近世の蓼科	50	遠藤 公洋
5/31	佐久市民生児童委員協議会総会	自然と生きる日本人－昆虫・木・水－	230	笹本 正治
6/5	松本県ヶ丘高校図書館講座	信州の戦国－その時、川中島で－	21	笹本 正治
6/8	東小アプリコットタイム		29	溝口 俊一
6/18	田立花馬祭り300年記念講演会	花馬祭りについて	150	笹本 正治
6/22	永昌寺「寺来や塾」	資史料から探る古刹の歴史	30	山田 直志
6/23	歴史館ふるさと講座in大桑		30	笹本 正治
6/23	千曲市文化財調査委員会'	千曲市の養蚕業	34	青木 隆幸
6/26	篠ノ井タウン大学講座	シナノから科野へ そして信濃国へ	50	西山 克己

6/28	稲荷山公民館教養講座	井伊直虎の生きた歴史	30	村石 正行
6/29	東小アプリコットタイム		30	溝口 俊一
7/6	東小アプリコットタイム		30	溝口 俊一
7/6	平成29年度長土会研修会	ここまでわかった戌の満水	175	青木 隆幸
7/9	大鹿村人権平和学習会	大鹿村の満洲移民	41	青木 隆幸
7/23	第39回あがたの森考古学ゼミナール	松本平の山城と戦国時代	90	笹本 正治
7/28	平成29年度長野県教職員研修	地域素材の教材化	17	溝口 俊一
7/29	信州環境フェア	戌の満水	35	青木・大竹・天野
7/30	信州環境フェア	戌の満水	45	笹本・青木・大竹
8/2	信濃木崎夏期大学	実像の戦国時代	275	笹本 正治
8/3	平成29年度望月歴史民俗資料館講座	満洲のなかの佐久	57	青木 隆幸
8/4	平成29年度老人大学学窓会	佐久間象山	38	青木 隆幸
8/6	埼玉県社会科教員長期研修 河川の会研修	戌の満水	9	青木 隆幸
8/8	花林山実相寺講演会	夜交氏の歴史	30	畔上 不二男
8/22	日本地すべり学会県民講演会	伝説と土石流災害	200	笹本 正治
8/23	小県医師会学術講演会	再考真田丸	30	笹本 正治
8/29	第68回東筑摩郡村議会議員大会	長野県誕生	65	青木 隆幸
8/31	ながのろじー	水と道が語る中世の駒沢	18	遠藤 公洋
9/9	長野県退職公務員連盟埴科支部総会	長野県誕生	50	福島 正樹
9/9	西高梶の葉セミナー	「蟹工船」を描いた長野県人	13	伊藤 友久
9/10	平成29年度生涯学習講座「第2回やさしい郷土講座」	高山村の歴史	30	畔上 不二男
9/13	松本地域風景の「語り部」育成講座	拾ヶ堰の魅力	50	笹本 正治
9/14	ながのろじー	江戸時代の学び	19	畔上 不二男
9/14	東小アプリコットタイム		30	溝口 俊一
9/16	西高梶の葉セミナー	学校登山	14	市川 厚
9/20	永昌寺「寺来や塾」	シナノから科野へ	33	西山 克己
9/23	松代学講座平成29年度第二期 第4回	戌の満水	105	青木 隆幸
9/24	新潟県立歴史博物館秋季企画展講演会	川中嶋合戦と室町幕府	160	村石 正行
9/25	善光寺信徒会総会講演	善光寺信仰	103	笹本 正治
9/25	長野県短期大学「地域と文化」	縄文土器	80	寺内 隆夫
9/27	湯～ばれあ		30	遠藤 公洋
9/28	東小アプリコットタイム		30	溝口 俊一
9/28	稲荷山おもしろ歴史講座	稲荷山誕生！	30	村石 正行
10/1	進化する縄文土器～越後と信州の顔を持つ中野市千田遺跡・姥ヶ沢遺跡の土器～	秋季企画展関連講座	20	寺内 隆夫
10/2	長野県短期大学「地域と文化」	シナノの古墳文化	75	西山 克己

10/3	木曾町4地区自治協議会交流会	御嶽山と木曾義仲	80	笹本 正治
10/7	平成29年度地域戦略プロフェッショナル・ゼミ	環境変化から新たな産業を考える	25	畔上 不二男
10/10	平成29年度長野県シニア大学佐久学部講座	郷土の歴史と文化ー秋季企画展ー	123	寺内 隆夫
10/10	「歩く・見る・聞く」諏訪を知る歴史講座	信濃国の城と城下町	40	中野 亮一
10/11	湯～ばれあ	長野の弥生文化をリードした若穂の石斧生産	19	町田 勝則
10/12	諏訪地区全中学校社会科職員研修	進化する縄文土器	39	寺内 隆夫
10/12	東小アプリコットタイム		30	溝口 俊一
10/14	永昌寺「寺来や塾」	信濃国の城と城下町	25	中野 亮一
10/16	長野県短期大学「地域と文化」		79	村石 正行
10/22	上田市西部公民館主催講座	中世城館跡から何がわかるか	35	遠藤 公洋
10/22	進化する縄文土器	秋季企画展関連講座	43	寺内 隆夫
10/24	長野県短期大学「地域と文化」	信州の人形浄瑠璃	76	小野 和英
10/28	シンポジウム「中世地下文書研究会」	中世の契約と地下文書の作成	50	村石 正行
10/28	松本市文化財課主催講座	林小城と小笠原氏の祈り	50	遠藤 公洋
10/29	篠ノ井昭和地区文化芸能祭に係わる講演会	善光寺参詣	65	青木 隆幸
10/30	長野県短期大学「地域と文化」		75	市川 厚
11/2	ながのろじー	学校登山	20	市川 厚
11/4	長野県高等学校教育研究会北信地区・地歴公民科研修会	川中島合戦	12	村石 正行
11/4	王滝村公民館まつり	王滝村の魅力	25	笹本 正治
11/4	進化する縄文土器 ～八ヶ岳西麓における華やかな土器への変化～	秋季企画展関連講座	31	寺内 隆夫
11/8	更北地区歴史研修会	川中島合戦	65	村石 正行
11/8	湯～ばれあ	伊能忠敬が歩いた信州	30	小野 和英
11/9	ながのろじー	「蟹工船」を描いた長野県人	20	伊藤 友久
11/10	第63回信州社会科教育研究会 木曾大会講演	木曾の暮らしと宝	245	笹本 正治
11/14	平成29年度信濃教育会全県研究大会	生活を切り開く力	67	笹本 正治
11/14	東急ハーヴェストクラブ号 しなの鉄道沿線歴史案内	長野県遺跡の旅	72	大竹 憲昭
11/16	東小アプリコットタイム		29	溝口 俊一
11/16	縄文土器の研究成果を展示に	関東甲信越静地区埋文担当職員共同研修協議会	106	寺内 隆夫
11/18	龍岡城築城150周年記念式典	佐久の先人 大給恒を語る	183	中野 亮一
11/19	神科まちづくり委員会講演会	景勝は昌幸を裏切ったのか～虚空蔵から伊勢崎までの真田氏と上杉氏	57	遠藤 公洋
11/19	洗馬歴史講演会	三村氏と武田信玄	140	笹本 正治
11/25	やさしい栗佐の歴史講座	シナノから信濃へ	13	西山 克己
11/25	辰野町小野地区講演会	小野宿について	60	笹本 正治
11/29	湯～ばれあ	「蟹工船」を描いた長野県人	28	伊藤 友久
12/3	上田市西部公民館主催講座	中世城郭史	35	遠藤 公洋

12/7	千曲市埴生公民館「すこやか学級」	善光寺参詣	75	青木 隆幸
12/8	佐久地域賛助会「郷土史を学ぶ会」	戦国時代の佐久	100	笹本 正治
12/17	こうふ開府500年記念フォーラム	甲府のはじまり	650	笹本 正治
1/11	朝日村村内4団体懇話会	伊那県	60	青木 隆幸
1/18	川中島公民館高齢者・女性教室	満洲移民	135	青木 隆幸
1/21	上田市西部公民館主催講座	中世城郭史	62	遠藤 公洋
1/26	松代公民館海津大学園	佐久間象山	60	青木 隆幸
2/4	五明区誌編さん講演会	木曾義仲の活躍した時代	86	村石 正行
2/4	佐久広域連合時局講演会	戌の満水	800	青木 隆幸
2/10	平成29年度地域戦略プロフェッショナル・ゼミ	地域課題解決のパイオニア	60	笹本 正治
2/16	喬木村公民館平和学習会	田中芳男	25	青木 隆幸
2/23	更埴社会科教育研究会総会	学有林	25	溝口 俊一
2/25	古文書愛好会総会	善光寺道名所図会	36	青木 隆幸
2/28	長野県経営者協会須高支部新春例会	千曲川通船	20	中野 亮一
3/1	小川村熟年大学	中世の小川をめぐる人びとと文書	80	村石 正行
3/4	関山神社社殿再建200年記念講演会	信州の渡来文化	52	西山 克己
3/9	千曲市桜堂楽友会定期総会	善光寺道	30	青木 隆幸
3/10	塩崎城跡愛護会講演会	大塔合戦など	100	笹本 正治
3/20	東信史学会更埴支部総会	六角宝幢	53	青木 隆幸

#### IV 共催事業

月 日	共催事業	共催団体	参加者数
9月2日	見内博物館連携講座（安曇野市豊科郷土博物館）①	安曇野市教育委員会	74
9月16日	見内博物館連携講座（安曇野市豊科郷土博物館）②	安曇野市教育委員会	62
12月3日	近世史セミナー	信濃史学会、近世史セミナー	131
3月17日	考古学セミナー	長野県考古学会	75
3月18日	県内博物館連携講座（飯田市美術博物館）	飯田市教育委員会	20
5月～2月	古文書愛好会古文書演習演習	古文書愛好会	529

## V 出版

### 1 長野県立歴史館たより

(1) 夏号 vol. 91 表紙 長野県管内信濃国全図  
(1880(明治13)年当館蔵)

平成29年6月8日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：「常設展示室から～新展示のみどころ紹介～」、平成29年度夏季企画展「長野県誕生!」、研究の窓「応急処置された古代鉄刀の保存修復」、行事アルバム「長野県の遺跡発掘2017巡回展・講演会」・「歴史館で子どもの日」、7月～9月の行事予定、表紙の写真の解説

(2) 秋号 vol. 92 表紙 縄文土器 六反田南遺跡(新潟県埋蔵文化財センター蔵)、熊久保遺跡(朝日村歴史民俗資料館蔵)、海道前C遺跡(山梨県立考古博物館蔵)、藤内遺跡(富士見町井戸尻考古館蔵)

平成29年9月1日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：秋季企画展「進化する縄文土器～流れるもようと区画もよう～」、文献史料を読む「没後80年ジャーナリスト木下尚江の自画像」、研究の窓「自由大学運動100周年に向けて」、考古資料を読む「弥生時代の石鎌について」、9～12月の行事予定、行事アルバム

(3) 冬号 vol. 93 表紙「『教草』のうち「澱粉一覽上」(明治7年、博覧会事務局発行、武田昌次誌/服部雪斎画、飯田市美術博物館蔵)

平成29年12月1日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：平成29年度冬季展「田中芳男一

『虫捕御用』の明治維新」、研究の窓「『下駄』が出土する場所」、研究の窓「以仁王の令旨と木曾義仲・覚明」、展示資料紹介「信州の人形浄瑠璃」、行事アルバム「古文書探訪会」・「遺跡探訪会」、12～3月の行事予定

(4) 春号 vol. 94 表紙「小壺と内部から出た炭化した粟粒(長野遺跡群馬町遺跡後町小学校地点、長野市教育委員会蔵)、瓢箪形をした壺形土器(同蔵)、磨製石庖丁(篠ノ井遺跡群高速道地点、当館蔵)、特殊な形の無頸壺(森平遺跡、当館蔵)、漆塗りの縦櫛(松原遺跡高速道地点、当館蔵)

平成30年3月1日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：平成30年度の長野県立歴史館「県民により必要とされる歴史館になっていきます」、秋季企画展「進化する縄文土器～流れるもようと区画もよう～」を振り返って、巡回展「長野県の遺跡発掘2018」紹介、考古資料をよむ「百済から伝えられたカマド構築材 一円筒形土製品一」、文献史料をよむ「明治改元150年『長野県誕生!』と新しい生活」、行事アルバム「秋季企画展関連講座」・「やさしい信濃の歴史講座 in 箕輪」・「安曇野市豊科郷土博物館での展示解説」、3～6月の行事予定

### 2 ブックレット

信濃の風土と歴史24『みち』 平成30年3月31日発行 B5判、80頁(オールカラー)、1,000円で頒布

<内容>

はじめに

序章「のぼり・わたり・ぬける」

信濃の道、切り・穿ち・登り・渡る みち、本書で扱っている道(地図)

### 第1章「うごく・はこぶ」

黒曜石の道、ナイフ形石器の交流、縄文の道、  
稲作へのみち、塩の道・飛騨鱒の道、陶磁器が  
運ばれた道、山を拓いた鉄路

コラム：ヒトの道

### 第2章「いのる・たのしむ」

信濃の峠、旅人をいざなう街道の道標、戸隠信  
仰と道、錦絵に見る中山道、善光寺への道標

コラム：修学旅行のはじまり

### 第3章「くわだてる」

信濃の東山道、古代の地域開発と道、霊場の計  
画道路、長野大通りと地下鉄の開通、権堂通り  
の変化、千曲川通船

コラム：難所・碓氷峠を越えた「信越線」

### 第4章「むすぶ」

国境をまたぐ武田氏の軍用道、野を越え山越え  
まっすぐに、日本四大関所のひとつ、ナショナ  
ルトラスト運動の先駆け、野麦越え

コラム：歴史館前の景観に溶け込んだ高速道路

### 第5章「あるく」

都と田舎をつなぐ、伊能忠敬が歩いた信州、和  
宮と中山道、天狗党の道、明治洋画に描かれた  
「道」

コラム：上杉景勝が陣取った髻山城

主要参考文献、協力者・協力機関、あとがき

## 3 研究紀要

『長野県立歴史館研究紀要』第24号 平成30年3  
月31日発行、A4判、175頁、1,000円

### <内容>

口絵・資料紹介

「大槻家文書」村石正行

箕輪領をめぐる藤澤頼親と小笠原貞慶・木曾  
義昌 村石 正行

学校林が果たした役割の変遷—旧更級・更埴  
地方を中心に—溝口 俊一

『長野県町村誌』に見る諏訪信仰の神社

畔上 不二男

### 新派・新劇の到来と信州

—新聞に見る新派女優川上貞奴の信州来演—

伊藤 友久

長野県立歴史館蔵本『教草（一覧）』の絵画  
30点について

林 誠

長野県近世城郭・城下町研究会の活動につい  
て—県内市町村教育委員会との共同研究—

中野 亮一

長野県立歴史館の学校見学及びその対応

市川 厚

「皇国地誌村誌」に添えられた地図の製作者

—作製年次と地域群を手がかりに—

遠藤 公洋

長野県の磨製石包丁研究に向けて

—磨製石包丁の出現と製作の開始—

町田 勝則

長野県立歴史館所蔵の「明治7年」「明治11  
年」成立の地図群

遠藤 公洋

研究活動・職員執筆抄

## 4 その他

平成29年度催し物案内（前期）（後期）

A4変形判（21.0×52.2 cm）、三つ折カラー

## VI 閲覧・情報提供

### 1 図書等資料

#### (1) 図書資料数

(単位：冊)

区 分	図書	逐次刊行物	図録	小冊子	遺跡報告書	小計
自館制作	2	5	6	4	0	17
購 入	85	241	0	0	0	326
寄 贈	554	623	311	190	695	2,373
平成29年度計	641	869	317	194	695	2,716
累 計	30,292	33,408	6,239	10,488	24,624	105,051

#### (2) 文庫等図書資料数 (単位：冊)

長野県史刊行会	3,080
米山・関川・塚田・ 宝月文庫	14,528
長野県考古学会	5,685
累 計	23,293

#### (3) 公開用雑誌製本

雑誌製本 8件

#### (4) 映像資料

購入DVD 0本、寄贈DVD 0本

寄贈CD-ROM 0本

### 2 情報提供

#### (1) レファレンス

112件

#### (2) ホームページアクセス数

83,979件

## VII 調査研究

### 1 調査研究の体制と内容

#### (1) 趣 旨

歴史館の運営及び事業を行うため、歴史館職員として必要な専門的な知識・技術等の向上を図ることを目的とする。

#### (2) 体 制

学芸部全職員による学芸研究会および原始、古代・中世、近世、近現代の各時代担当者による時代別研究会によって構成する。

#### (3) 内 容

史資料の収集・整理、常設展示・企画展示、本館主催の各種講座等の実施に関わる事項および今後の歴史館の運営及び事業を行うために必要と思われる事項について調査研究を進める。

### 2 学芸研究会

歴史館学芸部職員の職務能力の向上をはかるため、下記のとおり学芸研究会をおこなった。

#### 第1回（4月13日）

- ・私の研学生活

笹本 正治

#### 第2回（6月23日）

- ・平成29年度調査研究計画Ⅰ（報告と討議）

#### 第3回（7月27日）

- ・平成29年度調査研究計画Ⅱ（報告と討議）

#### 第4回（8月18日）

- ・月と山と宝幢とー浄土がたち現れるときー
- ・信濃出土の富本銭・和同開珎と皇朝十二銭

青木 隆幸

西山 克己

#### 第5回（9月26日）

- ・近世陶磁器から流通を考える
- ・『長野県町村誌』から見る諏訪信仰

中野 亮一

畔上 不二男

#### 第6回（10月20日）

- ・黒曜石のみちを考える
- ・近世の娯楽ー下伊那の浄瑠璃を考えるー

大竹 憲昭

小野 和英

#### 第7回（11月22日）

- ・日本人の心に生きる「河童」
- ・魅力ある「歴史館版信州学」の創造に向けて

溝口 俊一

市川 厚

#### 第8回（12月21日）

- ・平安の大災害「屋代ムラ」その日その時、そして復旧・復興への道のりー千曲川中流域の発掘調査からみた八八八年の大洪水とその後
- ・新展示コーナー構想に関わる調査報告 及び経過報告
- 第9回 (1月24日)
- ・川のある風景ー歌川広重「洗馬」をめぐってー
- ・中世城館跡の「類型化」と飯綱町の城館跡
- 第10回 (2月20日)
- ・近世城郭石垣の強度構造と修復の観点
- ・稲作農業にともなう収穫用石器について
- 第11回 (3月9日)
- ・新派・新劇の到来と信州ー新聞に見る新派女優川上貞奴の信州来演ー
- ・県立歴史館の調査研究と常設展示ー開館二五周年を迎えるにあたり
- 第12回 (3月15日)
- ・三村家寄贈資料の整理報告と今後の活用について

寺内 隆夫

山田 直志

林 誠  
遠藤 公洋

白沢 勝彦  
町田 勝則

伊藤 友久

福島 正樹

天野 早苗

### 3 時代別研究会

平成 28 年度 時代別所属者名

	学芸部長	総合情報課	考古史料課	文献史料課
原 始		大竹 憲昭 寺内 隆夫	白沢 勝彦 町田 勝則	
古 代 中 世		市川 厚 溝口 俊一	西山 克己	村石 正行
近 世		小野 和英 畔上 不二男	遠藤 公洋	中野 亮一
近現代	青木隆幸	林 誠 山田 直志		伊藤 友久

時代別研究会の主な業務

- (1) 学芸研究会発表内容の事前報告
- (2) 史資料及び図書資料の調査研究
- (3) 常設展及び企画展の展示資料についての調査研究
- (4) ブックレット原稿の事前検討

## Ⅷ 資料の収集・整理・保存

### 1 資料収集の方針

(平成3年6月建設委員会決定)

#### (1) 資料収集の基本方針

資料収集は歴史館にとって基本的な機能であり、その規模と質が歴史館の機能を左右することにつながっている。したがって、資料収集は長期的計画的に行うとともに、開館にむけて短期的課題として集中的な対応が必要である。

次の諸点に留意し、資料収集に当たるものとする。

##### ① 資料保存体制の整備

歴史館は埋蔵文化財資料と文献史料を収集保存し、調査研究と活用を図る機関である。そのためには、県内の資料保存問題に深く留意するとともに、資料の分布調査、整理、保存、公開等のための措置と体制を長期的計画的に整備する必要がある。

##### ② 既存諸機関との関係

県内市町村の歴史資料館等既存の類似施設や諸機関は、それぞれ歴史的背景をもち、多くの成果をあげている。歴史館はこれらの諸機関を十分尊重し、友誼的関係を結び、相互に協力しつつ資料保存整備に当たることが重要である。

##### ③ 資料所蔵者との関係

資料は、県民の理解を得て寄贈寄託を図ることが望ましい。その際、所蔵者との信頼関係を長期にわたり維持発展させていくことが重要である。なお、商品として市場にある資料などは、必要なものを機を失せず購入することが望ましい。

##### ④ 歴史情報システムの整備

歴史館は、郷土や地域の歴史についての情報の収集、提供を行う。そのため、収蔵資料情報以外にも、県内外資料情報、歴史情報、各種目録等を長期的計画的に収集し、総合的、有機的に利用できるよう、コンピュータ化する必要がある。

#### (2) 資料収集の具体的方針

##### ① 収集資料の種類

###### (a) 保存用資料

埋蔵文化財資料、行政文書、古文書など歴史的に重要であり、保存、収蔵していること自体に意味があるもの。歴史館としての評価はこの部分の規模と質によって決まる。

埋蔵文化財調査及び、県史編纂の過程で収集した資料を中核としながら、寄贈、寄託、購入などによっても収集を図る。

###### (b) 展示用資料

常設展示や企画、巡回、特別展示などに必要な資料

で、歴史館所有保管にならないものも含み、借用、複製、購入などによって収集を図る。

###### (c) 研究用資料

教育普及、情報提供や長野県の歴史、郷土に関する調査研究など、館内または外部研究者、来館者の学習、研究上必要な資料を収集する。

###### (d) 歴史情報資料

諸学会、研究団体、歴史民族資料館などが所有する地域史史料の情報、地域史研究に関わる歴史情報などを収集し、総合的、有機的に利用できるよう、コンピュータによるデータベース化を図る。

##### ② 収集資料の範囲

(a) 歴史館は、考古館及び文書館施設としての性格をもった歴史博物館の施設である。従って収集対象とする資料の時代的範囲は、原始から現代に及ぶものとする。

(b) 収集資料の地域的範囲は、おおむね現在の県域を中心とする。しかし、長野県は東西文化の結節点に位置し、東西交流はもとより太平洋側と日本海側を縦断する南北交通の要衝にあり、本県に関連する重要資料は、全国に存在しているため必要に応じて全国的視野からの収集を考慮する。

(c) 歴史館は、長野県に関する埋蔵文化財資料及び文献史料の収集を主とするが、それ以外にも下記のような展示、調査研究等に活用できるものを中心に可能な限り収集する。

ア 信濃の歴史の変遷や生活風土の諸相を示す資料

イ 美術工芸品で長野県に関係が深く展示テーマに合致する資料

ウ 各時代の生活の特色を示す生活民俗資料

エ 地域史研究に役立つ文献以外の諸資料（地名、地図、伝承、風俗、地割等）

##### ③ 資料収集の方法

(a) 資料は、埋蔵文化財センター、信濃史料刊行会、長野県史刊行会、長野県立図書館などで収集された資料の移管、委譲をはじめ、県民の理解を得て寄贈、寄託が望ましい。そのため、早くから広報活動を行い、必要な資料については、購入、複製収集などに当たる。

(b) 寄贈、寄託、購入などに当たっては必要に応じ専門家の意見を聞くものとし、取扱いについては別途定める。

(c) 本館の活動が、県内市町村の歴史資料館等類似施設の活動に不安を与えることのないように配慮する。資料は、現地保存、現地公開、現地利用を原則とし、贈、寄

託等を受けるに当たっては、所蔵者との交渉のみならず市町村の了解を得ることが望ましい。これらの諸機関との友誼的關係にたつて収集に当たる。特に歴史的価値が高いもので、

ア 市町村において保存、整理、公開の対応ができないもの

イ 資料散逸の危機性が高く、早急な対応が必要なものについては優先的に対応する。

(d) 資料収集は、県内の所在資料について詳細な調査を進めるとともに、県外所在資料についても順次調査を行う中で系統的長期的に行う。資料の選択と評価にあたっては、個人的、時代的な価値判断に陥らないよう、十分留意するものとする。

(e) 県内における文献史料の所在、分布調査等を行うため、資料調査員制度を設ける。

(f) 歴史的に重要な行政文書等の収集・保存を組織的系統的に行う。

(5) 修復

田中平八資料雑道具 1件

3 考古資料

(1) 収集

平成 29 年度、長野県埋蔵文化財センターから移管された資料はなかった。

(2) 保存

収蔵庫内の資料の点検、要修理遺物の抽出をした。

(3) 整理状況

長野県教育委員会および長野県埋蔵文化財センターから移管された遺物・写真・調査資料等の整理。

2 展示資料

(1) 収集資料数

区分	製作・購入	移管	寄贈	寄託	計
平成28年	0	0	7	0	7

(2) 収集資料の内訳

なし

(3) 寄贈

品名	員数	寄贈者	時代	備考
山ノ内町立北小学校資料	1式	山ノ内町教育委員会	近現代	
軍刀	1振	内藤梯三		
足踏みミシン	1台	飯島みよ子	近現代	
煙火資料	1式	畔上宗郎	近現代	
白鳥義教第一次大戦従軍日記	1式	白鳥嘉文	近現代	
五竜遠見尾根雪崩裁判関係資料	1式	酒井三重	近現代	
杉山輯吉関係資料	1式	杉山美保子	近現代	

(4) 寄託

なし

## (4) 保存処理・修復・科学分析

## ・保存処理・科学分析

館蔵脆弱資料のうち劣化が深刻な資料に対して、集中的な保存処理を継続実施。

当館の設備を用いて、当県の歴史の研究のために必要とされる科学分析を実施した。

長野県埋蔵文化財センター並びに市町村教育委

員会へ必要な技術協力を行なった。

## ・その他

市町村埋蔵文化財担当者および博物館施設職員等を対象とした、保存処理講習会「出土遺物のクリーニングと応急処置」を11月21日に開催し、23名の参加があった。

項目	内容		件名・資料名	処理点数	状況	所管	
木器	保存処理	大型木器等 PEG処理槽一括処理	PEG法※1	第29シリーズ (B槽) (社宮司遺跡他)	235	完了	当館
				第33シリーズ (B槽) (東條遺跡他)	519	投入	当館
				第32シリーズ (C槽) (春山B遺跡他)	253	継続	当館
				第31シリーズ (A槽) (東條遺跡他)	100	完了	当館
				第31シリーズ (A槽) (東條遺跡他)	106	継続	当館
	小型木器	FD法※2 (FD処理待ち含む)	東條遺跡木簡、屋代脆弱 (D槽)	285	完了	当館	
			屋代脆弱 (D槽)	110	継続	当館	
	継続合計				988		
	完了合計				620		
		PEG処理後写真 記録整理	第29シリーズ (B槽) 第31シリーズ (A槽) 及びD槽 (屋代脆弱)	620	完了	当館	
	修復		0	完了	当館		
金属器	保存処理・修復		館蔵金属製品の再処理 (大室古墳群他)	62	完了	当館	
			館蔵金属製品の再処理 (三の宮・吉田川西遺跡他)	53	完了		
			長野市浅川扇状地遺跡群 (桐原地区)	93	完了	長野県埋蔵文化財センター	
			長野市塩崎遺跡群	41	完了		
科学分析	赤外線観察		長野市松代町県宝林正寺 本堂柱、表門の板材の墨書	2	完了	長野県教育委員会	
			上田市内遺跡 墨書土器	5	完了	上田市国分寺資料館	
			鶴牧田お堂 俳額	3	完了	小川村教育委員会	
			飯綱町 三社権現石祠木札墨書	2	完了	飯綱町教育委員会	
	X線透過撮影観察		朝日村山鳥場遺跡縄文土器 種実痕分散状況	14	完了	長野県埋蔵文化財センター	
			須坂市小河原遺跡 銅銭	24	完了	須坂市生涯学習スポーツ課	
			安曇野市穂高古墳鉄刀附属品	5	完了	安曇野市豊科郷土博物館	
			高森町中谷遺跡 鉄製品	5	完了	高森町教育委員会	
			長野市県町・新諏訪・三輪	23	完了	長野市埋蔵文化財センター	
			古山城址出土 「小川左衛門遺産の大刀」	1	完了	小川村教育委員会	
	合計				84		
保存処理・観察・修復・環境管理等問合せ				23件		15 県市町村	

※1 ポリエチレングリコールの2段階処理を実施したもの（最終的にポリエチレングリコールを100%まで浸漬）。

※2 真空凍結乾燥法で保存処理したもの。

## 4 文献史料

### (1) 行政文書

#### ①選別・収集

##### ア 行政簿冊 279 書目

一昨年度より着手した歴史公文書移管の再構築作業は、今年度もその主体である長野県教育委員会文化財・生涯学習課とともに進められた。公文書移管の現状分析、選別方法の問題点抽出、その解決方向について、検討がすすめられている。この作業に伴い、公文書移管が一時期滞っていたが、今年度は手続きに従い進められた。

平成 27 年度をもって不用決定された本庁及び現地機関文書 1,157 件（目録上）のうち歴史資料として保存すべきもの 166 件が選別・移管された。また、平成 28 年度をもって不用決定された本庁及び現地機関文書 6,936 件（目録上）のうち歴史資料として保存すべきもの 113 書目が選別・移管された。

さらに、今年度（平成 29 年度）末をもって不用決定される行政文書について、昨年からは試行している教育委員会事務局での現物確認による事前協議を引き続き実施した。また、新たに現地機関での事前協議も諏訪において初めて実施した。

また、年度別配下スペースをどの位とるか読めない等の問題が指摘されていた収集文書の目録作成、請求番号の付与について見直しを行った。その結果「請求番号＝受入年度＋通し番号」とする方法を今年度から適用することとなり、平成 27 年度分は「2015-No.」、平成 29 年度分は「2016-No.」とした。このことにより年度別収蔵冊数が一目でわかることや、配架スペースを有効に使えるなど多くの利点が生じた。今後の課題としては、これまで年度別に配架していた文書を詰めて移動させる必要がある。多数の人員が必要となるため、館全体の協力を得るなど計画的に進めていきたい。

##### イ 県報 130 件（平成 29 年 1 月～12 月 製本）

##### ウ 行政資料 985 冊（長野県の行政刊行物、議会資料等）

#### ②整理・保存・公開

##### ア くん蒸 10 回 段ボール箱換算 207 箱分（行政文書、行政資料、古文書、展示資料、 県立長野図書館・長野県短期大学図書館依頼分など）

##### イ 行政文書の公開非公開判定 804 冊（一次・見直し一次）

##### ウ 行政文書の件名仮目録作成 242 冊（上記イに伴い目録変更するもの）

##### エ 県報製本（業者委託） 4分冊×2セット（平成 29 年 1 月～12 月）

##### オ 県史収集史料フィルムの洗浄・複製 486 本（小県郡（継続））

##### カ 資料補修（業者委託） 本年度は古文書（武田勝頼朱印状）を補修した。

##### キ 装備（金属除去、箱作り・補修、ラベル貼り等）3,473 件

##### ク 行政資料の確認・照合 985 冊

##### ケ 県報の確認 130 冊

##### サ 資料の公開 行政資料（議会資料を含む） 985 冊

## (2) 古文書

## ① 収 集

文 書 名	内 容
寄贈	
埴科郡森村中澤家文書 水内郡古山村名主戸谷家文書 小林光昭収集資料 豊岳信昭氏寄贈冢田大峯関係資料 伊那郡飯島村飯島家資料 更級郡山布施村塩入家文書 棚谷與一関係資料 白鳥義教第一次大戦日記 五竜遠見尾根雪崩裁判関係資料 杉山輯吉関係資料	森村名主関係・文芸関係史料 年貢関係文書・松代藩支配関係文書 埴科郡小島村文書・戸長役場文書 冢田大峯著作関係 系図・書簡・伊那県文書・支配文書 名主関係文書・信里村役場文書・地券 土木技師の設計図面ほか 白鳥氏の従軍日記 裁判記録類 長野紀行・長野県赴任日記
寄託	
上條信彦氏収集資料 善光寺地震被害状況一覧	県内関係地方文書 10 箱（追加分） 善光寺地震について記した卷子
購入	
切支丹高札 きそのぐはんしょ（木曾願書） 信濃国高島藩職掌資料 高島藩分限帳 信州上水内郡北小川村文書 諏訪藩医師関玄悦史料 佐久郡上平尾村文書 下諏訪町奈良屋伝票 犀川橋設計図面 武田晴信朱印状（晴信角印） 鬼無里村市野瀬村文書	明治4年3月・筑摩県発布高札 奈良絵巻 天保期桜田門番役職掌など7冊 諏訪藩の幕末期の家臣団名簿3冊 戸谷家関係文書 諏訪藩医師に関わる家乗など10点 大工職川村儀作家に関わる文書 下諏訪町増沢家関係文書類 昭和7年の長野県土木課設計図面 天文24年川中島合戦における蘆川氏への感状1幅 西山地域のまとまった文書

## ② 整 理

文 書 名	点 数 (点)
筑摩郡犬飼家文書	*4066
佐久郡上平尾村森泉家文書	*547
大積定法帳（上條信彦氏収集史料）	1
諏訪因幡守宿札（上條信彦氏収集史料）	1
小林光昭氏収集資料	34
信濃国藩政関係史料	10
伊那郡上片桐村戸長森下家文書	39
伊那郡河野村松村家文書	42

伊那郡松尾村役場文書（上條信彦氏収集文書）	2 6
伊那郡南山村文書（上條信彦氏収集文書）	1 5 5
座光寺伊奈介消息（上條信彦氏収集文書）	1
伊那郡上片桐村文書（上條信彦氏収集文書）	2 6
県立飯田中学校池田常吉資料（上條信彦氏収集文書）	2 4
伊那郡大久保村文書（上條信彦氏収集文書）	1 5 4
伊那郡本郷村米山家文書（上條信彦氏収集文書）	9 0
芦田宿本陣土屋家文書（C番台）	1 7 3 5
芦田宿本陣土屋家文書（L番台）	8 9 2
佐久郡大日向村浅川家文書	9 2
佐久郡切原村・湯原村文書（上條信彦氏収集文書）	1 9 5
南佐久郡野沢村野澤区有文書（上條信彦氏収集文書）	3 3 6
佐久郡南相木村文書（上條信彦氏収集文書）	1 6
佐久郡長三郎新田村文書（上條信彦氏収集文書）	6
佐久郡上平尾村文書	* 5 0
下諏訪宿奈良屋文書（増沢家文書）	5 5 3
諏訪郡中洲村岩波家文書（上條信彦氏収集史料）	5 6
下諏訪宿友之町文書（上條信彦氏収集史料）	1 1 2
下諏訪町武居家文書（上條信彦氏収集史料）	8
諏訪郡永明村上原家文書（上條信彦氏収集史料）	1 5
高島藩医関家文書	1 0
伊那郡三日町村鳥山家資料	1 6 0 4
筑摩郡潮沢村伊藤家文書	3 6 0
市野川村若林平左衛門家文書（上條信彦氏収集文書）	9
筑摩郡山本村関係文書（上條信彦氏収集文書）	1 6
筑摩郡瀬黒村文書（上條信彦氏収集文書）	1 2
筑摩郡田立村文書（上條信彦氏収集文書）	8
波多村波多腰義命収集資料（上條信彦氏収集文書）	3
東筑摩郡中川村文書（上條信彦氏収集文書）	7 2
筑摩郡上生坂村文書（上條信彦氏収集文書）	3 7
安曇郡曾根原村文書（上條信彦氏収集文書）	7
筑摩郡古見村文書（上條信彦氏収集文書）	1 6
安曇郡大塩村文書（上條信彦氏収集文書）	9
安曇郡上大妻村文書（上條信彦氏収集文書）	1 7
菓子釜商人出入御裁許之事（上條信彦氏収集文書）	1
東筑摩郡朝日村高橋家文書	1 6 1 8
犀川橋設計図面	2 9
松平丹波守書状（上條信彦氏収集文書）	2
御嶽講関係資料（上條信彦氏収集文書）	4
更級郡網掛村文書（上條信彦氏収集文書）	5
更級郡本鹿谷村文書（上條信彦氏収集文書）	8

更級郡上小島田村文書（上條信彦氏収集文書）	493
水内郡長井村上組文書（上條信彦氏収集文書）	16
水内郡水内村文書（上條信彦氏収集文書）	30
水内郡北長池村文書（上條信彦氏収集文書）	2
豊岳信昭氏寄贈冢田大峯関係資料	31
佐久郡上平尾村大工川村家文書	240

③ 公開（web上公開分も含む）

文 書 名	点 数 (点)
0-19-1 大積定法帳（上條信彦氏収集史料）	1
0-19-2 諏訪因幡守宿札（上條信彦氏収集史料）	1
0-20 小林光昭氏収集資料	34
0-21 信濃国藩政関係史料	10
4-30 上片桐村森下家文書（上條信彦氏収集文書）	39
4-29 伊那郡河野村松村家文書（上條信彦氏収集文書）	42
4-31 伊那郡松尾村役場文書（上條信彦氏収集文書）	26
4-32 伊那郡南山村文書（上條信彦氏収集文書）	155
4-33 座光寺伊奈介消息（上條信彦氏収集文書）	1
4-34 伊那郡上片桐村文書（上條信彦氏収集文書）	26
4-35 飯田中学校池田常吉資料（上條信彦氏収集文書）	24
4-36 伊那郡大久保村文書（上條信彦氏収集文書）	154
4-38 伊那郡本郷村米山家文書（上條信彦氏収集文書）	90
2-11 芦田宿本陣土屋家文書（C番台）	1735
芦田宿本陣土屋家文書（L番台）	892
2-23 佐久郡大日向村浅川家文書	1012
2-24 佐久郡切原・湯原村文書（上條信彦氏収集文書）	195
2-26 野沢村野澤区有文書（上條信彦氏収集文書）	336
2-27 佐久郡南相木村文書（上條信彦氏収集文書）	16
2-28 佐久郡長三郎新田村文書（上條信彦氏収集文書）	6
2-29 佐久郡上平尾村大工川村家文書	240
3-18 下諏訪宿奈良屋文書（増沢家文書）	553
3-19 諏訪郡中洲村岩波家文書（上條信彦氏収集史料）	56
3-20 下諏訪宿友之町文書（上條信彦氏収集史料）	112
3-21 下諏訪町武居家文書（上條信彦氏収集史料）	8
3-22 諏訪郡永明村上原家文書（上條信彦氏収集史料）	15
3-23 高島藩医関家文書	10
4-28 伊那郡三日町村鳥山家資料	1604
5-39 筑摩郡潮沢村伊藤家文書	360
5-41 市野川若林平左衛門文書（上條信彦氏収集文書）	9
5-42 筑摩郡山本村関係文書（上條信彦氏収集文書）	16

5-43 筑摩郡瀬黒村文書（上條信彦氏収集文書）	1 2
5-44 筑摩郡田立村文書（上條信彦氏収集文書）	8
5-45 波多腰義命収集資料（上條信彦氏収集文書）	3
5-46 東筑摩郡中川村文書（上條信彦氏収集文書）	7 2
5-47 筑摩郡上生坂村文書（上條信彦氏収集文書）	3 7
5-48 安曇郡曾根原村文書（上條信彦氏収集文書）	7
5-49 筑摩郡古見村文書（上條信彦氏収集文書）	1 6
5-50 安曇郡大塩村文書（上條信彦氏収集文書）	9
5-51 安曇郡上大妻村文書（上條信彦氏収集文書）	1 7
5-52 菓子商人出入御裁許之事（上條信彦氏収集文書）	1
5-53 東筑摩郡朝日村高橋家文書	1 6 1 8
5-54 犀川橋設計図面	2 9
5-55 松平丹波守書状（上條信彦氏収集文書）	2
6-2 御嶽講関係資料（上條信彦氏収集文書）	4
7-40 更級郡網掛村文書（上條信彦氏収集文書）	5
7-41 更級郡本鹿谷村文書（上條信彦氏収集文書）	8
7-42 更級郡上小島田村文書（上條信彦氏収集文書）	4 9 3
9-30 水内郡長井村上組文書（上條信彦氏収集文書）	1 6
9-31 水内郡水内村文書（上條信彦氏収集文書）	3 0
9-32 水内郡北長池村文書（上條信彦氏収集文書）	2
9-33 豊岳信昭氏寄贈冢田大峯関係資料	3 1

④ 収蔵文書目録 17 の刊行

文書番号	収録文書名
5-36・39	筑摩郡潮沢村隠岐家文書・伊藤家文書

## 区 広 報

### 1 広告・案内

当館の紹介や企画展示・関連行事・講座等で実施した主な広報は以下の通りである。下記以外に千曲市内へのチラシ回覧、千曲市内および長野市内の学校や諸機関等への手配りチラシ広報を実施している。また、各報道機関への案内・当館及び県博協、日博協などのホームページの情報更新も適宜行っている。

月	掲載・掲示	内 容	規 格	備 考
4月	読売新聞 ケーブルネット千曲ガイド 毎日新聞 八十二文化財団機関誌 県教委メールマガジン 信濃毎日新聞（東信） 朝日新聞 博物館研究 信濃毎日新聞	長野県の遺跡発掘 2017 長野県の遺跡発掘 2017 長野県の遺跡発掘 2017 4～6月の予定 5月の行事予定 講演会 小海町町史談会講演会 「屋代ムラ」 寺内隆夫 長野県の遺跡発掘 2017 5月の行事予定 歴史館でこどもの日	新聞 チラシ 新聞 機関誌 メールマガジン 新聞 新聞広告 日博協機関誌 新聞	有料広告 週刊ガイド
5月	ケーブルネット千曲ガイド 信濃毎日新聞 県教委メールマガジン 信濃毎日新聞 博物館研究	長野県の遺跡発掘 2017 上郷史学会「もう一つの明治維新 伊那県商社事件を題材に」 6月の行事予定 望月歴史民俗資料館講座 小野和英 「伊能忠敬の測量と望月」 6月の行事予定	チラシ 新聞 メールマガジン 新聞 日博協機関誌	週間ガイド 週間ガイド
6月	ケーブルネット千曲ガイド 八十二文化財団機関誌 信濃毎日新聞 県教委メールマガジン 信濃毎日新聞 長野県プレスリリース 博物館研究 別冊旅の手帳 信州	歴史館ふるさと講座 6月～8月の行事予定 浅間山、天仁元年（1108）の大噴火 7月の行事予定 1847年善光寺地震を再考する 歴史学の立場から 夏季企画展「長野県誕生！」 オープニングセレモニー開催 7月の行事予定 北信濃エリアの注目スポット 長野県立歴史館	チラシ 機関誌 新聞 メールマガジン 新聞 プレスリリース 日博協機関誌 冊子	週間ガイド 週間ガイド
7月	ケーブルネット千曲ガイド FM ぜんこうじスポット CM 信濃毎日新聞 高校野球選手権長野大会 県教委メールマガジン 博物館研究 読売新聞	夏季企画展「長野県誕生！」 夏季企画展「長野県誕生！」 夏季企画展「長野県誕生！」 夏季企画展「長野県誕生！」 8月の行事予定 8月の行事予定 長野県の遺跡発掘 2017 伊那文化会館	チラシ ラジオ放送 新聞 冊子 メールマガジン 日博協機関誌 新聞新聞	～7/12、有料広告 週間ガイド 有料広告 イベントガイド

8月	ケーブルネット千曲ガイド 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 八十二文化財団機関誌 県教委メールマガジン 博物館研究	夏季企画展「長野県誕生！」 歴史館で夏休み 夏季企画展関連講座 8～10月の行事予定 9月の行事予定 9月の行事予定	チラシ 新聞 新聞 機関誌 メールマガジン 日博協機関誌	週間ガイド 週間ガイド
9月	ケーブルネット千曲ガイド 週刊長野 毎日新聞 FMぜんこうじスポットCM 信濃毎日新聞 読売新聞 県教委メールマガジン 博物館研究 毎日新聞 朝日新聞	秋季企画展 進化する縄文土器 県立歴史館企画考古学講座「遺跡探訪会」 長野県立歴史館 進化する縄文土器～流れる文様と区画文様～ 秋季企画展 進化する縄文土器 秋季企画展 進化する縄文土器 秋季企画展 進化する縄文土器 10月の行事予定 10月の行事予定 秋季企画展 進化する縄文土器 秋季企画展 進化する縄文土器	チラシ 冊子 新聞 ラジオ放送 新聞 新聞 メールマガジン 日博協機関誌 新聞 新聞	博物館ガイド 有料広告 週間ガイド 博物館情報 博物館ガイド 有料広告
10月	ケーブルネット千曲ガイド 信濃毎日新聞 読売新聞 八十二文化財団機関誌 信濃毎日新聞 県教委メールマガジン 信濃毎日新聞 長野県プレスリリース 博物館研究 読売新聞	秋季企画展 進化する縄文土器 上田・東御・小県地域史連絡協議会講演会 秋季企画展 進化する縄文土器 10～12月の行事予定 文化財を守るために今できること 11月の行事予定 パプア・ニューギニアの土器づくりと縄文土器 信州で学ぼう 国立民族学博物館×長野県立歴史館 11月の行事予定 進化する縄文土器～八ヶ岳西麓における華やかな土器への変化～	チラシ 新聞 新聞 機関誌 新聞 メールマガジン 新聞 プレスリリース 日博協機関誌 新聞	館長 博物館情報 週間ガイド 週間ガイド
11月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 長野市民新聞 毎日新聞 信濃毎日新聞 毎日新聞 信濃毎日新聞 県教委メールマガジン 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 博物館研究 毎日新聞 信濃毎日新聞	県立歴史館巡回展 長野県の遺跡発掘 国立民俗学博物館信州出前出張講座 文化財保護講演会 秋季企画展 進化する縄文土器 黒曜石が語る信州の石器時代 秋季企画展 進化する縄文土器 古代銭貨の使われ方 12月の行事予定 県立歴史館イベント 縄文風リース・ゾートロープ作り やさしい信濃の歴史講座 蓑輪 12月の行事予定 田中芳男「虫捕御用」の明治維新 近世史セミナー	新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 メールマガジン 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞	週間ガイド 週間ガイド 博物館ガイド 週間ガイド 博物館ガイド 週間ガイド 週間ガイド 週間ガイド 博物館ガイド 週間ガイド

12月	毎日新聞 ケーブルネット千曲ガイド 八十二文化財団 機関誌 長野県プレスリリース 長野県プレスリリース 信濃毎日新聞 読売新聞 県教委メールマガジン 信濃毎日新聞 博物館研究 信濃毎日新聞	やさしい信濃の歴史講座 冬季展・やさしい信濃の歴史講座 12～2月の行事予定 歴史館パートナーの日 冬季展 田中芳男「虫捕御用」の明治維新 冬季展田中芳男「虫捕御用」の明治維新 冬季展田中芳男「虫捕御用」の明治維新 1月の行事予定 川と信州のあゆみ 1月の行事予定 川と信州のあゆみ	新聞 チラシ 機関誌 プレスリリース プレスリリース 新聞 新聞 メールマガジン 新聞 日博協機関誌 新聞	週間ガイド 博物館情報 週間ガイド 週間ガイド
1月	ケーブルネット千曲ガイド 信濃毎日新聞 中日新聞 中日新聞 県教委メールマガジン 毎日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 博物館研究	冬季展・やさしい信濃の歴史講座 川と信州のあゆみ 冬季展田中芳男「虫捕御用」の明治維新 冬季展田中芳男「虫捕御用」の明治維新 2月の行事予定 冬季展田中芳男「虫捕御用」の明治維新 冬季展田中芳男「虫捕御用」の明治維新 「シナノから科野へクニづくりの中の諏方」 2月の行事予定	チラシ 新聞 新聞 新聞 メールマガジン 新聞 新聞 新聞 日博協機関誌	週間ガイド 有料広告 有料広告 博物館ガイド 有料広告 週間ガイド
2月	長野市民新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 ケーブルネット千曲ガイド 信濃毎日新聞 八十二文化財団機関誌 信濃毎日新聞 読売新聞 県教委メールマガジン 信濃毎日新聞 長野県プレスリリース 博物館研究	稲荷山蔵の会 地域づくり文化講演会 佐久広域連合 時局講演会 県立歴史館の講座 やさしい信濃の歴史講座 「田中芳男『虫捕御用』の明治維新」 2～4月の行事予定 やさしい信濃の歴史講座 冬季展田中芳男「虫捕御用」の明治維新 3月の行事予定 やさしい信濃の歴史講座 「武田信玄感状」公開 3月の行事予定	新聞 新聞 新聞 新聞 チラシ 新聞 機関誌 新聞 新聞 メールマガジン 新聞 プレスリリース 日博協機関誌	週間ガイド 週間ガイド 週間ガイド 週間ガイド 週間ガイド 博物館情報 信州のガイド
3月	毎日新聞 信濃毎日新聞 ケーブルネット千曲ガイド 長野県版 道の駅春号 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 長野県プレスリリース 長野新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	川中島合戦に新資料 講演会「博物館で守るとのこと」 新潟県立歴史博物館 巡回展「長野県の遺跡発掘2018」 巡回展「長野県の遺跡発掘2018」 「日常生活からひもとく信州」 やさしい信濃の歴史講座 巡回展「長野県の遺跡発掘2018」 CATV 番組広告「やさしい信濃の歴史講座」 飯田美博連携講座 日本人の心に生きる河童 考古学セミナー	新聞 テレビ欄 新聞 チラシ 冊子 新聞 新聞 プレスリリース 新聞 新聞	週間ガイド 有料広告 信毎出版部広告、 以降随時掲載 週間ガイド 週間ガイド

読売新聞	飯田美博連携講座 日本人の心に生きる河童	新聞	週間ガイド
信濃毎日新聞	巡回展「長野県の遺跡発掘2018」	新聞	イベントガイド
県教委メールマガジン	4月の行事予定	メールマガジン	有料広告ド
長野県プレスリリース	「日常生活からひもとく信州」刊行	プレスリリース	
博物館研究	4月の行事予定	日博物協機関誌	

## 2 記事・報道

当館に関する主な記事・番組等は以下のとおりである。ケーブルテレビ局と有線放送局作成番組については、提携各局において随時放送されている。テレビ・ラジオ局によるニュース報道については含まれていない。

月	掲載・掲示	タイトル	規格	備考
4月	信濃毎日新聞	代表的な所蔵品冊子で紹介 ミュージアムガイド	記事	長野県博物館協議会
	屋代有線放送	今年度の講座の案内	有線放送	
	信州CATV	信濃国の城と城下町講座	CATV	
	信濃毎日新聞	若者も古文書を 県立歴史館8月講座	記事	ティーンズ古文書講座関連
	東信ジャーナル	千曲の県立歴史館で「遺跡発掘」展	記事	巡回展関連
	信濃毎日新聞	象嵌装大刀 副葬品古墳からの出土	コラム	巡回展関連
	信州CATV	信濃国の城と城下町講座	CATV	
	信濃毎日新聞	縄文時代の黒曜石鋸山 「星糞」求めた思い痕跡	コラム	巡回展関連
	信濃毎日新聞	「1番のかん」県立歴史館長が批判の投稿	記事	
	信州CATV	信濃国の城と城下町講座	CATV	
信濃毎日新聞	豊丘村の須恵器三足短頸壺 伴野郷の中心人物関係か	コラム	巡回展関連	
信州CATV	信濃国の城と城下町講座	CATV		
5月	信濃毎日新聞	児童の熱意古道学習の道 (末館小学校の記事)	記事	
	信濃毎日新聞	資源保護区つた屋代財産区 「共有山」地域発展に貢献	コラム	
	屋代有線放送	イベント・講座の案内	有線放送	
	中日新聞	古代官道の跡 通貨は語る	記事	
	長野市民新聞	歴史館の史料読み古文書整理 愛好会が会員募集	記事	
	信濃毎日新聞	原産地と消費地の遺跡 黒曜石の流通見える	コラム	考古学講座関連
	南信州新聞	もう一つの明治維新とは 上郷史学会で青木さん講演	記事	
	信濃毎日新聞	飯山 小菅の里 水への畏れと祈り	コラム	ブックレット「川」関連
	週刊長野	歴史上の災害学ぶ 県立歴史館が連続講座	記事	歴史館ふるさと講座関連
	信濃毎日新聞	赤牛伝説と「牛伏寺」水害防いで民衆の願い	コラム	連続講座関係
信州CATV	歴史館ふるさと講座	CATV		
6月	信濃毎日新聞	「和同開珎」長野の発見から分かること	記事	
	信濃毎日新聞	仏塔「六角宝幢」の複製展示	記事	
	信濃毎日新聞	信州大災害の歴史 対処を学び伝える責務	コラム	連続講座関係
	屋代有線放送	長野県の遺跡発掘2017解説	有線放送	
	NISA news vol. 91	信濃国における中馬について～街道・流通を手がかりに～	冊子	
	信濃毎日新聞	浅間山「天仁の大噴火」作の大地に深い爪痕	コラム	連続講座関係
	信濃毎日新聞	1847年の善光寺地震 民が仕切った被災復旧	コラム	連続講座関係
	毎日新聞	信州 歴史探訪 信玄非情の志賀城攻め (佐久市)	記事	
	信濃毎日新聞	史料にみる「戌の満水」台風被害教訓伝え	コラム	連続講座関係
	信州CATV	歴史館ふるさと講座	CATV	

7月	信濃毎日新聞 屋代有線放送 FM ぜんこうじ 週刊長野 信濃毎日新聞 毎日新聞 岡谷市民新聞 長野市民新聞 週刊長野 テレビ東京 信濃毎日新聞 (夕刊) 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	NAGANO と信州 信濃国から長野県へ 夏季企画展「長野県誕生」見どころ 夏季企画展「長野県誕生」 長野県はどうできたか 経緯を行政文書で紹介 8日から 残された公文書・古文書 長野県誕生 歴史伝える 「信濃国」から「長野県」へ 千曲歴史館 県立歴史館(千曲市) 長野県誕生! 長野県の成立を紹介 県立歴史館で夏季企画展 10代向け 古文書講座 8月に県立歴史館 皇室の窓〜両陛下のプライベート旅行〜 ナウマンノウの修復 古文書を読む講座 生の文書で感じる歴史 浴岩の断崖 須坂の米子瀑布群 明治元年に誕生した伊那県 長野県への最初の一步	コラム 有線放送 ラジオ放送 記事 コラム 記事 記事 記事 記事 記事 テレビ放送 記事 コラム 記事 コラム	夏季企画展関連 夏季企画展関連 夏季企画展関連 夏季企画展関連 夏季企画展関連 夏季企画展関連 夏季企画展関連 夏季企画展関連 ティーンズ古文書講座関連 ティーンズ古文書講座関連 夏季企画展関連
8月	信濃毎日新聞 読売新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送 信濃毎日新聞 中日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	満蒙開拓と人権考える企画展示 千曲県人権啓発センター 日本史を歩く 森將軍塚古墳 地形に沿い後円部ゆかむ 地元の発掘調査成果記事で理解 江戸時代松本に水道驚き 石のアクセサリ 磨除けやシンボル イベント・講座情報 幕末世直し願いと伊那県 賈金回収民衆のため 安曇野の成り立ち 古墳から 縄文人の服着たよ 伊那文字どもだより 縄文土器を間近に興味津々県伊那文化会館「こどもまつり」 学校登山の起源と発展 師範学校から県内各地へ 県立歴史館が新たな史料希望者に公開 伊那谷の人形文化 西日本から伝わった伝統	記事 記事 記事 コラム 有線放送 コラム 記事 記事 記事 コラム 記事 コラム	常設展示室関係 夏季企画展関連 常設展示室関係
9月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 週刊長野 FM ぜんこうじ 週刊長野 信濃毎日新聞 読売新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 新潟日報	飯田線全通 80 周年 三信鉄道と歩んだ先人 井上井月を顕彰する「まつり」 シンポジウムに 170 人参加 「乞食井月」の意味や背景解説 昭和初期の観光パンフレット 鳥瞰図に描かれた企業戦略 秋季企画展「進化する縄文土器」見どころ 文化財危機管理見直しを 火災受け充実求める声 巨大化・精巧…「進化する縄文土器」 縄文土器の進化紹介 重文も 19 点を展示 秋季企画展「進化する縄文土器」 縄文土器の進化紹介 重文も 20 点を展示 秩父事件と佐久地方 盛んだった関東との交流 ようこそ研究室へ 中世庶民の土地契約探る 焼け残った文化財「救出」 県内市町村教委の職員ら 縄文中期中葉土器の模様 流れると区画が二分 光受け展示説明観光で活用実験 講演会で納得川中島の戦い 県立歴史博物館	記事 記事 記事 コラム 有線放送 記事 コラム 記事 ラジオ放送 記事 コラム 記事 記事 記事 記事 記事	常設展示室関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連 ピーコン関連

10月	市民タイムス 屋代有線放送 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 NHK長野	縄文人の生き方映す土器 図録兼書籍県立歴史館刊行 秋季企画展「進化する縄文土器」解説 木曾義仲が主題の絵巻 平家物語の重要場面 県内出土の磨製石包丁 ルーツは朝鮮半島北西部か 学芸員派遣し出前講座 県立歴史館塩尻と原村に 文化財保護考えよう 千曲であす講演会 精霊描いた縄文土器 信州などが主な製作地 県立歴史館で民博・吉田館長講演 秋季企画展「進化する縄文土器」	記事 有線放送 コラム コラム 記事 記事 コラム 記事 テレビ放送	秋季企画展関連 秋季企画展関連 木曾の願書公開 考古学講座関連  秋季企画展関連 おでかけ案内人
11月	NHK長野 信濃毎日新聞 週間長野 屋代有線放送 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送 中日新聞 週刊長野 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	秋季企画展「進化する縄文土器」 森將軍塚古墳の被葬者 偉大で慕われた人物か 国立民族博物館が講座 5日県立歴史館で やさしい信濃の歴史講座 公文書で見る旧知事公舎 緻密な計画の下に建築 呪い銭や流通貨幣の役割 富本銭と和同開珎 富本銭と和同開珎 呪い銭や流通貨幣の役割 秋季企画展「進化する縄文土器」解説 文化財防災 過疎対策と一体 「川と信州のあゆみ」 12月9日から歴史講座 地域の歴史 箕輪で学ぶ 県立歴史館が出前講座 地名や伝承から防災学ぶ 県立歴史館長が講演 江戸時代の足軽たち 世襲もいよいよ非正規も	テレビ放送 コラム 記事 有線放送 コラム コラム コラム 有線放送 記事 記事 記事 記事 コラム	イブニング信州内 將軍塚まつり関連  やさしい信濃の歴史講座関連  考古学講座関連 考古学講座関連 秋季企画展関連  やさしい信濃の歴史講座関連 やさしい信濃の歴史講座関連 近世史セミナー関連
12月	南信州新聞 南信州新聞 南信州新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 南信州新聞 屋代有線放送 南信州新聞 信濃毎日新聞 南信州新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 週刊長野 読売新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信州CATV	田中芳男にスポット 16日から県立歴史館で冬季展 「田中芳男ー「虫捕御用」の明治維新」1 青木隆幸 「田中芳男ー「虫捕御用」の明治維新」2 青木隆幸 少雨の塩田や御牧ヶ原 ため池造り農業に利用 「パートナーの日」16日はKOAと 「田中芳男ー「虫捕御用」の明治維新」3 青木隆幸 やさしい信濃の歴史講座 「田中芳男ー「虫捕御用」の明治維新」4 青木隆幸 文化財学ぶ活動大切 県教委の検討委、方向性確認 「田中芳男ー「虫捕御用」の明治維新」5 青木隆幸 信越県境の地域づくりを考える 上越で交流会 信大 なぜ今、校歌？ 飯田出身の博物学者田中芳男 「虫捕御用」万博へ標本作り 田中芳男の業績紹介 16日から県立歴史館 千曲の県立歴史館観覧料きょう無料 企業の寄付活用で 「県の宝」がずらり書庫や収蔵庫案内 冬季展「田中芳男ー「虫捕御用」の明治維新」解説 木曾川上流2つのダム 戦後の生活・産業支える 県立歴史館の笹本館長「飯山の良さ語れるように学んで」 飯田出身の田中芳男 博物館の父 挑戦の連続 やさしい信濃の歴史講座	記事 記事 記事 コラム 記事 記事 有線放送 記事 記事 記事 記事 記事 記事 記事 記事 記事 記事 有線放送 コラム 記事 コラム CATV	冬季展関連 冬季展関連 冬季展関連 やさしい信濃の歴史講座関連 信州ワイド 冬季展関連 やさしい信濃の歴史講座関連 冬季展関連  冬季展関連 冬季展関連 KOAの日関連 KOAの日関連 冬季展関連 やさしい信濃の歴史講座関連 冬季展関連 やさしい信濃の歴史講座関係

1月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送 中日新聞 信濃毎日新聞 読売新聞 信濃毎日新聞 長野日報 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信州CATV	維新の残響 150年目の国と郷 地方史から「国史」を問う 「戌の溝水」その時松代は一水害を読みとく、語りつぐー 田中芳男の特別展 飯田出身「博物館の父」 絵で伝え残したインパール作戦 飯田出身男性の回想録 冬季展「田中芳男ー「虫捕御用」の明治維新」解説 天竜川流域の宗教文化 普賢菩薩 諏訪から広まり 諏訪の小丸山古墳もっと評価を 27日に出勤講座 博物学者田中芳男の理想 天然資源の利用厚生 やさしい信濃の歴史講座 考古学の魅力を専門家に聞こう 塩尻で雑談会 文化芸術施策を体系化 県が「振興計画」原案示す 江戸時代の大水害 学び考える講演会 2月に策で 諏訪小丸山古墳の被葬者 王権中枢部の豪族と関係も 県内外の古墳 歴史学が 諏訪で県立歴史館出前講座 出土品歴史の新たな一面 諏訪 小丸山古墳の講座 明治の県内器械製糸業 水力利用の技術高く やさしい信濃の歴史講座	記事 記事 記事 記事 有線放送 コラム 記事 コラム 有線放送 記事 記事 記事 コラム 記事 記事 記事 CATV	冬季展開連 やさしい信濃の歴史講座関連 やさしい信濃の歴史講座関連 冬季展開連 やさしい信濃の歴史講座関連 やさしい信濃の歴史講座 in 諏訪 やさしい信濃の歴史講座関連 やさしい信濃の歴史講座関連 やさしい信濃の歴史講座関連 やさしい信濃の歴史講座関係
2月	信濃毎日新聞 屋代有線放送 信濃毎日新聞 屋代有線放送 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信州CATV	明治7年制作の澱粉一覧 精緻な原画と木版技術 やさしい信濃の歴史講座 旧石器人の遊動生活 水辺を選んで ムラに 常設展示案内 信大の歩みを企画展で紹介 きょうから 信州の知 どう連携 関係者パネル討論 信州大70年の歩み 塩崎城の「大塔合戦」に光を 愛好家ら地元で10日講演会 公文書で見る飯田大火 災害規模や対応詳細に やさしい信濃の歴史講座	コラム 有線放送 コラム 有線放送 記事 記事 記事 記事 コラム CATV	冬季展開連 やさしい信濃の歴史講座関連 やさしい信濃の歴史講座 やさしい信濃の歴史講座関係
3月	屋代有線放送 信濃毎日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 長野市民新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 週刊長野 屋代有線放送 中日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信州CATV 長野市民新聞	やさしい信濃の歴史講座 県立歴史館の振興さらに 教育長近代の学び検討 信玄の「感謝状」を購入 川中島合戦活躍待宛て 川中島合戦信玄の「感状」 武田信玄の感状公開 信州の渡来系文化ルートを解説 下伊那の農村 昭和10年夏時点 「満州移民」選択しなく 長野吉田高アメリカ式石織の出土 弥生文化 県内遺跡の出土品400点ずらり 巡回展 遺跡発掘成果を紹介 17日から県立歴史館で 巡回展 巡回展「長野県の遺跡発掘2018」解説 災害時に文化財救出ガイドライン策定を 県教育の検討委 「三輪キャンパス」に遺跡 周辺調査 今後に期待 郷土史の大切さ 今につながる地域のあゆみ やさしい信濃の歴史講座 栗の入ったつぼ 県内の遺跡発掘展	有線放送 記事 記事 記事 記事 記事 コラム コラム 記事 記事 有線放送 記事 記事 コラム コラム CATV 記事	やさしい信濃の歴史講座関連 やさしい信濃の歴史講座 巡回展関連 巡回展関連 巡回展関連 巡回展関連 信州学ブックレット関連 やさしい信濃の歴史講座関係 巡回展関連

# 一 資 料

## I 資料利用

(点)

資料利用	展示資料 (復元・模型等)	考古資料 (一括資料も1点)	文献史料 (文書・絵図等)	全件数
貸出	12	16	12	40件
掲載	25	32	42	99件
複製(資料・写真)	0	1	8	9件

## II 閲覧利用・情報利用

月	閲覧者数 右=1日平均		閲覧者数の内訳								複写 件数	撮影 件数	レファレ ンス件数	HPアク セス数	資料 受入数	図書 登録数
			図書	歴史情報	映像情報	行政文書	古文書	考古資料	その他							
4	203	8	177	1	0	11	9	4	1	71	40	16	7,175	260	181	
5	243	9	213	4	1	8	7	4	6	90	137	8	6,984	236	135	
6	292	11	235	5	0	21	15	1	15	81	90	9	6,754	213	70	
7	364	14	289	22	2	32	11	0	8	75	97	5	7,900	225	88	
8	620	23	556	22	2	14	18	0	8	65	277	13	7,854	186	53	
9	422	16	366	11	0	17	20	1	7	63	169	8	6,999	149	55	
10	298	11	268	4	0	9	9	2	6	60	44	12	7,086	124	62	
11	378	16	346	4	0	10	10	1	7	71	104	11	6,413	108	117	
12	262	12	221	4	0	20	11	0	6	37	97	5	7,010	78	56	
1	350	15	320	3	0	10	8	0	9	110	455	13	6,337	98	52	
2	508	23	449	14	0	22	11	1	11	110	195	6	6,179	110	45	
3	310	14	268	7	0	12	14	1	8	55	295	6	7,288	219	177	
計	4,250	14	3,708	101	5	186	143	15	92	888	2,000	112	83,979	2,006	1,091	

## III 利用者

平成29年度利用者

月	常設展示室		企画展示室		巡回展		講演会・講座等		閲覧室		出前講座		利用者計
	観覧者数	日数	観覧者数	日数	受講者等数	日数	受講者等数	日数	観覧者数	日数	受講者数	日数	
4	3,516	26	3,452	26			1,833	13	203	26	451	9	9,455
5	7,070	27	5,668	27			4,024	22	243	27	1,179	17	18,184
6	6,031	26	2,946	22			4,509	28	292	26	451	10	14,229
7	3,442	26	1,173	20	120	2	2,198	34	364	26	433	7	7,730
8	2,487	27	1,916	26	1,148	22	1,092	32	620	27	722	9	7,985
9	3,315	26	1,568	13	831	23	1,677	21	422	26	777	15	8,590
10	3,358	26	2,724	26	549	25	1,893	27	298	26	949	18	9,771
11	3,613	24	3,435	22	397	22	2,164	22	378	24	1,203	18	11,190
12	1,005	21	600	8			815	8	262	21	860	4	3,542
1	923	24	706	24			888	14	344	24	317	4	3,178
2	1,343	22	986	22			1,316	16	508	22	1,052	7	5,205
3	1,617	22	606	12			1,145	7	310	22	315	5	3,993
計	37,720	297	25,780	248	3,045	94	23,554	244	4,244	297	8,709	123	103,052

※巡回展の会場：長野県伊那文化会館（7月9日～8月21日）、安曇野市豊科郷土博物館（8月26日～9月24日）

浅間縄文ミュージアム（9月30日～11月26日）

入館者数等推移

区分 年度	常設 展示室	企画 展示室	講演講座等 (出前講座含む)	閲覧室	合計
平成6年度	50,375	34,685	1,033	6,797	92,890
7年度	99,478	23,470	3,086	11,887	137,921
8年度	74,438	21,029	2,299	10,466	108,232
9年度	59,968	15,585	3,133	8,067	86,753
10年度	53,651	32,586	3,608	8,362	98,207
11年度	53,814	30,392	3,617	8,461	96,284
12年度	47,604	25,781	3,540	9,355	86,280
13年度	46,303	34,352	4,346	7,573	92,574
14年度	45,106	33,887	6,384	7,566	92,943
15年度	43,813	33,400	12,952	7,070	97,235
16年度	43,889	32,797	12,429	6,287	95,402
17年度	44,855	33,585	12,263	8,232	98,935
18年度	46,362	37,866	14,360	13,642	112,230
19年度	46,874	42,691	15,217	12,454	117,236
20年度	41,790	32,316	13,089	10,815	98,010
21年度	41,089	32,507	14,774	10,002	98,372
22年度	40,839	29,969	12,175	9,916	92,899
23年度	43,383	33,676	11,057	6,118	94,234
24年度	42,154	37,674	11,953	7,201	98,982
25年度	39,323	32,603	13,091	7,205	92,222
26年度	39,897	34,614	21,004	7,855	103,370
27年度	41,609	31,886	24,536	6,963	104,994
28年度	44,673	32,199	31,424	4,094	112,390
29年度	40,765	25,780	32,263	4,244	103,052
合計	1,131,287	729,550	252,304	196,388	2,309,529

※常設展示室は巡回展の人数を含む。

企画展等入館者数 夏企=企画展 春季=季節展

区分 年度	名 称	期 日	入館者数
平成6年度 企画展	開館記念 赤い土器のクニ	11/3～12/11 38日	29,848
平成7年度 夏企	絵図にみる信濃 -江戸時代の村や町-	7/15～8/20 32日	7,095
秋企	信濃における戦国争乱の世界	10/21～11/26 30日	10,873
平成8年度 夏企	縄文人の一生 -北村遺跡に生きた人々-	7/20～8/25 32日	8,228
秋企	木簡が語る古代の信濃 -掘り出された地方行政とくらし-	10/5～11/10 31日	8,450
平成9年度 夏企	殖産興業と万国博覧会-明治期における長野県の世界の交流-	7/19～8/24 32日	5,538
秋企	長野県にみる世界の文化 -シルクの歴史と文化-	10/12～11/16 31日	7,011
館蔵品展	平成9年度新指定の県宝をみよう	1/31～3/1 29日	1,174
平成10年度 特別展示	屋代木簡展	6/5～6/20 14日	-
夏企	古代シナノの武器と馬具 -古墳時代の武人のすがた-	7/18～8/23 32日	5,950
秋企	諏訪信仰の祭りと文化	10/17～11/23 33日	7,912
平成11年度 館蔵品展	館蔵品展	4/4～5/9 33日	9,866
夏企	信濃名宝展 -鎌倉時代の文化財-	10/17～11/23 33日	7,458
秋企	蘭学万華鏡 -江戸時代 信濃の科学技術-	7/16～8/22 38日	7,321
考古資料特別公開	躍動する縄文土器-新指定重要文化財御代田町川原田遺跡出土品とその周辺-	1/15～2/27 38日	3,719
平成12年度 夏企	千曲川歴史紀行 -ともに生きた人びとの記録-	10/9～11/14 32日	4,443
秋企	歴史の宝庫 秋葉みち -信濃古道をたどる-	7/22～8/27 32日	7,807
長野県の20世紀展	信州に生きた20世紀の女たち	12/12～1/28 36日	2,117
平成13年度 館蔵品展	屏風の世界	5/29～7/1 30日	5,096
夏企	阿久遺跡と縄文人の世界	7/20～9/2 40日	4,935
秋企	文人墨客がつどう -19世紀北信濃の文芸ネットワーク-	10/2～11/11 36日	9,332

特別展示	雛人形と雛道具『天下の糸平』田中家コレクション	1/26~3/3	32日	3,431
平成14年度 テーマ	北村縄文人の時代 - 仮面土偶をつくった人びと -	5/25~6/30	32日	7,671
夏企	世界と地域を見つめた長野県教育 - 信山育材 -	7/20~9/1	39日	3,113
秋企	開設四百年 中山道 - 信濃二十六宿と間宿 -	10/5~11/17	38日	9,318
特別公開	雛人形と雛道具 - 田中平八コレクションと北信濃の雛人形 -	1/25~3/2	31日	3,545
平成15年度 テーマ	おらが善光寺さん - 秘仏の寺ものがたり -	5/16~6/22	33日	6,579
夏企	SOSふるさとの文化財をすくえ - 伝えたい古人の心と技 -	7/15~8/24	36日	4,287
原爆展	ヒロシマ・ナガサキ原爆展 - 風化させてはならない歴史 -	9/27~10/26	26日	-
秋企	もみじ 夕焼け 里の秋 - 唱歌・童謡のふるさと信州 -	9/27~11/9	38日	9,426
特別公開	重要文化財神子柴遺跡の石器群 - 石器時代の槍と斧 -	1/10~2/29	43日	3,944
特別公開	雛人形と雛道具 - 子どもの祝い -	1/10~2/29	43日	3,944
平成16年度 春季	神がみへの願い 人びとの祈り - 古代のまつり -	5/22~6/27	32日	4,386
夏季	善光寺道 - 街道を歩き来した人・物・文化 -	7/17~8/29	38日	4,860
秋季	中世信濃武士意外伝 - 義仲から幸村まで -	10/2~11/14	38日	10,543
新春特別公開	新春屏風絵図展	1/1~1/16	14日	462
冬季	天下の糸平 - 横浜を目指した信州の生糸商人たち -	1/29~3/6	32日	2,954
平成17年度 特別展	里帰りした赤羽刀 - GHQ 接收刀の輝き -	5/21~6/26	37日	4,057
夏企	地下4mの縄文伝説 - 屋代遺跡群 愛と出会いの4千年 -	7/16~9/4	45日	5,012
秋企	信州舞台物語 - 団十郎も須磨子もやってきた -	10/1~11/13	38日	8,877
特別公開	六角木幢 極楽浄土への道しるべ	11/19~1/15	42日	2,867
特別公開	雛人形と雛道具 - 身だしなみとよそおい -	1/28~3/5	32日	3,498
平成18年度 春季	古瓦からみた信濃の古代 - 神津屋・米山 - 政寄贈資料を中心に -	5/19~6/25	33日	6,979
夏企	幕末の信州 - 時代を駆けた草莽たち -	7/22~8/27	32日	4,212
秋企	戦時下の子どもたち - 信州の一五年戦争 -	9/30~11/12	33日	10,004
冬季	信州の歴史遺産Ⅰ - 新指定長野県宝と歴史館のお宝 -	11/25~1/8	35日	2,434
平成19年度 春季	埋もれていた信州遺産の発見 - 長野県埋蔵文化財センター25年の歩みから	5/19~7/1	38日	5,962
夏季	絵地図の魅力 - わたしの城下町 -	7/21~8/19	27日	3,374
文巡回展	発掘された日本列島 - 新発見考古速報展 -	9/1~9/30	26日	5,906
秋企	武田・上杉・信濃武士【前期】	10/13~11/18	32日	9,084
秋企	武田・上杉・信濃武士【後期】	12/8~1/14	28日	3,143
冬季	信濃の人形 - 雛人形と郷土の人形 -	1/26~3/2	32日	2,362
平成20年度 春季	うつわは語る - 縄文から近世まで -	5/24~6/29	32日	5,426
夏企	大庄屋って何? 安曇郡・清水家文書の350年	7/19~8/24	33日	2,625
秋企	よみがえる氷河時代の狩人	9/25~11/24	53日	11,145
冬季	信州の歴史遺産Ⅱ - 長野県宝と歴史館のお宝 -	12/13~3/1	61日	3,020
平成21年度 春企	善光寺信仰 - 流転と遍歴の勤化 -	4/11~6/7	51日	11,776
夏季	信州 知の遺産の系譜 - 歴史を記録した先人たち -	8/1~9/6	32日	4,248
秋企	山を越え川に沿う - 信州弥生文化の確立 -	9/26~11/23	50日	8,896
冬季	信州の歴史遺産Ⅲ - 諏訪地域の“いのり”と“まつり” -	12/12~2/28	60日	2,097
平成22年度 春企	ひめゆり 平和への祈り	5/29~7/11	38日	8,728
夏季	あの世への想い - 日本人はどのように埋葬されてきたか -	7/31~8/29	26日	2,552
秋企	東の牛伏寺 西の若澤寺	9/18~11/7	42日	8,272
冬季	信州の歴史遺産Ⅳ - 文字のちから -	12/11~2/27	61日	2,741
平成23年度 春季	武士の家宝 - かたりつがれた御家の由緒 -	5/28~7/3	32日	8,901
夏企	激動を生きぬく - 信濃武士市河氏の400年 -	7/23~9/4	39日	4,731
秋企	観光地の描き方 - 浮世絵版画から観光パンフレットまで -	9/23~11/13	44日	6,164
冬季	信州の歴史遺産Ⅴ - 郷土のお宝『重文・県宝』を見よう -	12/10~2/26	44日	3,302
小企画展	ありがとう屋代線	3/10~5/13	58日	-
平成24年度 春企	長野県の満洲移民 - 三つの大日向をたどる -	5/26~7/16	45日	8,871
夏季	戦争と宣伝 - 阿智村ポスターが語る	7/28~9/2	33日	5,209
秋企	縄文土器展 前期展	9/15~11/4	44日	6,871
	” 後期展	11/10~12/16	32日	2,669
冬季	愛娘の調度品 - 姫君様の婚礼道具から雛人形まで -	1/12~3/3	39日	3,668
平成25年度 夏企	信州の野球史	6/29~8/18	45日	4,608
	- 大正から昭和初期にかけて全国屈指の強さを誇った中等学校野球 -			
秋企	刃が語る信濃	9/14~11/4	45日	7,904
冬季	山国の水害 - 戊の満水と善光寺地震 -	11/23~1/19	41日	2,573

館蔵品	戦前の観光信州	2/1~3/9	29日	1,130	
速報展	長野県の遺跡発掘2014—長野県埋蔵文化財センター速報展—	3/21~6/1	65日	12,680	
平成26年度					
館蔵品	歴史に煌めく日本の美	6/14~7/13	26日	4,794	
夏季	山とともに生きる—「信州山の日」制定を記念して—	7/26~8/31	33日	4,592	
速報展	長野県の遺跡発掘2014（伊那会場）	7/19~8/24	31日	1,602	
秋企	信濃武士の決断	9/27~11/9	38日	7,052	
冬季	縄文土器展	11/29~2/1	45日	2,131	
平成27年度	春企	山と海の廻廊をゆく	(4/1)~5/17	42日	7,390
速報展	長野県の遺跡発掘2015	5/30~7/12	37日	8,332	
夏企	長野県民の1945	7/25~9/15	45日	5,643	
秋企	樹木と人の交渉史	10/9~11/29	49日	6,570	
冬企	地図の明治維新	12/9~2/28	58日	2,838	
巡回展	長野県の遺跡発掘2016	3/12~6/26	95日	18,438	
平成28年度	夏企	夢をのせた信州の鉄道	7/9~8/28	45日	4,192
秋企	木曾の宝	9/17~11/27	61日	6,782	
冬季	信濃国の城と城下町	12/17~2/26	55日	2,927	
巡回展	長野県の遺跡発掘2017	3/18~(3/31)	12日	973	
平成29年度	巡回展	長野県の遺跡発掘2017	4/1~6/25	75日	12,066
夏企	長野県誕生	7/8~8/28	46日	3,089	
秋企	進化する縄文土器	9/16~11/26	61日	7,727	
冬季	博物館の父は信州人	12/16~2/25	54日	2,292	
巡回展	長野県の遺跡発掘2018	3/17~(3/31)	12日	606	

#### IV 収蔵史資料数

区分 年度	展示資料 (点)	増加数 (点)	図書 (冊)	増加数 (冊)	考古資料 (箱)	受入数 (箱)	文献史料 (点)	増加数 (点)
平成6年度	1,996		27,156		4,930		79,060	
7年度	2,015	19	30,628	3,472	6,202	1,271	96,165	17,105
8年度	2,034	19	34,470	3,842	7,259	1,057	109,711	13,546
9年度	2,051	17	38,533	4,063	8,415	1,156	117,392	7,681
10年度	2,107	56	44,888	6,355	9,886	1,471	122,944	5,552
11年度	2,141	34	48,748	3,860	11,685	1,799	131,498	8,554
12年度	2,156	15	59,590	10,842	14,724	3,039	136,191	4,693
13年度	2,182	26	64,405	4,815	17,614	2,890	138,360	2,169
14年度	2,197	15	69,306	4,901	19,982	2,368	148,562	10,202
15年度	2,217	20	73,292	3,986	21,199	1,217	153,394	4,832
16年度	2,238	21	77,364	4,072	23,302	2,103	155,339	1,945
17年度	2,250	12	81,196	3,832	25,223	1,921	156,921	1,582
18年度	2,264	14	85,133	3,937	25,655	1,571	160,595	3,674
19年度	2,278	14	87,216	2,083	26,806	1,150	162,268	1,673
20年度	2,282	4	95,555	8,339	27,309	503	163,135	867
21年度	2,287	5	101,730	6,175	27,856	547	165,496	2,361
22年度	2,293	6	103,577	1,847	27,974	118	168,485	2,989
23年度	2,295	2	107,308	3,731	28,296	302	169,555	1,070
24年度	2,296	1	111,124	3,816	28,707	971	172,318	2,763
25年度	2,299	3	115,553	4,429	28,419	▲288	287,611	115,293
26年度	2,301	2	119,736	4,183	29,204	785	291,848	4,237
27年度	2,304	3	122,762	3,026	29,204	0	295,611	3,763
28年度	2,308	4	125,628	2,866	29,204	0	281,897	▲13,714
29年度	2,315	7	128,344	2,716	29,204	0	301,999	20,102

※考古資料の総数は、整理後の増減を含めた年度末収納数です。

28年度の文献史料総数は、重複分があったため修正した。

# 一日誌

- 4月15日(土) ボランティア総会  
22日(土) 巡回展「長野県の遺跡発掘2017」講演会
- 5月5日(水) 歴史館でこどもの日  
18日(木) 県博物館協議会総会・研究会(大町市~19日)  
20日(土) 考古学講座①  
27日(土) 古文書講座上級①
- 6月3日(土) 歴史館ふるさと講座① 古文書講座中級A①  
4日(日) 古文書講座初級A①  
6日(火) 北信越博物館協議会総会(福井~7日)  
8日(木) 全国公文書館長会議(東京~9日)  
10日(土) 歴史館ふるさと講座②  
14日(水) AED講習会  
15日(木) 古文書講座初級B① 古文書講座中級B①  
17日(土) 歴史館ふるさと講座③  
18日(日) 考古学セミナー  
22日(木) 県史料協史料保存講習会・総会(軽井沢町)  
23日(金) ふるさと講座 in 大桑  
24日(土) 歴史館ふるさと講座④ 古文書講座上級②  
25日(日) 巡回展「長野県の遺跡発掘2017」(歴史館会場)終了
- 7月1日(土) 歴史館ふるさと講座⑤ 古文書講座中級A②  
2日(日) 古文書講座初級A②  
8日(土) 夏季企画展開始  
12日(水) 全国博物館長会議(東京) 人権研修  
15日(土) 夏季企画展講演会  
20日(木) 古文書講座初級B② 古文書講座中級B②  
26日(水) 資料調査員会議  
27日(木) 県庁イベント  
28日(金) 考古学チャレンジ 県議会文教委員会来館 総合教育センター研修  
29日(土) 考古学チャレンジ 古文書講座上級③ 長野県の遺跡発掘2017伊那開始  
信州環境フェア  
30日(日) 信州環境フェア 夏季企画展イベント
- 8月1日(火) 絵図地図研究会報告会  
2日(水) 信大免許講習(~3日)  
5日(土) 歴史館で夏休み 古文書講座中級A③  
6日(日) 古文書講座初級A③  
8日(火) ティーンズ古文書講座(~11日)  
12日(土) 夏季企画展関連講座  
17日(木) 古文書講座初級B③ 古文書講座中級B③  
19日(土) 長野県の遺跡発掘2017伊那講演会  
20日(日) 伊那文こどもまつり 巡回展「長野県の遺跡発掘2016」(伊那会場)終了  
22日(火) 博物館実習開始(~9/1)  
27日(土) 古文書講座上級④  
やさしい信濃の歴史講座 in 上田  
巡回展「長野県の遺跡発掘2017」(安曇野会場)開始
- 28日(日) 夏季企画展終了  
30日(水) 消防訓練
- 9月2日(土) 古文書講座中級A④ 長野県の遺跡発掘2017安曇野講演会①  
3日(日) 古文書講座初級A④  
13日(水) 交通安全講習

- 14日(木) 古文書講座初級B④ 古文書講座中級B④  
 16日(土) 秋季企画展開始 長野県の遺跡発掘2017安曇野講演会②  
 24日(土) 長野県の遺跡発掘2017安曇野終了  
 30日(土) 古文書講座上級⑤ 考古学講座② 長野県の遺跡発掘2018佐久開始  
 10月7日(土) 古文書講座中級A⑤  
 8日(日) 古文書講座初級A⑤  
 12日(木) 古文書探訪会(佐久市)  
 14日(土) 遺跡探訪会(埼玉県・群馬県)  
 19日(木) 古文書講座初級B⑤ 古文書講座中級B⑤ 歴史館協議会  
 21日(土) 考古学講座③  
 26日(木) 県史料協第2回講習会  
 27日(金) 城郭・城下町研究会(松本)  
 28日(土) 秋季企画展講演会  
 11月3日(木) 森將軍塚まつり(千曲市主催)  
 5日(日) 国立民族学博物館講座  
 12日(日) 信大免許講習③  
 18日(土) 考古学講座③  
 19日(日) いい育児の日イベント  
 25日(土) やさしい信濃の歴史講座 in 箕輪  
 26日(日) 秋季企画展終了 長野県の遺跡発掘2017佐久終了  
 12月3日(土) 近世史セミナー 安曇野市豊科郷土博物館連携講座  
 9日(土) やさしい信濃の歴史講座①  
 16日(土) 冬季展開始 冬季展講演会 KOAの日  
 23日(土) やさしい信濃の歴史講座②  
 26日(火) 年末年始休館(～1月3日)  
 1月6日(土) やさしい信濃の歴史講座③  
 13日(土) やさしい信濃の歴史講座④  
 20日(土) 冬季展講演会  
 27日(土) やさしい信濃の歴史講座 in 諏訪  
 2月3日(土) やさしい信濃の歴史講座⑤  
 4日(日) 冬季展イベント  
 10日(土) 冬季展講座  
 15日(木) 博物館職員等研修会(～16日) 信州大学情報メディア論講義(～16日)  
 17日(土) やさしい信濃の歴史講座⑥  
 24日(土) やさしい信濃の歴史講座 in 松本  
 25日(日) 冬季展終了  
 27日(火) 県史料協講習会(～28日)  
 3月1日(木) 新購入史料(「武田感状」)特別公開記者会見  
 10日(土) やさしい信濃の歴史講座⑦  
 17日(土) 巡回展「長野県の遺跡発掘2018」(歴史館)開始  
 考古学セミナー  
 18日(日) 飯田市美術博物館連携講座(飯田)  
 20日(火) 親子映画会①  
 21日(水) 親子映画会②  
 23日(金) 親子映画会③  
 24日(土) 親子映画会④

**長野県立歴史館年報 第20号**  
**2017年度（平成29年度）**

---

2018年(平成30)10月12日発行

編集・発行 長野県立歴史館  
〒387-0007 千曲市屋代260-6  
TEL 026-274-2000 (代表)  
FAX 026-274-3996

---